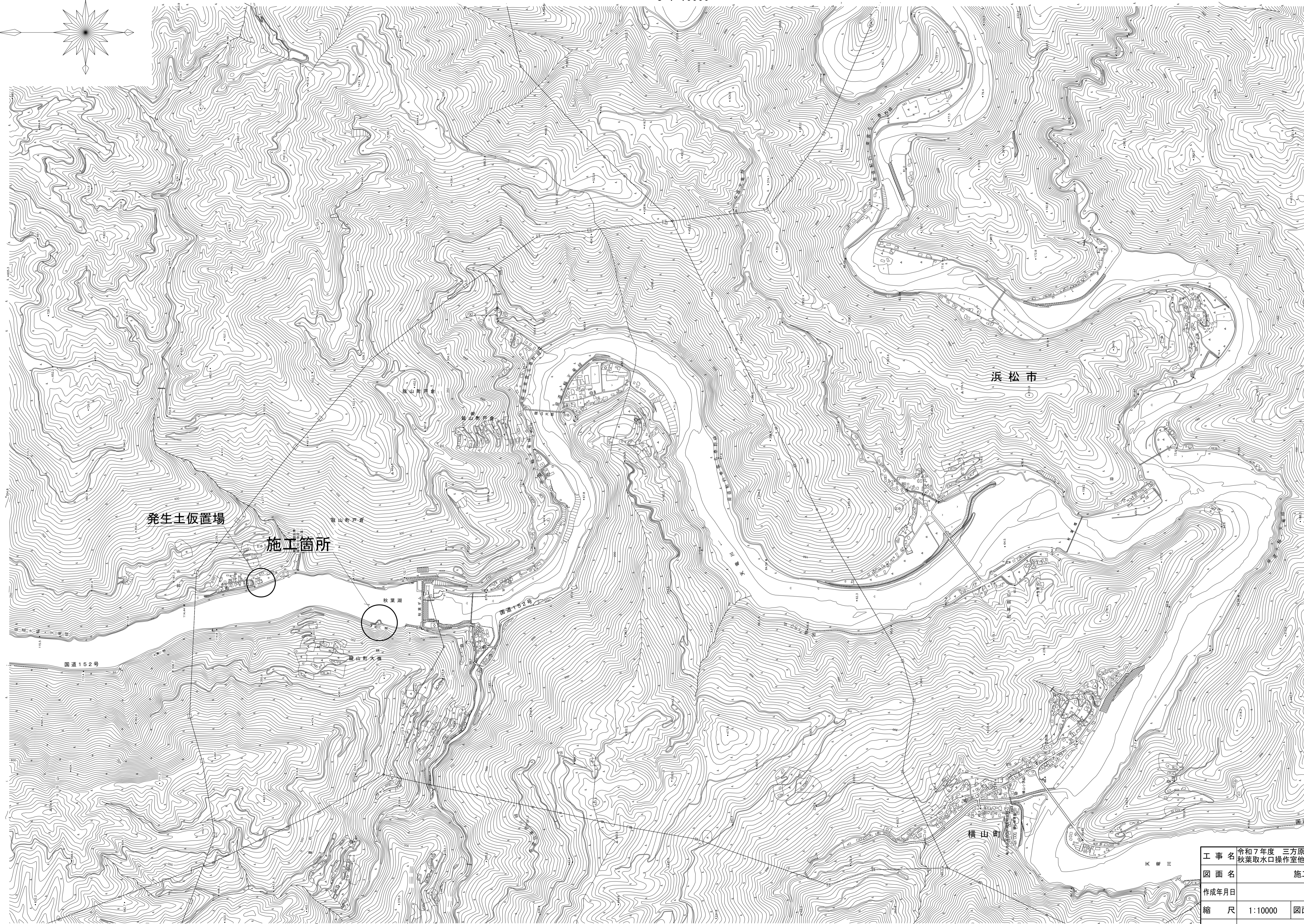
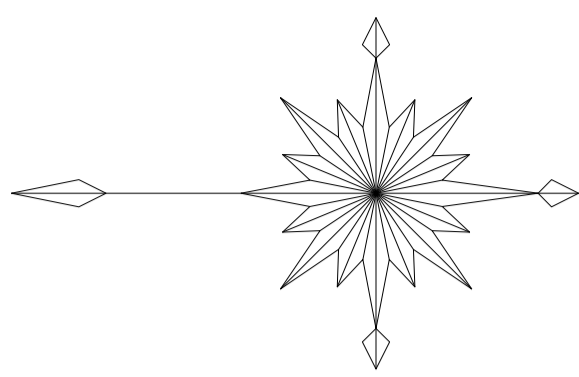


施工位置図

S=1:10000



工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	施工位置図		
作成年月日			
縮尺	1:10000	図面番号	1
会社名			
事業所名	関東農政局 三方原用水二期農業水利事業所		

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																
① 一般共通事項	<p>その他各法令に基づき表示の必要なものは、通行人にも良くわかるサイズで掲示すること。</p> <p>4. 残土は、自由処分とする。</p> <p>5. 産業廃棄物は、(リサイクル法に基づき)着事前に処理計画書(受入承諾書・建設リサイクル報告書(計画書)添付)を提出し、完了時に報告書(マニフェスト管理表・建設リサイクル報告書(実施書)添付)を提出すること。なお、請負契約締結時に別添「法第13条及び省令第4条に基づく書面」を提出し、発注者の確認を受けること。</p> <p>産業廃棄物運搬車両の表示等について</p> <p>(1) 自己(社)運搬の場合</p> <p>① 収集運搬車両の両側面に鮮明に識別しやすい文字の色で次の内容の表示を行う事。 「産業廃棄物運搬車」の文字 (JIS Z 8305 140ポイント以上 (5cm以上)) ・事業者の氏名又は名称 (同 90ポイント以上 (3cm以上))</p> <p>② 収集運搬車両は、次の内容が記載された書面を備え付けること。 ・「氏名又は名称及び住所」、「運搬する産業廃棄物の種類及び数量」、「運搬する産業廃棄物の積載日」、「積載した事業場の名称、所在地及び連絡先」、「運搬先の事業場の名称、所在地及び連絡先」</p> <p>(2) 許可業者に運搬を委託する場合</p> <p>① 収集運搬車両の両側面に鮮明に識別しやすい文字の色で次の内容の表示がされている業者に委託すること ・「産業廃棄物運搬車」の文字 (JIS Z 8305 140ポイント以上 (5cm以上)) ・許可業者の氏名又は名称 (同 90ポイント以上 (3cm以上)) ・統一許可番号 (下6桁) (同 90ポイント以上 (3cm以上))</p> <p>② 収集運搬車両に次の書面が備え付けられている業者に委託すること。 ・産業廃棄物収集運搬業の許可証の写し ・産業廃棄物管理表(マニフェスト)</p> <p>(3) 提出資料 工事完成時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況を確認できる写真を提出すること。</p> <p>6. 実施工程表を着事前に提出し、管理工程表に基づき工程管理を行い、完成時に提出すること。尚、実施工程作成にあたっては、学校運営への影響及び諸官庁手続き等を十分考慮し、監督職員との協議の上作成すること。</p> <p>7. 打合せ議事録を作成し、両者確認を行い完了時に提出すること。</p> <p>8. 日報・月報(主たる作業内容他記入)及び進捗報告書を、翌月初めに提出すること。</p> <p>9. 納品書は、設計数量比較一覧表を添付し、完成時に提出すること。</p> <p>10. 設計図に表現可能なものは、出来形図を作成し、完成時に提出すること。</p> <p>11. 竣工検査迄に諸官庁検査・社内検査・監理事務所確認・担当課確認を受けること。</p> <p>12. 施工図は、青図製本を2部提出すること。(原因もしくはCADデータ共)</p> <p>13. 工事写真は、全体工事写真1部(ネガ含)を提出すること。なお、中間出来高を請求する場合は、抜粋工事写真を提出する事。</p> <p>14. 安全訓練を月1回以上行い、教育資料を添付し報告すること。</p> <p>15. K Yを実施し、実施内容を報告すること。</p> <p>16. コルズを活用し、適正な施工体制に努め、速やかに報告すること。</p> <p>17. その日の作業内容・注意事項及び作業担当者(作業主任者等 必要免許共)を記載(掲示可)し、作業の安全に徹すること。</p>	<p>39 埋蔵文化財発掘調査</p> <p>40 借地</p>	<p>3 土・鉄筋・コンクリート工事</p> <p>2 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>3 鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <p>4 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>5 コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>6 コンクリートの強度 (6.2.2)</p> <p>7 セメントの類別 (6.3.1)</p> <p>8 骨材 (6.3.1)</p> <p>9 混和材料 (6.3.1)</p> <p>10 構造体強度補正值 (6.3.2)</p> <p>11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)</p> <p>12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)</p> <p>13 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>14 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>15 コンクリートミキサー車の過積載防止対策等</p>	<p>4 防水改修工事</p> <p>1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)</p> <p>2 既存下地の処理 (3.2.6)</p> <p>3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)</p> <p>4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)</p>	<p>35 追加事項</p> <p>36 提出書類・記録</p> <p>37 工事表示板等の設置</p> <p>38 その他</p>	<p>① 足場その他 (2.1.3) (2.2.1)</p> <p>② 仮設工事</p> <p>③ 仮設間仕切り (2.3.2)</p> <p>④ 監督職員事務所 (2.4.1)</p> <p>⑤ 工事用水</p> <p>⑥ 工事用電力</p> <p>⑦ 仮囲い等</p> <p>⑧ 設計GL</p> <p>3 土・鉄筋・コンクリート工事</p> <p>1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)</p>	<p>労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。</p> <p>外部足場 ● 施工箇所面に枠組足場を設ける。 ○ 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける。 ○ 施工箇所面に単管木足場を設ける。 ○ 仮設ゴンドラを使用する。 ○ 移動式足場を使用する。</p> <p>内部足場 ※ 脚立、足場板等 ○ _____ 防護シート等 ○ 防音パネル ○ 防音シート ● 養生シート(メッシュシート2種)</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柵及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。</p> <p>屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工用足場及び施工方法)の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p> <p>既存部分の養生 ※ 行う(※ ビニールシート、合板 ○ _____) ○ 行わない</p> <p>既存家具・既存設備等の養生 ※ 行う(※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない</p> <p>既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ● 行う ○ 行わない</p> <p>養生の方法 ● 取り外しの手洗い清掃 ○ _____ 保管場所 ● 室内にてカバー掛の上、適切保管 ○ _____</p> <p>家具の移動 ● 行う(図示) ○ 行わない</p> <p>既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> <p>● 設ける (図示)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● A種</td> <td>● セッコウボード 種類 ● GB-R 厚さ ○ mm ● 9.5mm</td> <td>● なし ○ 片面 ○ 厚さ ○ 50mm</td> <td>グラスウール ○ 24kg/m2 ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>○ 合板 材質 ○ ラワン合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>全面シート張り</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>● 設けない 規模 ○ 10m2程度 ○ 20m2程度 ○ 35m2程度 ○ 65m2程度 ○ 100m2程度 仕上 床 ○ 合板張り素地 ○ ビニル床シート敷き ○ バンチカーペット敷き 内壁、天井 ○ 合板又はセッコウボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根 ○ 塗装融融亜鉛めっき鋼板張り ○ 鉄板張り調合ペイント塗り 休憩室 ○ 設けない ○ 設ける(畳敷き) ○ _____ 備品 ○ 机 ○ いす ○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類ロッカー(上記6品、____人分程度) ○ 書棚 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 加入電話機 ○ 冷暖房機器 ○ コピー機 ○ ネット回線 ○ 流し台 ○ _____ ○ 改修標仕(令和4年版) ○ 建築改修工事監理指針(令和4年版) ○ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図(令和4年改定) ○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できない ● 利用できる(● 有償 ○ 無償)</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できない ● 利用できる(● 有償 ○ 無償)</p> <p>● 図示による ○ _____</p> <p>○ 図示による ● 設計GL=現状GL</p> <p>本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁業務部監修 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。 なお、耐震改修工事に係る「鉄筋・コンクリート」の取り扱いは、後述の章「8 耐震改修工事」によるものとする。</p> <p>○ A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ● B種 粗切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の種類発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ その他(材料 _____ 工法 _____) ○ 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量(_____ m3) 発生場所(_____)</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	● A種	● セッコウボード 種類 ● GB-R 厚さ ○ mm ● 9.5mm	● なし ○ 片面 ○ 厚さ ○ 50mm	グラスウール ○ 24kg/m2 ○ _____	○ B種	○ 合板 材質 ○ ラワン合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm			※ C種	全面シート張り			<p>④ 屋根保護防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上材料</th> </tr> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ P1 B 工法</td> <td>○ B-1 ○ B-2</td> <td>表3.3.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P1 B I 工法</td> <td>○ BI-1 ○ BI-2</td> <td>表3.3.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P2 A I 工法</td> <td>○ AI-1 ○ AI-2 ○ AI-3</td> <td>表3.3.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P2 A 工法</td> <td>○ A-1 ○ A-2 ○ A-3</td> <td>表3.3.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 屋根露出防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上材料</th> </tr> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ M4 C 工法</td> <td>○ C-1 ○ C-2 ○ C-3 ○ C-4</td> <td>表3.3.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ M3 D 工法</td> <td>○ D-1 ○ D-2</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P0 D 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 屋根露出防水断熱断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上材料</th> </tr> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ P0 D I 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ M3 D I 工法</td> <td>○ DI-1 ○ DI-2</td> <td>表3.3.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ M4 D I 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 屋内防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ P1 E 工法</td> <td>○ E-1 ○ E-2</td> <td>表3.3.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P2 E 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 断熱材(屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm</p> <p>○ 断熱材(屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による ○ _____</p> <p>絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上(保護防水工法) ※ フラットヤーンクロス(70g/m2程度) ○ _____</p> <p>立上り部の押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 ○ _____</p> <p>立上がり部の保護 ○ 乾式保護材 ○ 窯業系パネル1類(寒冷地仕様)(厚さ _____ 幅 _____) ○ 窯業系パネル11類(一般地仕様)(厚さ _____ 幅 _____) ○ 普通れんが(JIS R 1250) ○ 化粧れんが(JIS R 1250) ○ コンクリート(工法 _____)</p> <p>保護層 平場の保護コンクリート厚さ ○ _____ mm ○ こて仕上げ _____ mm ○ 床タイル張り等仕上げ _____ mm</p> <p>コンクリート仕上りの平たんさ ○ a種 ○ b種 ○ c種 (表8.1.5)</p> <p>脱気装置 ○ 設ける 材 種 (_____) 設置数量 (1箇所/ _____ m2)</p> <p>伸縮目地 ※ 成形伸縮目地材 ○ _____</p> <p>成形継ぎ材 ※ ルーフィング類製造所の指定品 ○ _____</p> <p>屋上排水溝 ※ 図示による</p> <p>○ 屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上材料</th> </tr> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ M4 A S 工法</td> <td>○ AS-T1 ○ AS-T2 ○ AS-J2</td> <td>表3.4.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上材料</th> </tr> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ M3 A S 工法</td> <td>○ AS-T3 ○ AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P0 A S 工法</td> <td>○ AS-J1 ○ AS-J3</td> <td>表3.4.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料		種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量	○ P1 B 工法	○ B-1 ○ B-2	表3.3.3				○ P1 B I 工法	○ BI-1 ○ BI-2	表3.3.4				○ P2 A I 工法	○ AI-1 ○ AI-2 ○ AI-3	表3.3.5				○ P2 A 工法	○ A-1 ○ A-2 ○ A-3	表3.3.6				種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料		種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量	○ M4 C 工法	○ C-1 ○ C-2 ○ C-3 ○ C-4	表3.3.7				○ M3 D 工法	○ D-1 ○ D-2	表3.3.8				○ P0 D 工法						種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料		種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量	○ P0 D I 工法						○ M3 D I 工法	○ DI-1 ○ DI-2	表3.3.9				○ M4 D I 工法						種別	別	防水層	施工箇所	○ P1 E 工法	○ E-1 ○ E-2	表3.3.10		○ P2 E 工法				種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料		種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量	○ M4 A S 工法	○ AS-T1 ○ AS-T2 ○ AS-J2	表3.4.1				種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料		種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量	○ M3 A S 工法	○ AS-T3 ○ AS-T4					○ P0 A S 工法	○ AS-J1 ○ AS-J3	表3.4.2				<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th colspan="3">令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図面名</td> <td colspan="3">建築改修工事特記仕様書(2)</td> </tr> <tr> <td>作成年月日</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td>図面番号</td> <td>2-2/11</td> </tr> <tr> <td>会社名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>事業所名</td> <td colspan="3">関東農政局三方原用水二期農業水利事業所</td> </tr> </tbody> </table>	工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事			図面名	建築改修工事特記仕様書(2)			作成年月日				縮尺	—	図面番号	2-2/11	会社名				事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																																																																																																																																																																																																				
● A種	● セッコウボード 種類 ● GB-R 厚さ ○ mm ● 9.5mm	● なし ○ 片面 ○ 厚さ ○ 50mm	グラスウール ○ 24kg/m2 ○ _____																																																																																																																																																																																																				
○ B種	○ 合板 材質 ○ ラワン合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm																																																																																																																																																																																																						
※ C種	全面シート張り																																																																																																																																																																																																						
種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料																																																																																																																																																																																																			
種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量																																																																																																																																																																																																		
○ P1 B 工法	○ B-1 ○ B-2	表3.3.3																																																																																																																																																																																																					
○ P1 B I 工法	○ BI-1 ○ BI-2	表3.3.4																																																																																																																																																																																																					
○ P2 A I 工法	○ AI-1 ○ AI-2 ○ AI-3	表3.3.5																																																																																																																																																																																																					
○ P2 A 工法	○ A-1 ○ A-2 ○ A-3	表3.3.6																																																																																																																																																																																																					
種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料																																																																																																																																																																																																			
種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量																																																																																																																																																																																																		
○ M4 C 工法	○ C-1 ○ C-2 ○ C-3 ○ C-4	表3.3.7																																																																																																																																																																																																					
○ M3 D 工法	○ D-1 ○ D-2	表3.3.8																																																																																																																																																																																																					
○ P0 D 工法																																																																																																																																																																																																							
種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料																																																																																																																																																																																																			
種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量																																																																																																																																																																																																		
○ P0 D I 工法																																																																																																																																																																																																							
○ M3 D I 工法	○ DI-1 ○ DI-2	表3.3.9																																																																																																																																																																																																					
○ M4 D I 工法																																																																																																																																																																																																							
種別	別	防水層	施工箇所																																																																																																																																																																																																				
○ P1 E 工法	○ E-1 ○ E-2	表3.3.10																																																																																																																																																																																																					
○ P2 E 工法																																																																																																																																																																																																							
種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料																																																																																																																																																																																																			
種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量																																																																																																																																																																																																		
○ M4 A S 工法	○ AS-T1 ○ AS-T2 ○ AS-J2	表3.4.1																																																																																																																																																																																																					
種別	別	防水層	施工箇所	仕上材料																																																																																																																																																																																																			
種	別	防水層	施工箇所	種類	使用量																																																																																																																																																																																																		
○ M3 A S 工法	○ AS-T3 ○ AS-T4																																																																																																																																																																																																						
○ P0 A S 工法	○ AS-J1 ○ AS-J3	表3.4.2																																																																																																																																																																																																					
工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事																																																																																																																																																																																																						
図面名	建築改修工事特記仕様書(2)																																																																																																																																																																																																						
作成年月日																																																																																																																																																																																																							
縮尺	—	図面番号	2-2/11																																																																																																																																																																																																				
会社名																																																																																																																																																																																																							
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所																																																																																																																																																																																																						

Chapter 4: Waterproofing Repair Work. Includes sections for roof waterproofing, wall waterproofing, and membrane waterproofing. Details include material specifications, construction methods, and inspection procedures.

Chapter 5: Exterior Wall Repair Work. Includes sections for rainwater, wall repair, and wall waterproofing. Details include material specifications, construction methods, and inspection procedures.

Chapter 6: Defect Repair. Includes sections for concrete placement, wall repair, and wall waterproofing. Details include material specifications, construction methods, and inspection procedures.

Chapter 7: Tile Repair Work. Includes sections for tile replacement, tile waterproofing, and tile repair. Details include material specifications, construction methods, and inspection procedures.

4 防水改修工事

4 防水改修工事

5 外壁改修工事

5 外壁改修工事

5 合成高分子系ルーフィングシート防水

11 とい(雨水)

5 (4.1.4) (4.3.5) ~ (4.3.8)

4 浮き部改修工事

6 塗膜防水

12 アルミニウム製 笠木

3 欠損部改修

4 浮き部改修工事

7 漏水試験

1 施工数量調査

4 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)

4 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15)

8 保証書

2 ひび割れ部改修

4 (4.1.4) (4.3.9)

4 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)

9 施工確認

5 外壁改修工事

4 (4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)

4 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15)

10 シーリング

2 ひび割れ部改修

4 (4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)

4 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15)

Table with 4 columns: 種別, 防水層, 施工箇所, 仕上塗料. Includes details for roof waterproofing and membrane waterproofing.

Table with 4 columns: 種類, 幅, 板厚(mm), 表面処理, 備考. Includes details for aluminum caps and wall repair materials.

Table with 3 columns: 工法, 材料, 施工箇所. Includes details for tile repair and wall waterproofing methods.

Table with 6 columns: 工法, アンカーピン, 注入口, 充填量, 注入量, 施工箇所. Includes details for tile repair and wall waterproofing materials.

Table with 4 columns: 工事名, 面名, 作成年月日, 縮尺. Includes project name, face name, construction year, and scale.

6 建具改修工事

引戸 (表5.8.1)
金物の種類 見え掛り部の材質 その他
14 自動ドア開閉装置 (5.9.2)
15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)
16 重量シャッター (5.11.4)
17 軽量シャッター (5.12.2)
18 オーバーヘッドドア (5.13.2)

19 ガラス (5.14.2)
20 ガラス留め材 (5.14.2)
21 ガラスブロック (5.14.5)
22 木製建具 (5.7.2)
23 ポリカーボネイト樹脂板

材料
種類等
ガラス溝の大きさ
建具の種類
寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 パターン 防火認定
22 木製建具
表面材の合板の種類
表面板の厚さ

7 内装改修工事
1 揮発性有機化合物対策 (6.5.2)
2 他の部分との取り合い等 (6.1.3)
3 既存床の撤去等 (6.2.2)
4 既存壁の撤去等 (6.3.2)
5 木下地等 (6.5.1)

木材、木れんが、ビニルシート・タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する
既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
種別 工法 施工箇所
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
間仕切壁撤去に伴う構造体の補修
材料のホルムアルデヒド放散量
JAS 1083 (製材)に基づく製材
JAS 1083 (製材)以外の製材

7 内装改修工事
「集材材の日本農林規格」による造作用集材材
「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材
JAS 0701 (単板積層材)に基づく造作用単板積層材
JAS 0701 (単板積層材)以外の造作用単板積層材
「合板の日本農林規格」による普通合板
「合板の日本農林規格」による構造用合板
「合板の日本農林規格」による天然化粧合板
「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

工事名 令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事
図面名 建築改修工事特記仕様書(5)
作成年月日
縮尺 1/100 図面番号 2-5/11
会社名
事業所名 関東農政局三方原用水二期農業水利事業所

7 内装改修工事

パーティクルボード
使用箇所 厚さ 各種区分
※15mm ○ ※13Pタイプ又は13Mタイプ ○

JAS 0360 に基づく構造用パネル
使用箇所 等級 厚さ

MDF
使用箇所 厚さ 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分

造作材化粧面の釘打ち
※ 隠し釘打ち ○ 釘埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ○ 釘頭現し

諸金物の形状、寸法及び材質
※ すがすい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1「鉄鋼の垂鉛めっきの種類」のF種程度の垂鉛めっきを施したものを

防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位
○ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材 保存処理性能区分
○K2 ○K3 ○K4
○K2 ○K3 ○K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部材 処理の方法 薬剤の種類
※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 1571に適合又は同等品
○ ○

○ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位
○ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位

防虫処理 ※ 行う (範囲:ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理 K1)
○ 行わない

6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)
野縁等の種類 屋内 ※ 19型 ○ 25型 (表6.6.1)
屋外 ○ 19型 ※ 25型
~(6.6.4)

野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm
周辺部の端からの寸法 _____ mm
野縁の間隔 _____ mm

はずれ留め補強 ※ 有り ○ 無し
既存の埋込みインサートの使用 ※ 再利用しない ○ 再利用する
あと施工アンカーの引抜き試験 ○ 行う (_____ 箇所以上、 _____ N/箇所)
○ 行わない

開口補強
つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ○ _____

天井のふところの補強
(1.5m以上3m以下) ※ 改修標仕6.6.4(8)による ○ _____
(3mを超える) ※ 図示による ○ _____

天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない
屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない

7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)
スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1)
※ 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ _____
スタッドの高さが5mを超える場合
※ 図示による ○ _____

8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)
区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 工法 施工箇所
● 単層ビニル床シート TS ※ 無地 ※ 熱溶接 ※ 仕上による
※ 複層ビニル床シート FS ● 2.5 ※ 無地 ※ 熱溶接 ※ 仕上による
※ 2.0 ※ マーブル ○
○ 発泡層無 ○ 発泡層有
○ 発泡層有
○ クッションフロア KS

7 内装改修工事

● ビニル床タイル
区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 寸法 施工箇所
※ コンポジションビニル床タイル KT ※ 2.0
○ 3.0
○ 単層ビニル床タイル TT ○ 2.0
○
○ 複層ビニル床タイル FT ○ 2.0
○ 2.5
○ 3.0
○ 無地
○ 柄物
○ 300×300
○ 450×450
○ 置敷きビニル床タイル FOA ○ 4.0
○
○ 薄型置敷きビニル床タイル FOB ○
○

○ 帯電防止床シート ● 帯電防止タイル
種類 性能 厚さ (mm)
● ○ Aフロア用 ※ 体積抵抗値 1.0×10⁹ Ω以下 t4.0
○ ○

○ 視覚障害者用床タイル
種類 形状 備考
○ 塩化ビニル系 ※ 300mm角
○ レジコンクリート系 ○ 150mm角
○ 磁器又はせつ器質タイル ○

○ 耐動荷重性床シート
種類 厚さ (mm) 備考
○ ○
○ ○

○ 防滑性床シート ○ 防滑性床タイル
種類 寸法 厚さ (mm)
○ 防滑性床シート ○ t2.5
○ ○

○ ビニル幅木
種類 高さ (mm) 厚さ (mm)
○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0

○ ゴム床タイル張り
色柄 種類 厚さ (mm) 寸法 (mm)
○ 単層品 ○ 積層品

○ 織じゅうたん
種類 織り方 バイル形状 帯電性 色柄 接合方法 施工箇所
○ A種 ○ 適用 ※ 無地 ※ ヒートボンド工法
○ B種 ○ ○ つぶり縫い
○ C種 ○

○ タフテッドカーペット
バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 施工箇所
○ グリッパ工法 ○ 適用
○ 全面接着工法 ○

○ タイルカーペット
種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所
※ 一層 ※ ルーフバイル ※ 500×500 ※ 6.5
○ 二層 ○ ○ ○

タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※ 市松敷き ○ _____
階段部分 ※ 模様流し ○ _____

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____
下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ _____

見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ _____

厚膜型塗床材
○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
※ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ
塗厚 (mm) ○ _____
○ エポキシ樹脂系塗床材
※ 薄膜流しのべ工法 (○ 平滑 ○ 防滑)
○ 厚膜流しのべ工法 (○ 平滑 ○ 防滑)
○ 樹脂モルタル工法 (○ 平滑 ○ 防滑)

薄膜型塗床材
○ エポキシ樹脂系塗床材
塗床材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____

7 内装改修工事

11 フローリング張り (6.11.2)
~(6.11.6)
フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標仕6.11.2(2)による
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____

単層フローリング (表6.11.1)~(表6.11.6)
種類 樹種 厚さ(mm) 大きさ 工法 備考
○ フローリング ※ なら ○ ○ 接着剤釘止併用工法 ステンレススクリュー釘 @300以内
○ ボード1等 ○ふな ○ 15 ○ 表6.11.1 ○ 根太張り工法
○ 12 ○ 表6.11.3 ○ 直張り工法
○ 8 ○ 表6.11.5 ○ 接着工法
○ フローリング ※ なら ○ 8 ○ 接着工法 ○ 防水処理足金物付一部撤去新設
○ フロック1等 ○ ○ 15 ○

複合フローリング
種類 樹種 厚さ(mm) 工法 種別 備考
○ 1×6タイプ ○ 8 釘留め工法
○ フローリング ※ なら ○ 15 ○ 根太張り工法 ○ A種
○ ボードタイプ ○ ○ ○ B種
○ ○ C種
○ ○ 直張り工法
○ 接着工法

接着工法のフローリング裏面の不陸隠蔽材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ _____

仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種
○ オイルステインの上ワックス塗り ○ 生地そのままワックス塗り ○ _____

12 畳敷き (6.12.2)
種類 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 (KT-____)
衝撃緩和型畳 (畳表: ○ C1 ○ C2)

13 セッコウボード、その他ボード
及び合板張り (6.13.2)
(6.13.3)
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____
合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____
表面への化粧張り等の加工 ※ 図示による ○ _____

種類 ※ 表6.13.11によるJIS規格品とする (表6.13.1)
種類 規格 厚さ (mm) 等
● セッコウボード (GB-R) ※ 12.5(不燃) ○ 9.5(準不燃)
○ 化粧セッコウボード (GB-D) ○ 杉板模様 ○ 12.5(不燃)
○ トラバーチン模様 ○ 9.5(不燃)
(程鉄下地は専用のものとする)
○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC) ○ トラバーチン模様 ※ 9.5(不燃)
○ 模様なし

○ シージングセッコウボード (GB-S) ○ 15(不燃) ○ 12.5(準不燃) ※ 9.5(準不燃)
● 強化セッコウボード (GB-F) ○ 21(不燃) ● 15(不燃) ○ 12.5(不燃)
○ 耐震/耐火/吸音ボード (RW-B) ※ 25 ○
● グラスウール吸音ボード (GW-B) ※ 25 ● 50
○ 吸音あなきセッコウボード (GB-PP) ○ 9.5(準不燃)
○ ロックウール化粧吸音板 (DR) 内部用 フラット ○ 12(不燃) ※ 9(不燃)
立体的模様 ○ 15(不燃) ※ 12(不燃)
軒天用 フラット ○ 12(不燃) ※ 9(不燃)
立体的模様 ○ 15(不燃) ※ 12(不燃)

○ けい酸カルシウム板 (0.8FK) タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ○ 6.0 ○
○ メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による ※ 1.2
○ 難燃木毛セメント板 ○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15
○ 断熱木毛セメント板 ○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15
○ 火山性ガラス質被覆板 ○ 研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)
○ 無研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)

○ 普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種
板面の品質 防虫処理○行う
○ 天然木化粧合板 厚さ 接着の程度
化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理○行う
○ 特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法
表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS 防虫処理○行う
○ その他張り用合板 フローリング下耐水合板 t12
○ 硬質セッコウボード (GB-R-H) t9.5 (表6.13.3)
合板類の張付け ○ A種 ○ B種
セッコウボードの目地処理 (表6.13.5)
● 縦目処理 ○ 突付け ○ 目透かし

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5)
○ ペベルエッジ ○ スクエアエッジ

● 杉板張り (静岡県産材)
防火性能・種類・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による
施工箇所 防火性能 品質・規格

素地ごしらせ モルタル及びセッコウプラスター面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.4)
コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.5)
セッコウボード面及びその他のボード面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.7)

7 内装改修工事

15 天井廻り縁
16 モルタル塗り (6.15.2)
~(6.15.6)
モルタル ○ 現場調合材料
○ 既調合材料 (_____)
既製目地材 ○ 設ける (形状: _____)
床目地 ○ 設ける ○ 設けない
目地の種類 ※ 押目地 ○ _____
目地割り ※ 2m2程度 ○ _____
最大目地間隔 ※ 3m程度 ○ _____

17 タイル張り (6.16.2)
~(6.16.4)
伸縮調整目地等 床面 ※ 縦・横とも4m以内ごと ○ _____
壁面 ※ 図示による ○ _____
タイルの試験張り ○ 行わない ○ 行う
タイルの見本焼 ○ 行わない ○ 行う
施工後の確認及び試験
浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う
接着力の試験 ※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない

タイルの種類
施工箇所・形状・タイルの種類 寸法(mm) 生地 釉薬 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 工法 その他
○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ○ 有り ※ 標準 接着張り
○ 陶器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 無し ○ 特注
○ せつ器
○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ○ 有り ※ 標準
○ 陶器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 無し ○ 特注
○ せつ器
○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ○ 有り ※ 標準
○ 陶器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 無し ○ 特注
○ せつ器

壁タイル張りの工法
内装タイル
○ 密着張り ○ 改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
○ マスク張り ○ モザイクタイル張り
内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ○ _____
○ 既調合モルタル _____
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 ○ _____

18 セルフレベリング材塗り (6.17.2)
~(6.17.3)
塗厚 (mm) ○ 10 ○ 15 ○ _____

1 塗装材料 (7.1.3)
塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____

2 下地調整 (7.2.1)
~(7.2.7)
塗替えて下地調整の種類がB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ 図示 ○ _____ (表7.2.1)~(表7.2.7)

素地 種別 備考
木部 ○ RA種
※ 不透明塗料塗りの場合はRB種
○ RC種
鉄鋼面 ○ RA種 ※ RB種
○ RC種
垂鉛めっき鋼面 ○ RA種 ※ RB種
○ RC種
モルタル及びセッコウプラスター面 ○ RA種 ※ RB種 ひび割れ部の補修
○ RC種 ○ 適用する ○ 適用しない
コンクリート面及びALCパネル面 ○ RA種 ※ RB種 ひび割れ部の補修
○ RC種 ○ 適用する ○ 適用しない
コンクリート面及び押出成形セメント面 ○ RA種 ○ RB種 ひび割れ部の補修
○ RC種 ○ 適用する ○ 適用しない
セッコウボード及びその他ボード面 ○ RA種 ※ RB種
○ RC種

工事名 令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事
図面名 建築改修工事特記仕様書(6)
作成年月日
縮尺 ー 図面番号 2-6/11
会社名
事業所名 関東農政局三方原用水二期農業水利事業所

章 項 目 特 記 事 項 章 項 目 特 記 事 項 章 項 目 特 記 事 項 章 項 目 特 記 事 項

⑧ 塗装改修工事

④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) ~ (7.4.3)

⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)

Table with 2 columns: 特記事項 (Underground, Wood, Steel, etc.) and 事項 (Material types A, B, C).

Table for rust prevention paint types: 錆止め塗料の種類 (Surface, Steel, etc.) and 塗装の種類 (SOP, EP-G, DP).

Table for painting work: 工程の種類 (SOP, EP-G, DP, CL) and 名称 (Acrylic resin, etc.).

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-1 耐震補強工事 (鉄筋工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-2 耐震補強工事 (コンクリート工事) with 1-4 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-3 耐震補強工事 (あと施工アンカー工事) with 1-2 items.

Table for seismic reinforcement: 9-1-4 耐震補強工事 (鉄骨工事) with 1-4 items.

Table for project information: 工事名, 図面名, 作成年月日, 縮尺, 会社名, 事業所名.

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																												
9-1-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	<p>5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)</p> <p>6 溶接材料 (8.2.10)</p> <p>7 スタッド (8.2.11)</p> <p>8 工作図 (8.13.2)</p> <p>9 ボルト孔 (8.13.8)</p> <p>10 仮組</p> <p>11 技能資格者</p> <p>12 溶接接合 (8.15.4)(8.15.7)</p> <p>13 溶接部の試験 (8.15.12)</p> <p>14 錆止め塗料 (7.4.2)(8.17.2)(8.17.4)</p>	<p>9-1-4 耐震補強工事(鉄骨工事)</p> <p>15 耐火被覆 (8.18.2)~(8.18.9)</p> <p>16 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>9-1-5 耐震補強工事(グラウト)</p> <p>1 グラウト材 (8.2.12)</p> <p>2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)</p>	<p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 料 ・ 工 法</th> <th>適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)</th> </tr> <tr> <td>○ 耐火材吹付け</td> <td>○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火板張り</td> <td>○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火材巻付け</td> <td>○ 高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ラス張りモルタル塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性 能</th> <th>適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)</th> </tr> <tr> <td>○ 30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table> <p>適用</p> <p>○ 構造用アンカーボルト 材質 ○ SNR400B アンカーフレームの形状及び寸法 ○ ○ 示すによる ○</p> <p>○ 建方用アンカーボルト 材質 ○ SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 ○ A種 ○ B種 柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm</p> <p>グラウト材</p> <p>○ 早強型特殊セメント系無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの割合</p> <p>※ 製造所で割合されたプレミックスタイプ</p> <p>○ 現場割合形</p> <p>無収縮グラウト材の品質</p> <p>圧縮強度 (N/mm²) ※ 30以上 ○ ※ 一般部コンクリートと同等以上の強度 (鉄筋コンクリート壁増設工事の壁頭部)</p> <p>コンシステンシー(J14)ルート値(秒) ※ 6~10 ○ 乾燥収縮 (10) ※ 0 ○</p> <p>※ グラウト材の品質管理は次による</p> <p>圧縮強度試験 ※ 行う ○ 行わない コンシステンシー試験 ※ 行う ○ 行わない</p> <p>モルタルの種類 ※ 無収縮モルタル ○ ※ 公共建築工事標準仕様書7.2.9(ア)から(エ)による。 ○ ※ 示すによる ○ ※ A種 ○ B種</p>	種 類	材 料 ・ 工 法	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)	○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール		○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板		○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール		○ ラス張りモルタル塗り	-		○ 耐火塗料			性 能	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)	○ 30分耐火		○ 1時間耐火		○ 2時間耐火		○ 3時間耐火		<p>9-1-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.21.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.21.3)</p> <p>4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)</p> <p>5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)</p> <p>6 既存構造体との取合い (8.21.9)</p> <p>7 仕上げ (8.21.10)</p> <p>9-1-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.22.2)</p>	<p>○ 新設耐震壁 ○ 増打ち耐震壁 ○ 開口部閉鎖壁 ○ 新設袖壁 製造所及び専門業者 ()</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 示すによる ○ 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 ※ 示すによる ○ 既存構造体の撤去範囲 ※ 示すによる ○</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。 ○ 示すによる</p> <p>目荒しの程度 既存柱・梁 ※ 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 示すによる</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合) ※ 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 示すによる</p> <p>割裂補強筋 ※ 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 示すによる</p> <p>開口付増設壁の開口部鉄筋及び増設壁で壁の端部横筋 ※ ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き ○ 示すによる</p> <p>○ 流込み工法 ○ 圧入工法</p> <p>※ 8.19.9の方法による他、以下に注意する ※ 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 ※ 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚くW配筋の場合) ※ 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) ○ 示すによる</p> <p>※ 示すによる ○ ()</p> <p>○ 内側補強工法 ○ 枠付き鉄骨K型ブレース ○ 枠付き鉄骨X型ブレース ○ 枠付き鉄骨類付付ブレース ○ 枠付き鉄骨マンサード型ブレース ○ 枠付き開口鉄板パネル ○ 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 ()</p> <p>○ 外側補強工法 ○ 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 ○ 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法 製造所及び専門業者 ()</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による。</p>	<p>9-1-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>9-1-8 耐震補強工事(柱補強工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.23.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.23.3)(8.24.3)</p> <p>4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)</p> <p>5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)</p>	<p>目荒しの程度 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-3による。</p> <p>割裂補強筋 ※ 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) ○ 示すによる</p> <p>※ 示すによる ○</p> <p>○ 溶接金網巻き工法 ○ 溶接閉鎖フープ巻き工法 ○ 鋼板巻き工法 ○ 帯板巻き付け工法 ○ 連続繊維補強工法 ○</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 ○ 示すによる</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による 既存構造体の撤去範囲 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ○ 示すによる ※ 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>目荒し程度 ※ 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 示すによる</p> <p>柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) ※ 支障となる表面の不陸を調整し、コーナ部をグラインダー等により曲面に成型する。(※ 30R ○) ○ 示すによる</p> <p>柱頭のスリット ○ 設ける ○ 設けない 柱脚のスリット ○ 設ける ○ 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ ○ mm 打込みの工法 ○ 流込み工法 ○ 圧入工法</p> <p>鋼板の加工 ○ 円形 ○ 角形 ○ 柱頭のスリット ○ 設ける ○ 設けない 柱脚のスリット ○ 設ける ○ 設けない 柱脚スリットを設ける場合のモルタル剥離防止処理方法 ○ 小口塞ぎ鉄板溶接 ○ 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 ※ 本特記仕様書8-5-11による ○ グラウト材の厚さ ○ 20mm ○ mm</p>
種 類	材 料 ・ 工 法	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)																																	
○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール																																		
○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板																																		
○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール																																		
○ ラス張りモルタル塗り	-																																		
○ 耐火塗料																																			
性 能	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)																																		
○ 30分耐火																																			
○ 1時間耐火																																			
○ 2時間耐火																																			
○ 3時間耐火																																			

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	建築改修工事特記仕様書(8)		
作成年月日			
縮 尺	—	図面番号	2-8/11
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

Table with 2 columns: Item No. (10-15) and Item Description. Includes specifications for signage, room names, and blinds.

Table with 2 columns: Item No. (16-19) and Item Description. Includes specifications for blinds, mats, and storage furniture.

Table with 2 columns: Item No. (20-29) and Item Description. Includes specifications for display boards, counters, and safety equipment.

Table with 2 columns: Item No. (1) and Item Description. Includes specifications for materials and drainage work.

Table with 2 columns: Item No. (3-4) and Item Description. Includes specifications for drainage pipes and concrete work.

Table with 2 columns: Item No. (1-4) and Item Description. Includes specifications for roadbed, curbs, asphalt paving, and concrete paving.

Table with 2 columns: Item No. (5-7) and Item Description. Includes specifications for colored paving and block paving.

Table with 2 columns: Item No. (8-10) and Item Description. Includes specifications for gravel paving and aluminum doors.

Table with 2 columns: Item No. (1-2) and Item Description. Includes specifications for general items and stone removal work.

Project Information Table: Includes project name, drawing name, date, scale, company name, and project location.

3 石綿粉じん濃度測定 (9.1.1)

○ 行う

測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
除去作業前	除去作業室内	○1点 ○2点 ○3点 ○点	
除去作業中	調査対象室外部付近	○1点 ○2点 ○点	
	除去作業室内	○1点 ○2点 ○3点 ○点	
	セキュリティゾーン入り口	○1点 ○2点 ○3点 ○点	
	集じん・排気装置の排出口	各 ○1点 ○2点 ○3点	除去作業室外の場合
除去作業後	除去作業室内	○1点 ○2点 ○点	シート養生中
除去作業後	除去作業室内	○1点 ○2点 ○3点 ○点	シート撤去後
	調査対象室外部付近	○1点 ○2点 ○点	1週間以降

※ 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

○ 行わない

測定方法

・ 自動測定器による測定

測定場所	測定方法
○ セキュリティゾーン入り口	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター
○ 集じん・排気装置の排出口(除去作業室外)	繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定場所	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/mm)	試料の吸引時間 (min)
○ セキュリティゾーン入り口	25	5	30
○ 集じん・排気装置の排出口(除去作業室外)	47	10	120
○	47	10	240

測定機関 ※ (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。

○

報告書提出部数 ※ 3部 ○ 部

4 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)

施工業者

※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。

○ 「吹付け石綿粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。

除去を行う範囲

※ 図示による (仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認)

○ 全ての室 ○

除去工法

※ 改修標仕9.1.3(2)(ア)による

○

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止

※ 密封処理(二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。

※ 湿潤化

○ セメント固化

○ 溶融固化

除去物等の保管

※ 他の建設副産物等と分別して保管する。

※ 飛散防止措置を講ずる。

※ 石綿等の保管場所であることを表示を行う。

除去した石綿含有吹付け材等の処分方法

○ 埋立処分(管理型最終処分場)

○ 中間処理(溶融施設)

5 石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)

除去を行う範囲

※ 図示による

○

除去方法

※ 原形のまま手ばらし

○ 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(1)による隔離とする)

○

除去した石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の処分

○ 埋立処分(管理型最終処分場)

○ 中間処理(溶融施設)

13 環境配慮改修工事

6 石綿含有成形板等の除去 (9.1.5)

除去を行う範囲

※ 図示による

○

除去の方法

※ 湿潤化したのちに手ばらし

○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕

○

隔離養生(負圧不要)方法

○ 図示による ○

足場

○ 図示による ○

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

○ 埋立処分(安定型最終処分場)

○ 中間処理(溶融施設)

○ 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の撤去

除去を行う範囲

※ 図示による

○

除去した石綿含有成形板等の処分

○ 石綿含有せっこうボード

※ 埋立処分(管理型最終処分場)

○ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等

○ 埋立処分(安定型最終処分場)

○ 中間処理(溶融施設)

○ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等(下地調整材)の撤去

除去を行う範囲

※ 図示による

○

除去の方法

○

養生の方法

○

除去した石綿含有仕上塗材の処分

○ 埋立処分(安定型最終処分場)

○ 埋立処分(管理型最終処分場)

○ 中間処理(溶融施設)

除去を行う石綿成形板等の仕様

種類	厚さ(mm)	種類	厚さ(mm)
○ 化粧石膏ボード	○ 9.5	○ 石綿ロックウール	○ 9.0
○ ビニル床タイル	○ 2.0	○ 石綿スレート(外装・内装)	○ 6.3
○ 石綿保温材	○	○ 押出成形セメント板	○
○ けいそう土保温材	○	○ 化粧石綿セメント板	○
○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材	○	○ 石綿セメントけい酸カルシウム板	○
○ けい酸カルシウム保温材	○	○ 化粧石綿セメントけい酸カルシウム板	○
○ 親水性バークライト保温材	○	○ 吸音穴あき石綿セメント板	○
○ 繊維混入けい酸カルシウム板	○	○	○

7 断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書第3章による

工法の種類 ○ P1B1 ○ M3D1

○ P2A1 ○ M4D1

○ POD1

8 外断熱改修工事 (9.2.2) ~ (9.2.4)

断熱材の種類 ○ 厚さ(mm) ○

断熱材の施工 ○ 断熱材製造所の仕様による ○

不陸等の下地調整 ○ 外装材製造所の仕様による ○

外装材 ○ 取付ける (種類 防火性能)

外装材の施工 ○ 断熱材製造所の仕様による ○

既存外壁 ○ 仕上げ材の除去 ()

○ 下地の清掃 ()

○ 下地の欠損部の改修 (4.1.4 [外壁改修工法の種類] による)

施工 ※ 断熱材製造所の仕様による ○

通気層 ○ 有(厚さ mm) ○ 無

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ○

9 断熱・防露改修工事 (9.3.2) (9.3.3)

材	料(種類)	その他	
断熱材 打込み工法	○ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材	断熱材厚さ ○ mm	
	○ 押出型ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材		
	○ 硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材		
	○ フェノールフォーム保温材又は断熱材		
	(※ F☆☆☆☆ ○)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	
断熱材現場発泡工法	※ A種1 ○ A種1H ○ B種1 (難燃性を有するものとする)	JIS A 9526	吹付け厚さ ○ mm

※ 接着剤のホルムアルデヒド放散量は0-1揮発性有機化合物に記載のとおりとする

※ 特定フロンを使用とする。

13 環境配慮改修工事

(9.3.4)

○ 断熱材後張り工法

断熱材の種類 ○

断熱材の厚さ(mm) ○

○ 張り付け工法

断熱材の張り付け工法 ○

断熱材へのボードの張り付け工法 ○

10 屋上緑化 (9.4.2) ~ (9.4.4)

樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による

種類	寸法	数量	備考

芝・地被類の種類

※ 図示による

○ コウライシバ (※ 目地張り ○)

○ ノシバ (※ 目地張り ○)

○ セダム類 (○ カット ○ ふるい ○ プラグ苗 ○)

材料 ○ 見切材 ○ 舗装材

○ 排水孔 ○ マルチング材

かん水装置 ○ 設置する (種類)

○ 設置しない

支柱材 ○ 杉(焼き丸太) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(皮はぎ)

形式 ※ 図示による ○

防露処理方法 ○ 加圧式防露処理丸太 ○

幹巻用材料 ○ 幹巻き用テープ ○ わら及びこも

既存保護層の撤去 ○ 行う(工法は3.2.3 [既存保護層等の撤去] による)

○ 行わない

新植芝及び地被類の枯補償 ※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年

既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示による ○

11 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2) ~ (9.5.5) (9.5.9)

種別	材料	厚さ(mm)
○ 盛土	○ A種 ○ B種 ○ C種	○ 図示 ○
○ 凍上抑制層	○ 再生クラッシュランG ○ クラッシュラン	○ 図示 ○
○ フィルター層	○ 切込み砂利 ○ 砂 ○	○ 図示 ○

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

○ 行う ○ 行わない

路床安定処理 ○ 適用する ○ 適用しない

路床安定処理の方法 ○ 置き換え工法 ○ 安定処理工法

・ 路床安定処理用添加材料

種類

○ 普通ポルトランドセメント ○ 高炉セメントB種

○ フライアッシュセメントB種

○ 生石灰(○特号 ○1号) ○ 消石灰(○特号 ○1号)

添加量 ○ kg (目標CBR ○ 3以上 ○)

目標CBRを満足する添加量の確認方法

○ 安定処理土のCBR試験 ○

○ ジオテキスタイル

単位面積質量 ○ 60g/m2以上 ○

厚さ(mm) ○ 0.5~1.0 ○

引張強さ ○ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ○

透水係数 ○ 1.5×10cm/sec以上 ○

試験

路床土の支持力比(CBR)試験 ○ 行う ○ 行わない

現場CBR試験 ○ 行う ○ 行わない

路床締固め度の試験 ○ 行う ○ 行わない

13 環境配慮改修工事

路盤

路盤の厚さ ○ 図示 ○

路盤材料

種類別
○ クラッシュラン
○ 粒度調整砕石
再生材
○ 再生クラッシュラン
○ 再生粒度調整砕石
○ クラッシュラン鉄鋼スラグ
○ 粒度調整鉄鋼スラグ
○ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

舗装の構成 ○ 図示による ○

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 行う ○ 行わない

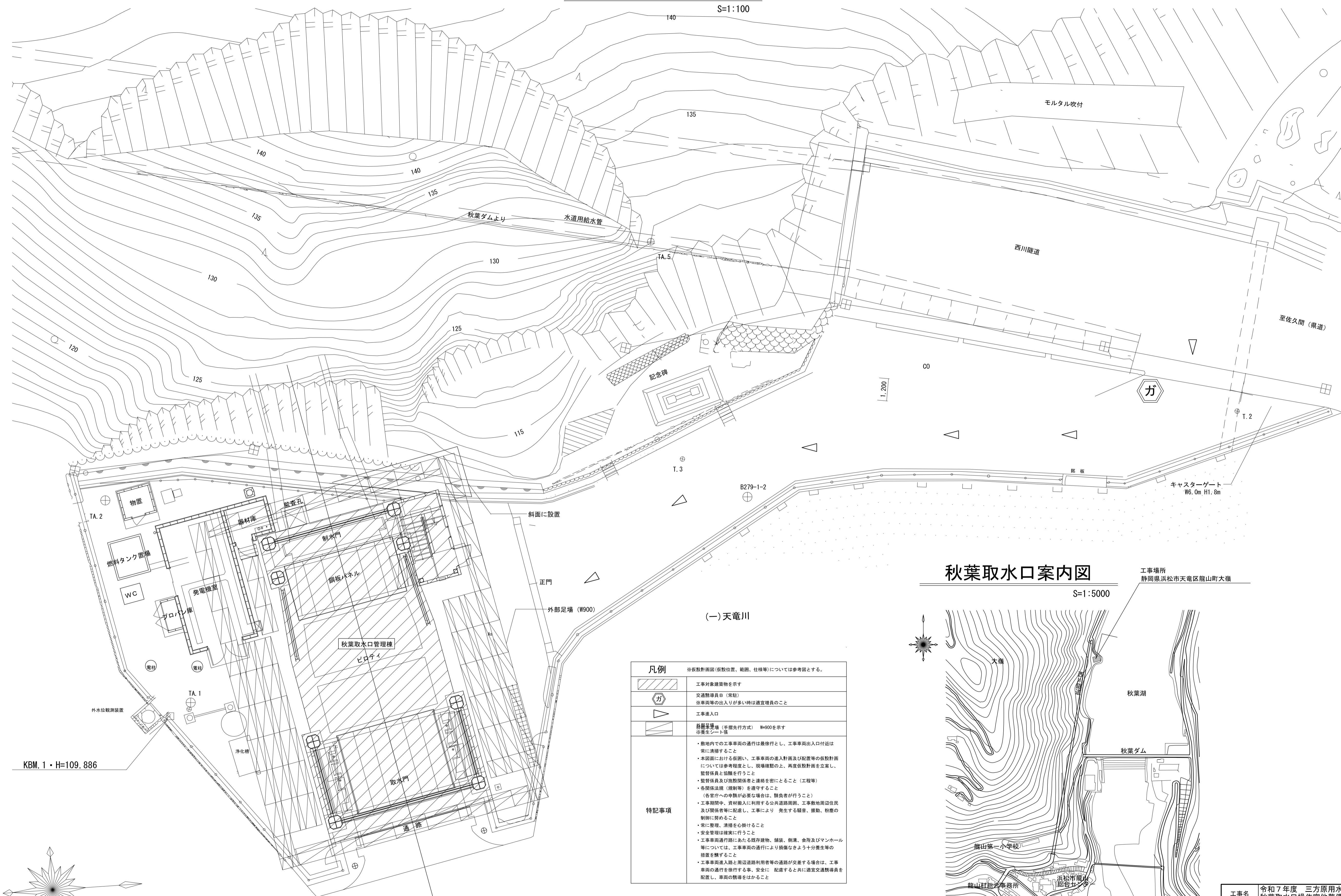
舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ○

※ 施工に際してはAMEの総合プロット図及び施工図作成の上、職員の承諾の上施工の事

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	建築改修工事特記仕様書(11)		
作成年月日			
縮尺	—	図面番号	2-11/11
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

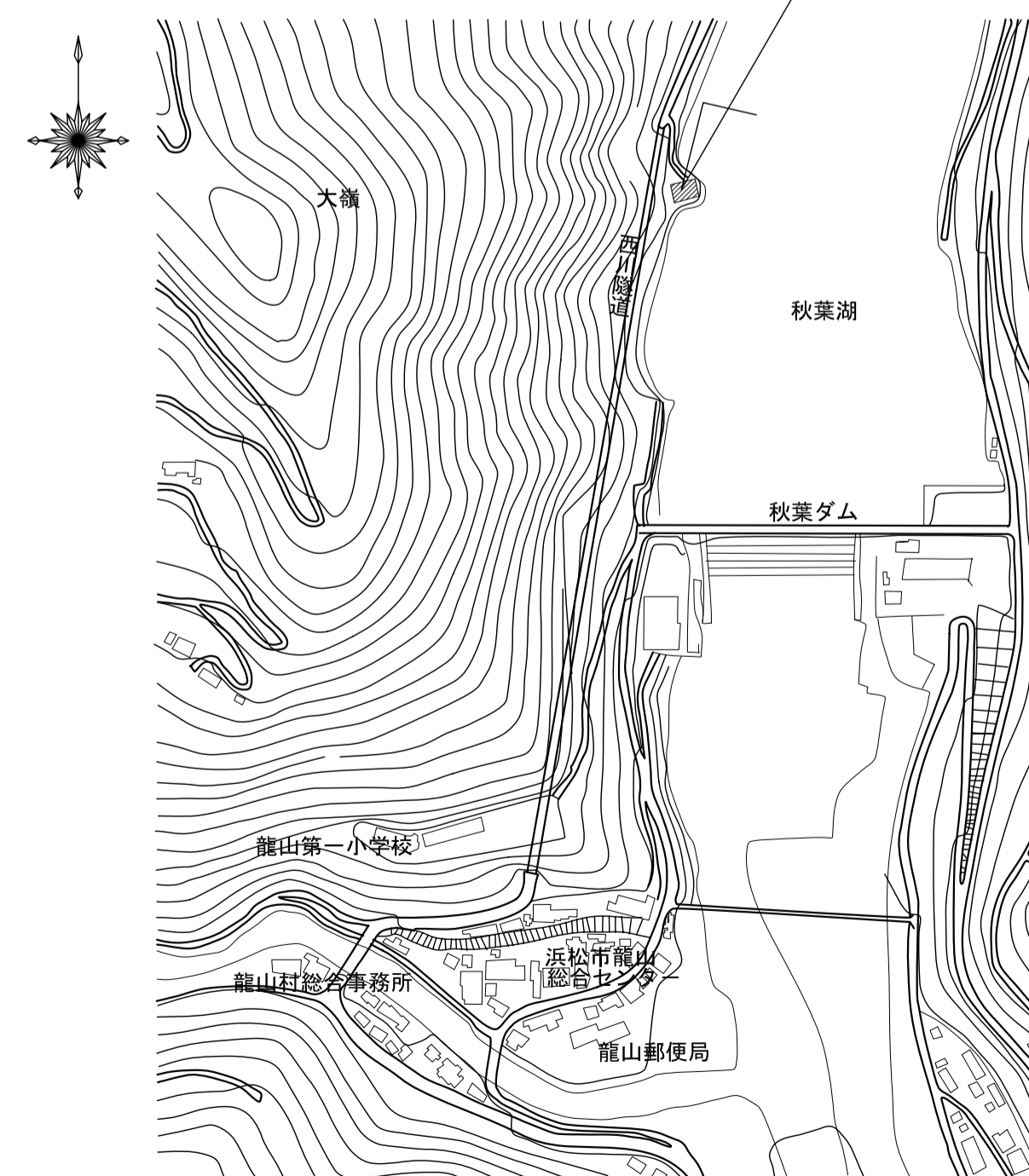
秋葉取水口配置図

S=1:100



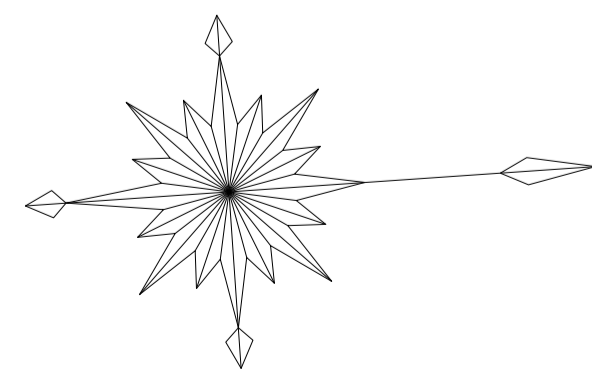
秋葉取水口案内図

S=1:5000



凡例	
	工事対象建築物を示す
	交通誘導員口 (常駐) ※車両等の出入りが多い時は適宜増員の事
	工事出入口
	誘導員現場 (車線先行方式) W900を示す ※養生シート張
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内での工事車両の通行は厳禁とし、工事車両出入口付近は常に清掃すること 本図面における仮囲い、工事車両の進入計画及び配置等の仮設計画については参考程度とし、現場確認の上、再度仮設計画を立案し、監督係員と協議を行うこと 監督係員及び施設関係者と連絡を密にとること (工程等) 各関係法規 (規制等) を遵守すること (各官庁への申請が必要な場合は、届出書を行うこと) 工事期間中、資材搬入に利用する公共道路閉鎖、工事敷地周辺住民及び関係者等に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵の制御に努めること 常に整理、清掃を心掛けること 安全管理は確実にを行うこと 工事車両通行路にあたる既存建物、舗装、假設、会所及びマンホール等については、工事車両の通行により損傷なきよう十分養生等の措置を講ずること 工事車両進入時と周辺道路利用者等の連絡が交差する場合は、工事車両の通行を厳禁する事、安全に 配慮すると共に適宜交通誘導員を配置し、車両の誘導をはかること

KBM. 1・H=109.886



工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	秋葉取水口配置図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	3
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

外部仕上表

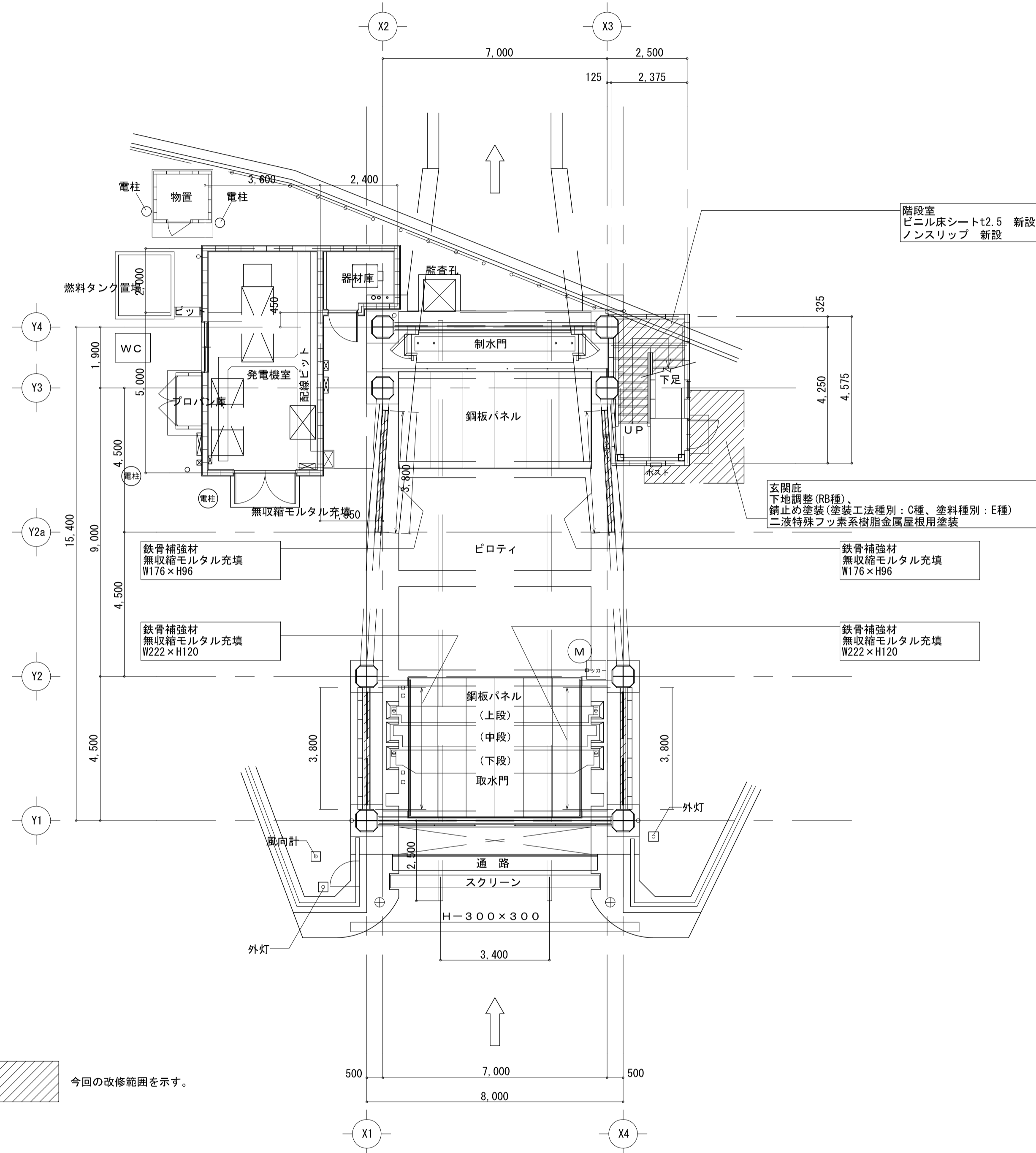
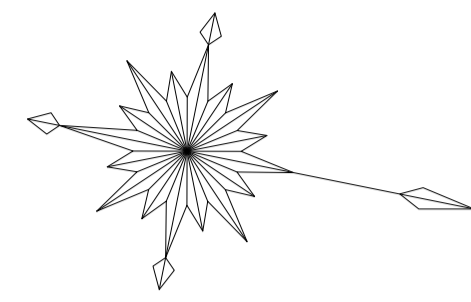
		凡例											
符号	部位	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後
1	屋上床	一部ウレタン塗膜防水(X-2工法) 一部RC立上り新設の上塗膜防水(X-2工法) ラック棒カバー新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	床 : 防水モルタル金ごて+ウレタン塗膜防水 ドレイン: 100φ用型型ドレイン 堅縫: VP100φ OP塗り	床 : 既存のまま ドレイン: 既存のまま	※本工事対象外			
2	屋上ドレイン	125φ用L型ドレイン, 100φ用横型ドレイン	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま						
3	パラベットの笠木	防水モルタル金ごて+ウレタン塗膜防水(X-2工法) アルミ手摺、一部アルミ亜木一体型アルミ手摺	既存のまま	水洗い清掃(アルミ笠木、手摺のみ)、既存のまま(アルミ笠木、手摺以外)	既存のまま	既存のまま							
4	アルミ水切り	アルミ水切り	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
5-1	外壁	t150ALC版 防水形複層塗材E 外壁目地	既存のまま 撤去	既存塗材高圧洗浄の上、下地調整材(C-2)の上、防水型複層塗材E 外壁目地 PU-2(ポリウレタン系) 新設	既存のまま	既存のまま							
5-2		一部モルタル刷毛引き 防水形複層塗材E	既存のまま	既存塗材高圧洗浄の上、下地調整材(C-2)の上、防水型複層塗材E	既存のまま	既存のまま							
6	外部巾木	モルタル刷毛引き、一部コンクリート打放し補修	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
7	屋上手摺	アルミ製(笠木一体型)W=235	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
8-1	縦樋	VP125φ OP塗り	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
8-2		カラーVP100φ	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
9	鉄骨柱	SOP塗り	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
10	鉄骨ブレース	SOP塗り	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
11	飾り樹	SUS製	既存のまま	水洗い清掃	既存のまま	既存のまま							
12	補強鉄骨	SOP塗り	既存のまま	水洗い清掃、1階補強材H形鋼無取縮モルタル充填	既存のまま	既存のまま							
13	玄関庇	折板屋根	既存のまま	屋根: 下地調整(RB種)の上、二液特殊フッ素系樹脂金属屋根用塗装 鉄部: 下地調整(RB種)の上、DP塗装	既存のまま	既存のまま							

内部仕上表

階	室名		床		巾木		腰壁		壁		廻り縁	天井		備考	
			改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後		仕上げ	天井高	備考	備考
1階	ピロティ	改修前	コンクリート金ごて t6編鋼板パネル OP塗り	既存のまま	コンクリート打放 (耐震プレス部)	既存のまま	t150ALC版 AEP塗り	既存のまま	同左	既存のまま	モルタル刷毛引きAEP塗り、コンクリート打放し補修EP-G 鉄骨OP塗り、鉄骨ブレース補強部SOP塗り	既存のまま	CH≒7.200	チェーンブロック	既存のまま
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH≒7.200		
1階	下足室	改修前	嵩上げコンクリート金ごて				t150ALC版表し	既存のまま	同左	既存のまま	鉄部 OP塗り	既存のまま	成り行き	下足箱 スノコ敷き	既存のまま
		改修後	既存のまま				既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	成り行き		
2階	前室	改修前	木床組下地t15合板+t3ベニヤ+ビニル床タイル貼り (ビニル床タイル アスベスト含有レベル3) ビニル床タイルのみ撤去	H=100 木OP 撤去			t6プリントベニヤ貼り	既存のまま	同左	既存のまま	木 OP	t=3フレキシブルシート目スカシ VP 一部t=4フレキシブル板目スカシ EP-G	既存のまま	CH=2.700	
		改修後	ビニル床タイルt2.0新設	H=100 木OP 新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH=2.700	
2階	操作室	改修前	フリーアクセスフロア H=310 (ビニル床タイル一体型)撤去(支持脚共)	H=100 木OP 撤去			t6プリントベニヤ貼り	既存のまま	同左 柱型:一部t12+9ラワン合板 OSC	既存のまま	木 OP	t=9化粧石膏ボード 一部t=9.5化粧石膏ボード張り	既存のまま(一部撤去)	CH=2.700	流量計 移設
		改修後	フリーアクセスフロア H=310 新設(支持脚共) ビニル床タイル 帯電防止型新設	H=100 木OP 新設	東面 強化Pbt15 2重貼り ボード4周突付部弾性シーリング スギ羽目板張りt12の上、GL塗 (LGS65下地新設 既存壁に密着させない)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH=2.700	
2階	取水門巻上機械室	改修前	シンダーコンクリート金ごて+樹脂塗床	既存のまま	モルタル EP ビニールH=100	既存のまま	150ALC版表し(目地シーリング) EP-G t12.5PB二重貼り(継目処理工法) EP-G	既存のまま	同左	既存のまま		コンクリートスラブ(フリーベスト浸透剤塗布) 補強鉄骨 EP-G塗り	既存のまま	CH≒3.230	出入口扉撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	西面 グラスウールボードt50 (ガラスクロス額縁張り) (32kg/m3) ボード下地 扉部および機械近接鉄骨Brd箇所除く 一部Pbt12.5貼り(LGS65)下地新設	グラスウールボードt50(32kg/m3)新設 コンクリート直貼り(ガラスクロス額縁張り)	既存のまま	CH≒3.230
2階	予備品倉庫	改修前	シンダーコンクリート金ごて	既存のまま	モルタル EP ビニールH=100	既存のまま	t150ALC版 AEP塗り t12.5PB二重貼り(継目処理工法) EP-G	既存のまま	同左	既存のまま		コンクリートスラブ(フリーベスト浸透剤塗布)	既存のまま	CH≒3.230	ホイストクレーン 既存のまま
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH≒3.230	
2階	湯茶室	改修前	二重床+t12コンパネ+t2.5長尺シート貼り新設	既存のまま	ビニールH=100	既存のまま	t12.5PB(継ぎ目処理工法) EP-G 一部t12.5PB二重貼り(継目処理工法) EP-G	既存のまま	同左	既存のまま	塩ビ	LGS下地 t9.5化粧石膏ボード張り	既存のまま	CH=2.400	流し台 既存のまま
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH=2.400	
2階	便所 シャワー室	改修前	二重床+t12コンパネ+t2.5長尺シート貼り新設	既存のまま	ビニールH=100	既存のまま	t12.5PB(継目処理工法) EP-G 一部t12.5PB二重貼り(継目処理工法) EP-G	既存のまま	同左	既存のまま	塩ビ	LGS下地 t9.5化粧石膏ボード張り	既存のまま	CH=2.400	ユニットシャワー(0812) 既存のまま 洗面化粧台 既存のまま
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH=2.400	
2階	制水門巻上機械室	改修前	シンダーコンクリート金ごて+樹脂塗床	既存のまま	ビニールH=100 一部モルタル EP	既存のまま	t12.5PB二重貼り(継目処理工法) EP-G 150ALC版表し(目地シーリング) EP-G	既存のまま	同左	既存のまま		コンクリートスラブ(フリーベスト浸透剤塗布) 補強鉄骨 EP-G塗り	既存のまま	CH≒3.230	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH≒3.230	
2階	宿直室	改修前	二重床+t12コンパネ+t2.5長尺シート貼り	既存のまま	H=100 EP-G塗り	既存のまま	LGS W=65下地 t12.5PB+t5.5化粧合板貼り	東面 撤去 (LGS下地は残置) その他既存のまま	同左	既存のまま	塩ビ	LGS下地 t9.5化粧石膏ボード張り	既存のまま(一部撤去)	CH=2.400	カーテンレール、収納庫 既存のまま 出入口扉撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	東面 Pbt12.5の上、 化粧合板t6貼り (LGS下地は既存利用) グラスウール(32K)t50充填	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	CH=2.400	出入口防音屏新設(T-1) 2重サッシ 2箇所新設(外側既存、内側新設)
共通	階段室	改修前	ビニル床シートt2.5撤去	ささら OP塗り	既存のまま	150ALC版表し(目地シーリング) EP 一部t12.5PB二重貼り(継目処理工法) AEP	既存のまま	同左	既存のまま		t9PB 見透かしOP塗	既存のまま		鋼製手すり 既存のまま ノンスリップ 撤去	工事名 令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事
		改修後	ビニル床シートt2.5新設	下地調整※の上、DP塗	既存のまま	既存EP塗部 : 下地調整(RB種)の上、EP 既存AEP塗部: 下地調整(RB種)の上、EP-G	既存のまま	同左	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		鋼製手すり 下地調整※の上DP塗 ノンスリップ 新設

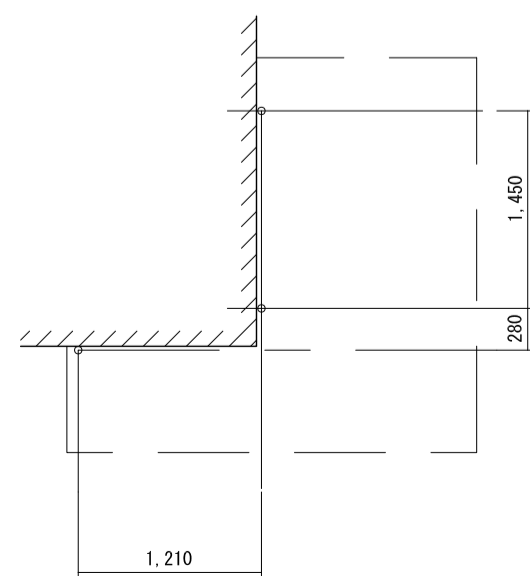
※下地調整(RB種)、錆止め塗装(塗装工法種別:C種、塗料種別:E種)
会社名
事業所名 関東農政局三方原用水二期農業水利事業所

1階平面図

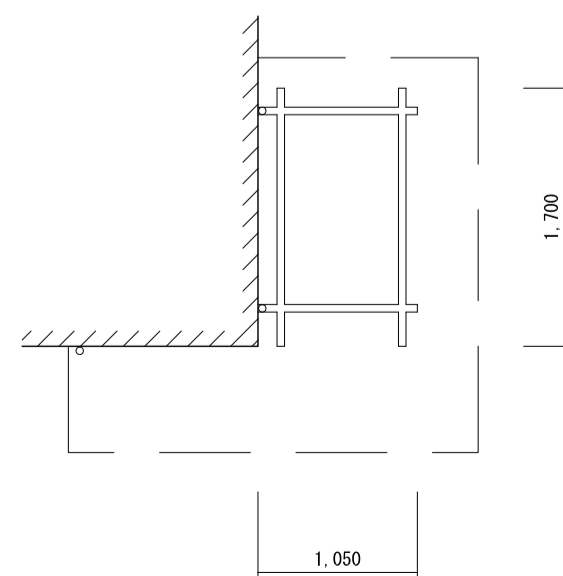


凡例
 今回の改修範囲を示す。

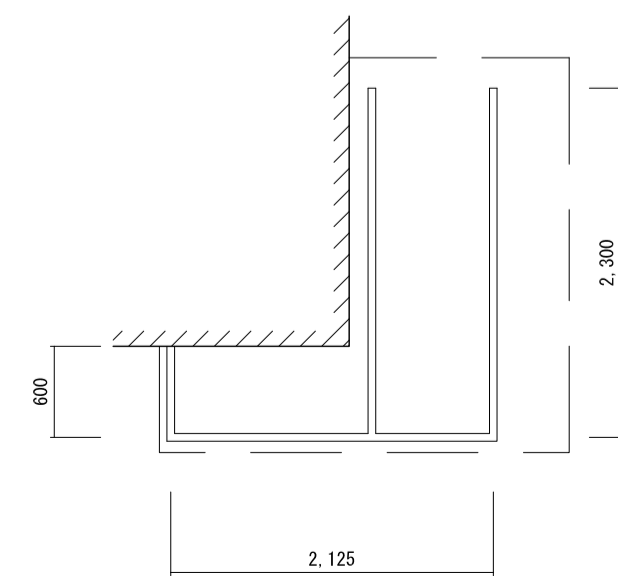
玄関庇図面



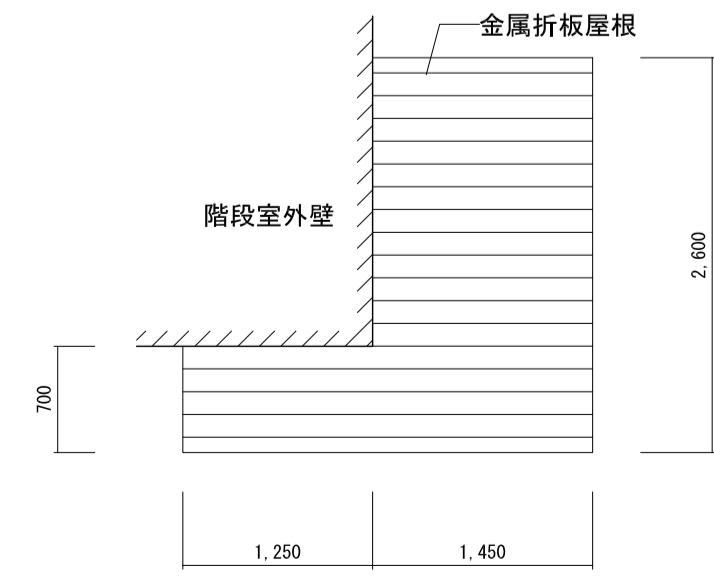
平面図 1/50
 ※鉄骨柱は全てφ50



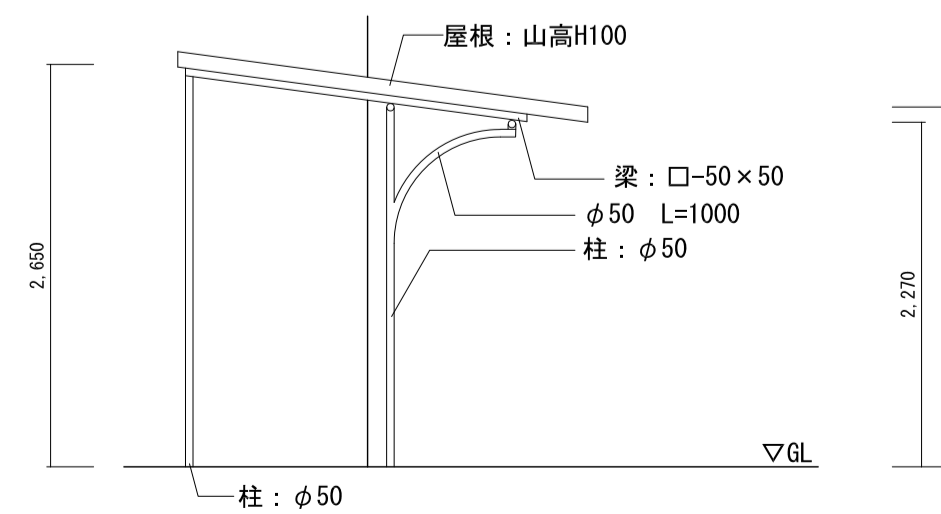
玄関庇梁伏図(下段) 1/50
 ※鉄骨は全てφ50



玄関庇梁伏図(上段) 1/50
 ※鉄骨は全てφ50×50



玄関庇屋根伏図 1/50

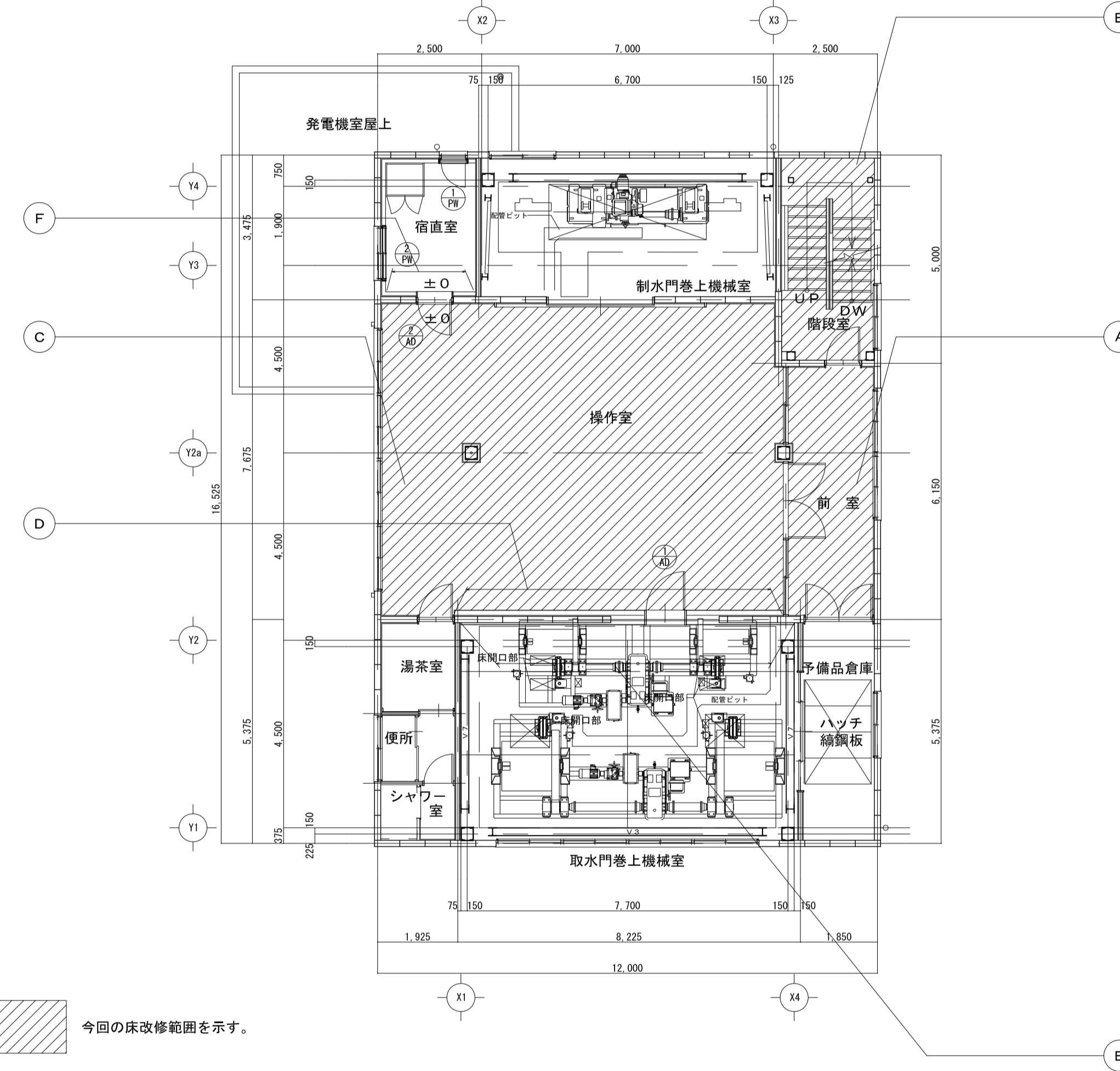
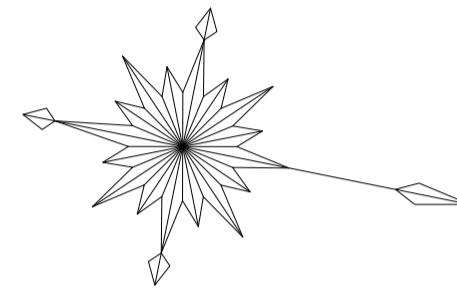


玄関庇側面図 1/50

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	5
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

2階平面図

室名		床	壁
前室	(A)	ビニル床タイル t2.0新設	既存のまま
階段室	(B)	ビニル床シート t2.5新設、 ノンスリップ(階段すべり止めSUS/ノンスリップ ゴムタイヤ入共)新設	既存EP塗部：下地調整 (RB種) の上、EP 既存AEP塗部：下地調整 (RB種) の上、EP-G
操作室	(C)	フリーアクセスフロア H=310 (ビニル床タイル 帯電防止型) 新設 (支持脚共)	(D) 東面 強化PBt15 2重貼り ボード4周突付部弾性シーリング スキ羽目板張りt12の上、CL塗 (LGS下地新設 既存壁に密着させない)
取水門巻上機械室		既存のまま	(E) 西面 グラスウールボードt50 (ガラスクロス縦線張り) (32kg/m3) ボード下地 扉部および機械近接鉄骨Br箇所除く 一部PBt12.5貼り (LGS下地新設)
宿直室		既存のまま	(F) 東面 PBt12.5の上 化粧合板t6貼り (LGS下地は既存利用) グラスウール (32K) t50充填



凡例
 今回の床改修範囲を示す。

建具表 (改修)		※建具については現場実測し、施工図を作成後、監督員の承諾の上、施工のこと							
建具符号	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)
見込	数量	70	1	70	1	70	1	70	1
姿図									
室名		取水門巻上機械室		宿直室		宿直室		宿直室	
仕上		カラーアルミ		カラーアルミ		カラー		カラー	
ガラス		t=6 フロート板ガラス		t=6 型板ガラス		透明複層ガラス (FL5・A6・FL5)		透明複層ガラス (FL5・A6・FL5)	
金物		丁番・ドアクローザー・グレモンハンドル、その他付属金物一式		丁番・ドアクローザー・グレモンハンドル、その他付属金物一式		カムラッチハンドル 樹脂製縦線、付属金物一式		クレセント・樹脂製縦線 付属金物一式	
備考		枠共新設		枠共新設		2重サッシ (内部) 新設		2重サッシ (内部) 新設	

・FL：フロート板ガラス
 ・A：空気層

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	6
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

立面図（北面、東面）

符号	部位	部 材 構 造	施 工 概 要
1	屋上床	一部ウレタン塗膜防水（X-2工法） 一部RC立上り新設の上塗膜防水（X-2工法）ラック棒カバー新設	既存のまま
2	屋上ドレイン	125φ用L型ドレイン、100φ用横型ドレイン	既存のまま
3	パラベット笠木	防水モルタル金ごて+ウレタン塗膜防水（X-2工法） アルミ手摺、一部アルミ笠木一体型アルミ手摺	既存のまま 水洗い清掃（アルミ笠木、手摺のみ）、既存のまま（アルミ笠木、手摺以外）
4	アルミ水切り	アルミ水切り	既存のまま 水洗い清掃
5-1	外壁	t150ALC版 防水形複層塗材E 外壁目地	既存のまま 既存塗材高圧洗浄の上、下地調整材(C-2)の上、防水型複層塗材RE 外壁目地 PU-2（ポリウレタン系） 新設
5-2		一部モルタル刷毛引き 防水形複層塗材E	既存のまま 既存塗材高圧洗浄の上、下地調整材(C-2)の上、防水型複層塗材RE
6	外部巾木	モルタル刷毛引き、一部コンクリート打放し補修	既存のまま 水洗い清掃
7	屋上手摺	アルミ製（笠木一体型）W=235	既存のまま 水洗い清掃
8-1	壁柱	VP125φ OP塗り	既存のまま 水洗い清掃
8-2		カラーVP100φ	既存のまま 水洗い清掃
9	鉄骨柱	SOP塗り	既存のまま 水洗い清掃
10	鉄骨ブレース	SOP塗り	既存のまま 水洗い清掃
11	飾り樹	SUS製	既存のまま 水洗い清掃
12	補強鉄骨	SOP塗り	既存のまま 水洗い清掃、1階補強材H形鋼無収縮モルタル充填
13	玄関庇	折版屋根	既存のまま 屋根：下地調整（RB種）の上、二液特殊フッ素系樹脂金属屋根用塗装 鉄部：下地調整（RB種）の上、DP塗装



【外部】					
番号	変状	W (mm)	L (mm)	数量 (本・箇所)	計
欠損					
1	欠損	40	50	×1	0.002
2	欠損	40	50	×1	0.002
17	欠損	100	200	×3	0.06
計 (㎡)					0.06

キズ					
3	キズ	-	900	×1	900
4	キズ	-	900	×1	900
5	キズ	-	1,000	×1	1,000
6	キズ	-	1,000	×1	1,000
7	キズ	-	300	×1	300
8	キズ	-	1,000	×1	1,000
9	キズ	-	300	×2	600
10	キズ	-	150	×3	450
11	キズ	-	400	×1	400
12	キズ	-	200	×1	200
14	キズ	-	200	×3	600
15	キズ	-	400	×1	400
16	キズ	-	200	×1	200
計 (mm)					7,950
改め (m)					7.95




キズ					
13	キズ	600	1,000	×1	0.60
計 (㎡)					0.60

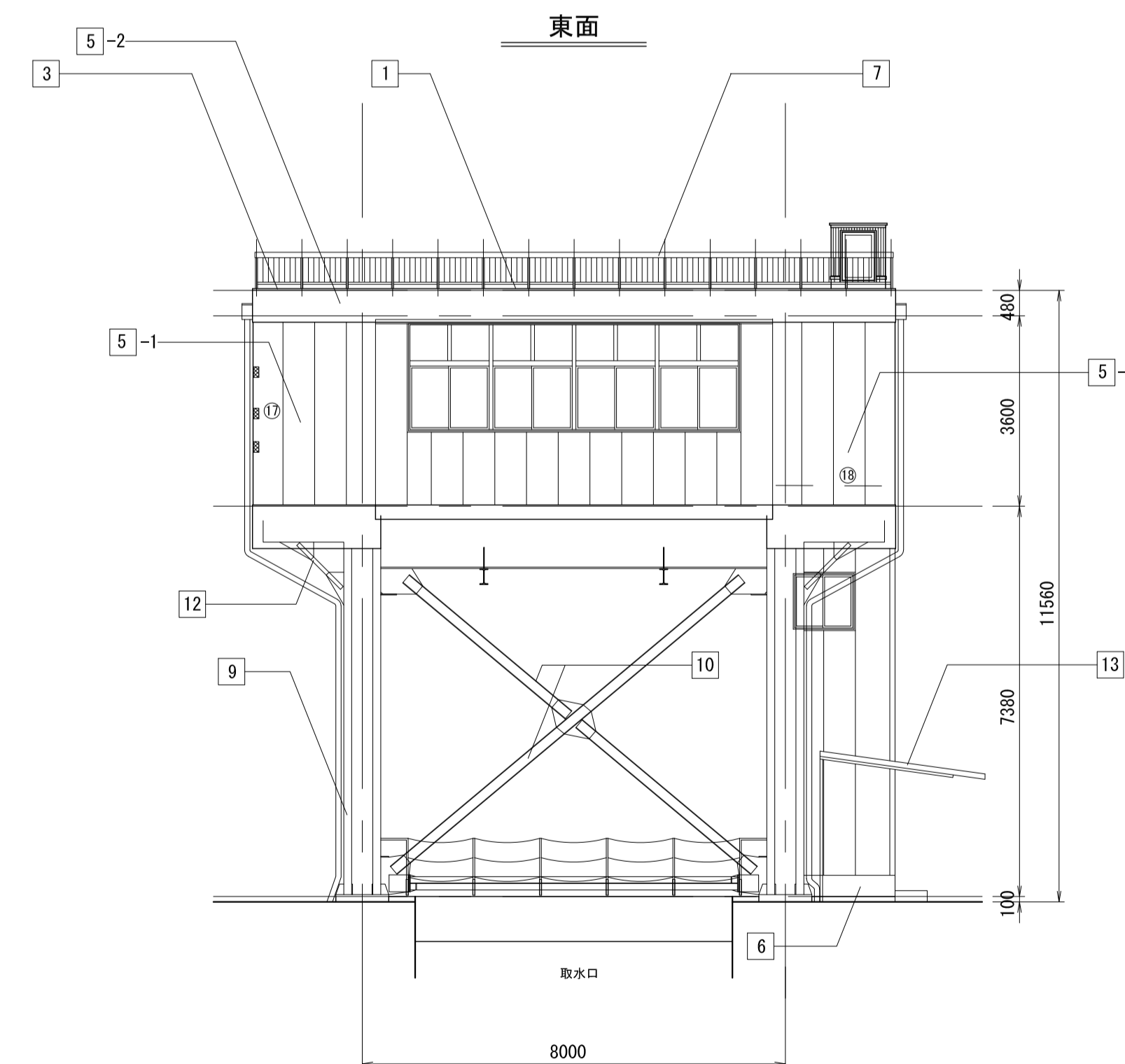
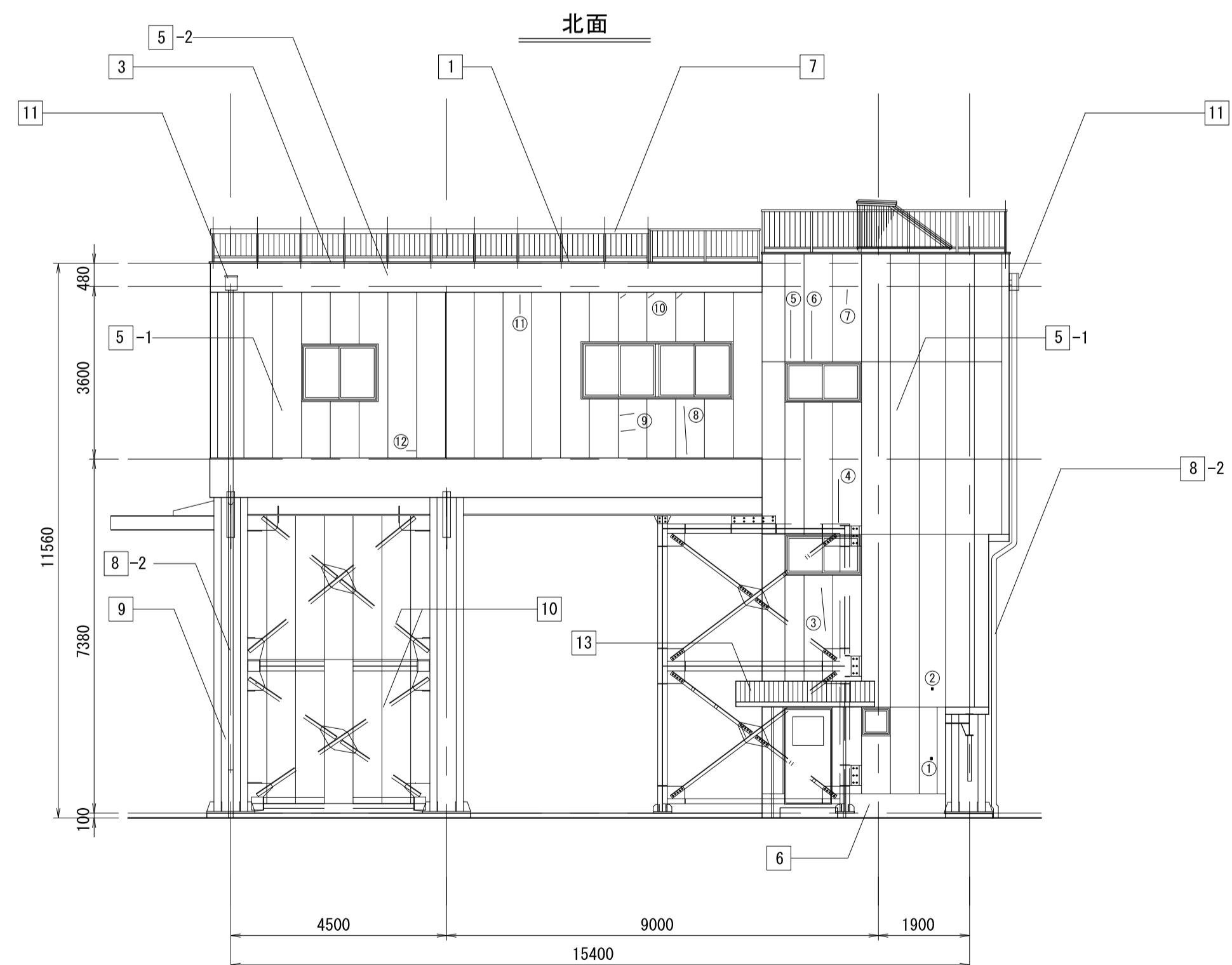
ひび割れ 幅0.2mm以上1.0mm以下					
18	ひび割れ	0.30	2,000	×1	2,000
計 (mm)					2,000
改め (m)					2.00

鉄骨サビ、塗装剥れ					
19	鉄骨サビ 塗装剥れ	-	-	-	全体

凡例
 クラック、キズ
 仕上欠損
 赤色はR7年度損傷を示す

立面図

凡例
 仕上げ番号を示す
 損傷番号を示す
 損傷位置 (改修後)



損傷 補修概要
 ※本図ひび割れ位置、数量については概略を示すものとし、本工事着工前に外壁調査（ひび割れ、剥離、塗装の劣化、浮き等）を行い、調査報告書を提出すること
 ・損傷箇所の補修を行う。
 ・補修方法は、下記による。
 ひび割れ（幅0.2未満）：補修不要（C-2施工のため）
 ひび割れ（幅0.2以上）：リカットシール充てん工法
 欠損：欠損部充填工法

※建具廻りシーリング打替え、サッシクリーニング、ガラスクリーニング工事は本工事を含む

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	立面図（北面、東面）		
作成年月日			
縮 尺	1:100	図面番号	7-1/2
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

立面図 (南面、西面)

凡例

符号	部位	部材構造	施工概要
1	屋上床	一部ウレタン塗膜防水 (X-2工法) 一部RC立上り新設の上塗膜防水 (X-2工法) ラック棒カバー新設	既存のまま
2	屋上ドレイン	125φ用L型ドレイン, 100φ用横型ドレイン	既存のまま
3	パラペット笠木	防水モルタル金ごて+ウレタン塗膜防水 (X-2工法) アルミ手摺, 一部アルミ笠木一体型アルミ手摺	既存のまま 水洗い清掃(アルミ笠木、手摺のみ)、既存のまま(アルミ笠木、手摺以外)
4	アルミ水切り	アルミ水切り	既存のまま 水洗い清掃
5-1	外壁	t150ALC版 防水形複層塗材E 外壁目地	既存のまま 既存塗材高圧洗浄の上、下地調整材(C-2)の上、防水型複層塗材RE 撤去 外壁目地 PU-2 (ポリウレタン系) 新設
5-2		一部モルタル刷毛引き 防水形複層塗材E	既存のまま 既存塗材高圧洗浄の上、下地調整材(C-2)の上、防水型複層塗材RE
6	外部中木	モルタル刷毛引き、一部コンクリート打放し補修	既存のまま 水洗い清掃
7	屋上手摺	アルミ製 (笠木一体型) W=235	既存のまま 水洗い清掃
8-1	縦樋	VP125φ OP塗り	既存のまま 水洗い清掃
8-2		カラーVP100φ	既存のまま 水洗い清掃
9	鉄骨柱	SOP塗り	既存のまま 水洗い清掃
10	鉄骨ブレース	SOP塗り	既存のまま 水洗い清掃
11	飾り樹	SUS製	既存のまま 水洗い清掃
12	補強鉄骨	SOP塗り	既存のまま 水洗い清掃、1階補強材H形鋼無収縮モルタル充填
13	玄関庇	折版屋根	既存のまま 屋根：下地調整 (RB種) の上、二液特殊フッ素系樹脂金属屋根用塗装 鉄部：下地調整 (RB種) の上、DP塗装

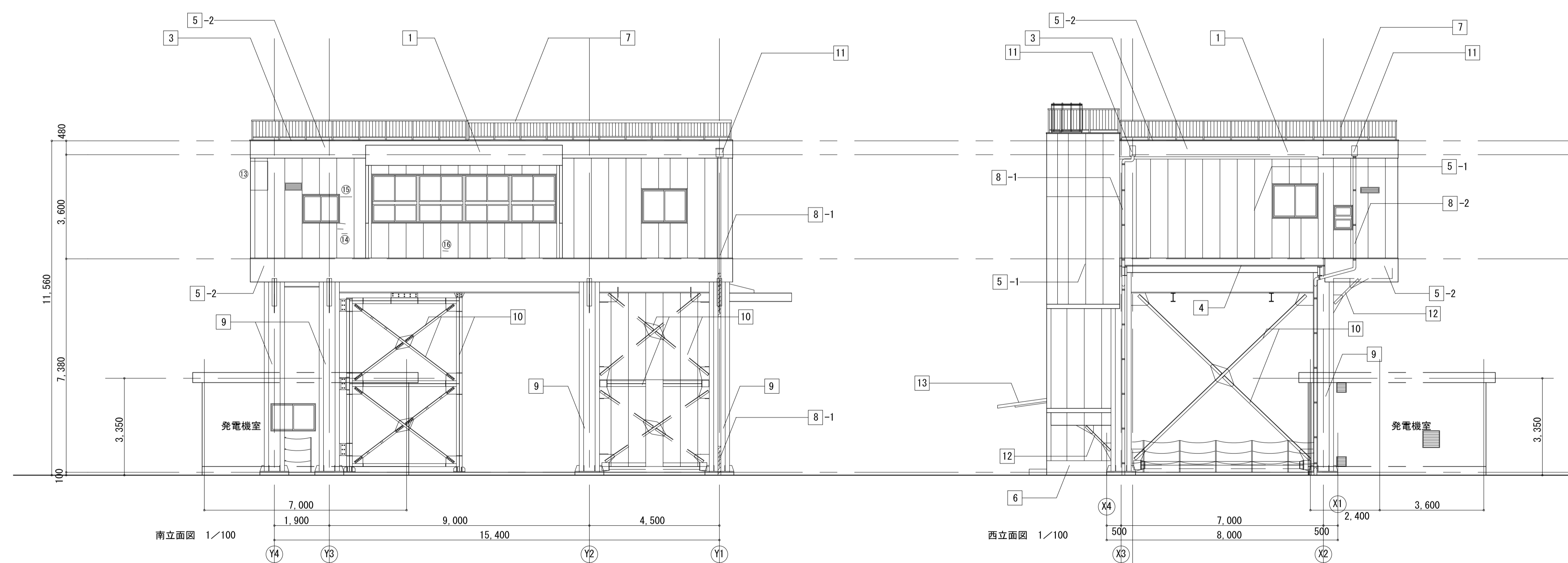
【外部】

番号	変状	W (mm)	L (mm)	数量 (本・箇所)	計
欠損					
1	欠損	40	50	×1	0.002
2	欠損	40	50	×1	0.002
17	欠損	100	200	×3	0.06
計 (m2)					0.06
キズ					
3	キズ	-	900	×1	900
4	キズ	-	900	×1	900
5	キズ	-	1,000	×1	1,000
6	キズ	-	1,000	×1	1,000
7	キズ	-	300	×1	300
8	キズ	-	1,000	×1	1,000
9	キズ	-	300	×2	600
10	キズ	-	150	×3	450
11	キズ	-	400	×1	400
12	キズ	-	200	×1	200
14	キズ	-	200	×3	600
15	キズ	-	400	×1	400
16	キズ	-	200	×1	200
計 (mm)					7,950
改め (m)					7.95
キズ					
13	キズ	600	1,000	×1	0.60
計 (m2)					0.60
ひび割れ 幅0.2mm以上1.0mm以下					
18	ひび割れ	0.30	2,000	×1	2,000
計 (mm)					2,000
改め (m)					2.00
鉄骨サビ、塗装剥れ					
19	鉄骨サビ 塗装剥れ	-	-	-	全体

立面図

凡例

- *** 仕上げ番号を示す
- ④ 損傷番号を示す
- 損傷位置 (改修後)



損傷 補修概要

※本図ひび割れ位置、数量については概略を示すものとし、本工事着工前に外壁調査 (ひび割れ、剝離、塗装の劣化、浮き等) を行い、調査報告書を提出すること

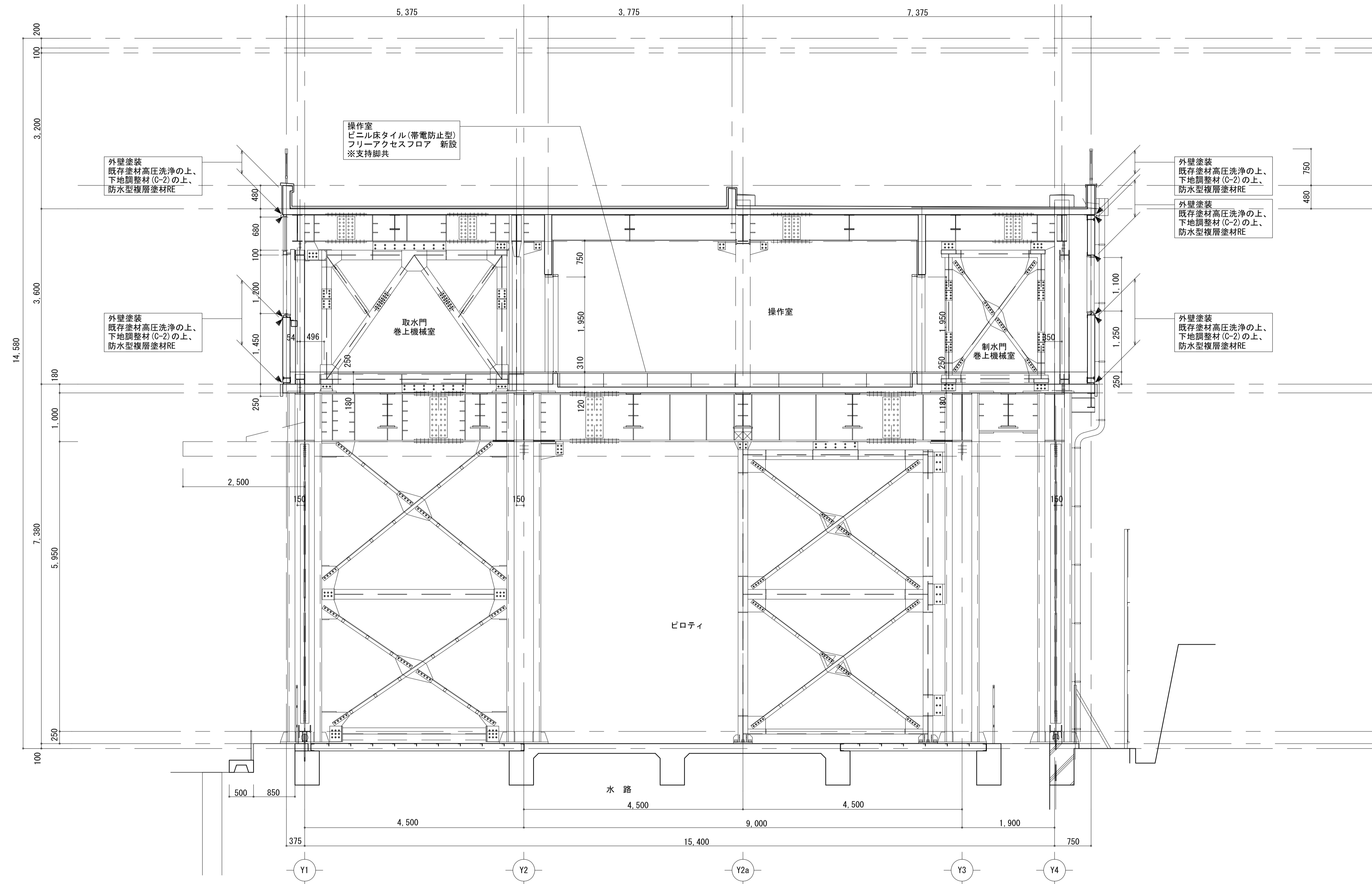
- ・損傷箇所の補修を行う。
- ・補修方法は、下記による。

ひび割れ (幅0.2未満) : 補修不要 (C-2施工のため)
 ひび割れ (幅0.2以上) : Uカットシール充てん工法
 欠損 : 欠損部充填工法

※建具廻りシーリング打替え、サッシクリーニング、ガラスクリーニング工事は本工事に含む

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	立面図 (南面、西面)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	7-2/2
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

断面詳細図 (Y-Y)

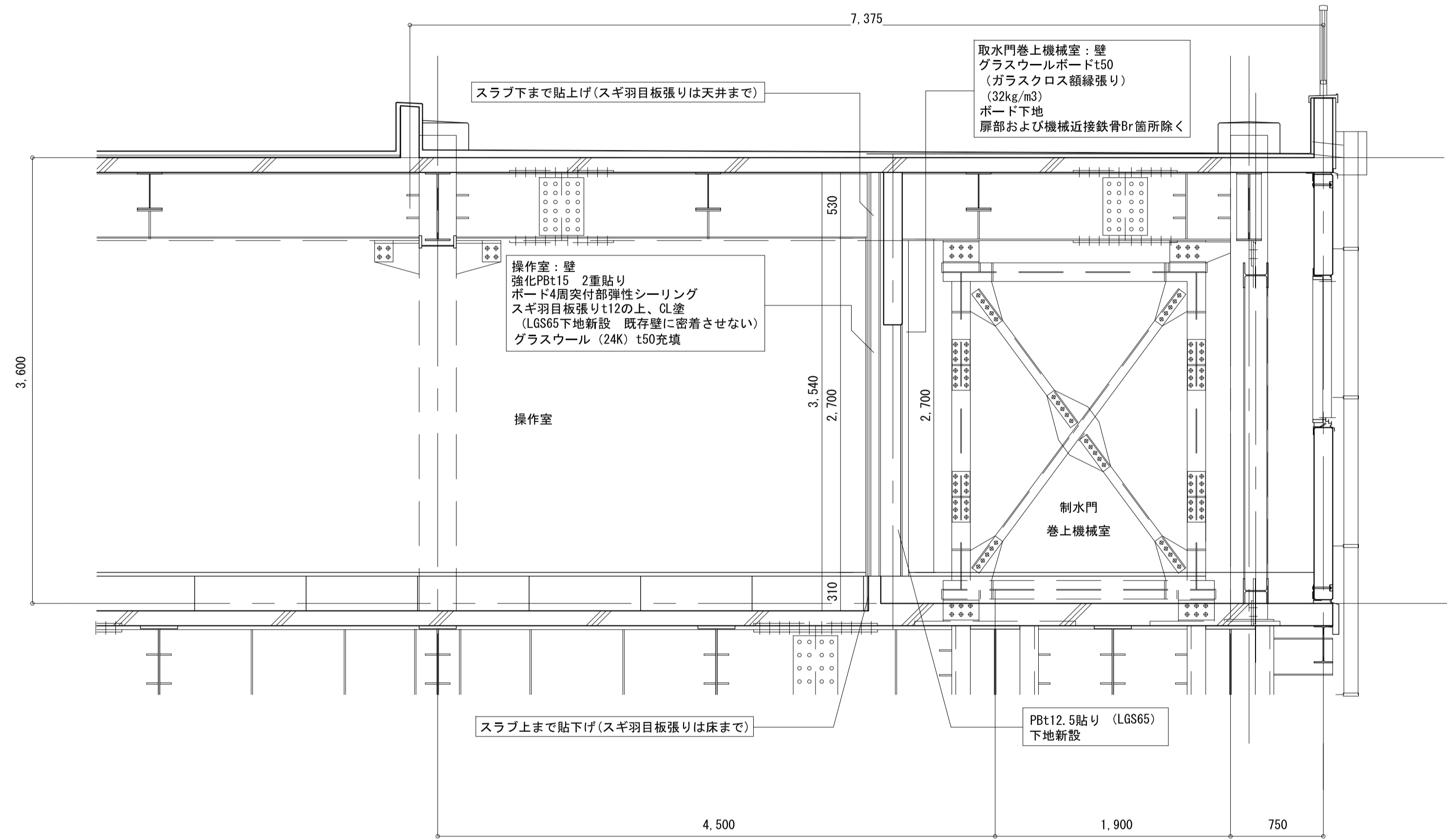


凡 例	
◀	シーリング

※特記なきものは全て既存のまま
(外部仕上げのみ水洗い清掃)

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	断面詳細図 (Y-Y)		
作成年月日			
縮 尺	1 : 50	図面番号	8
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

断面詳細図(内部改修)

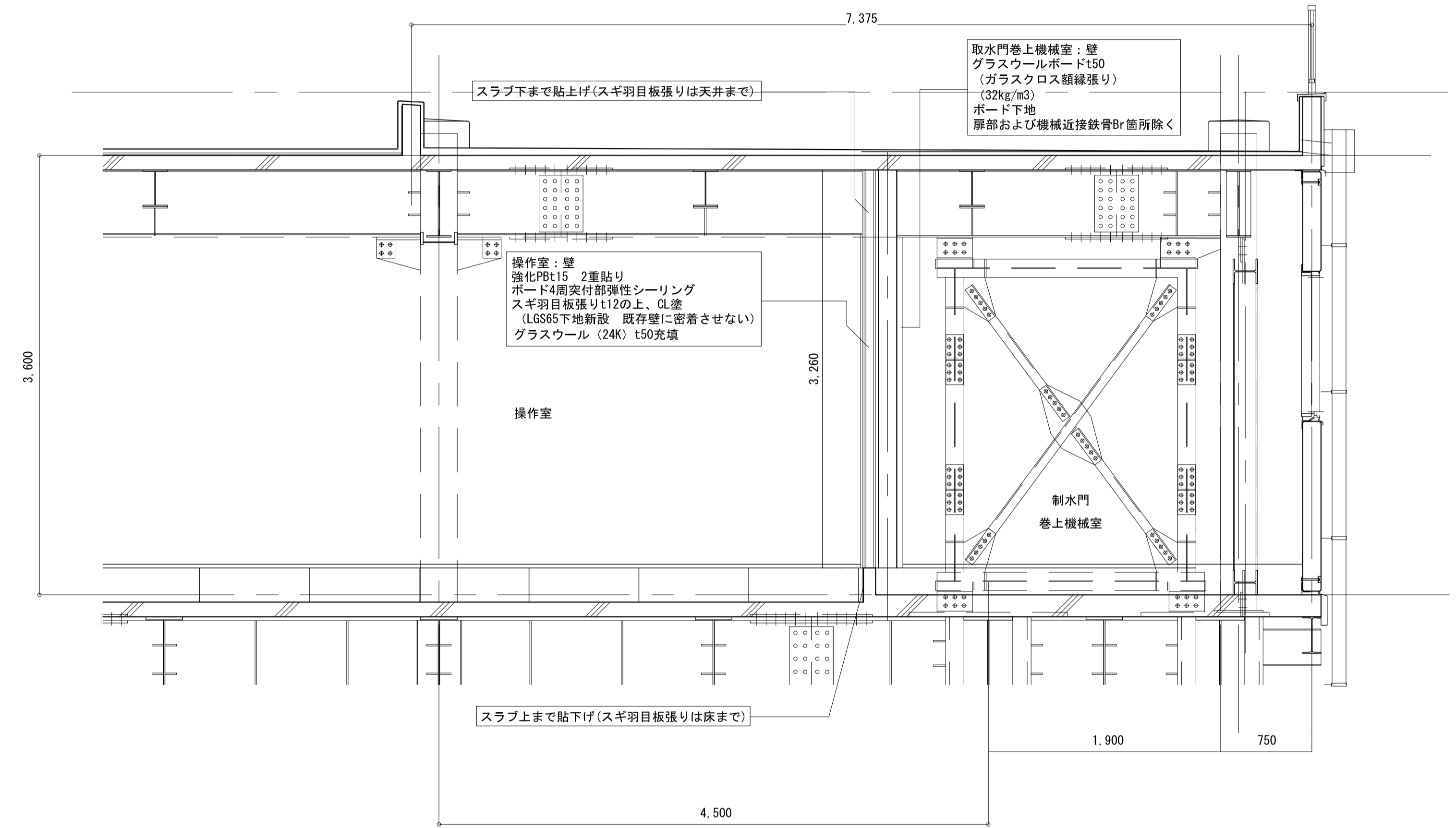


Y2a

A-A断面詳細図

Y3

Y4



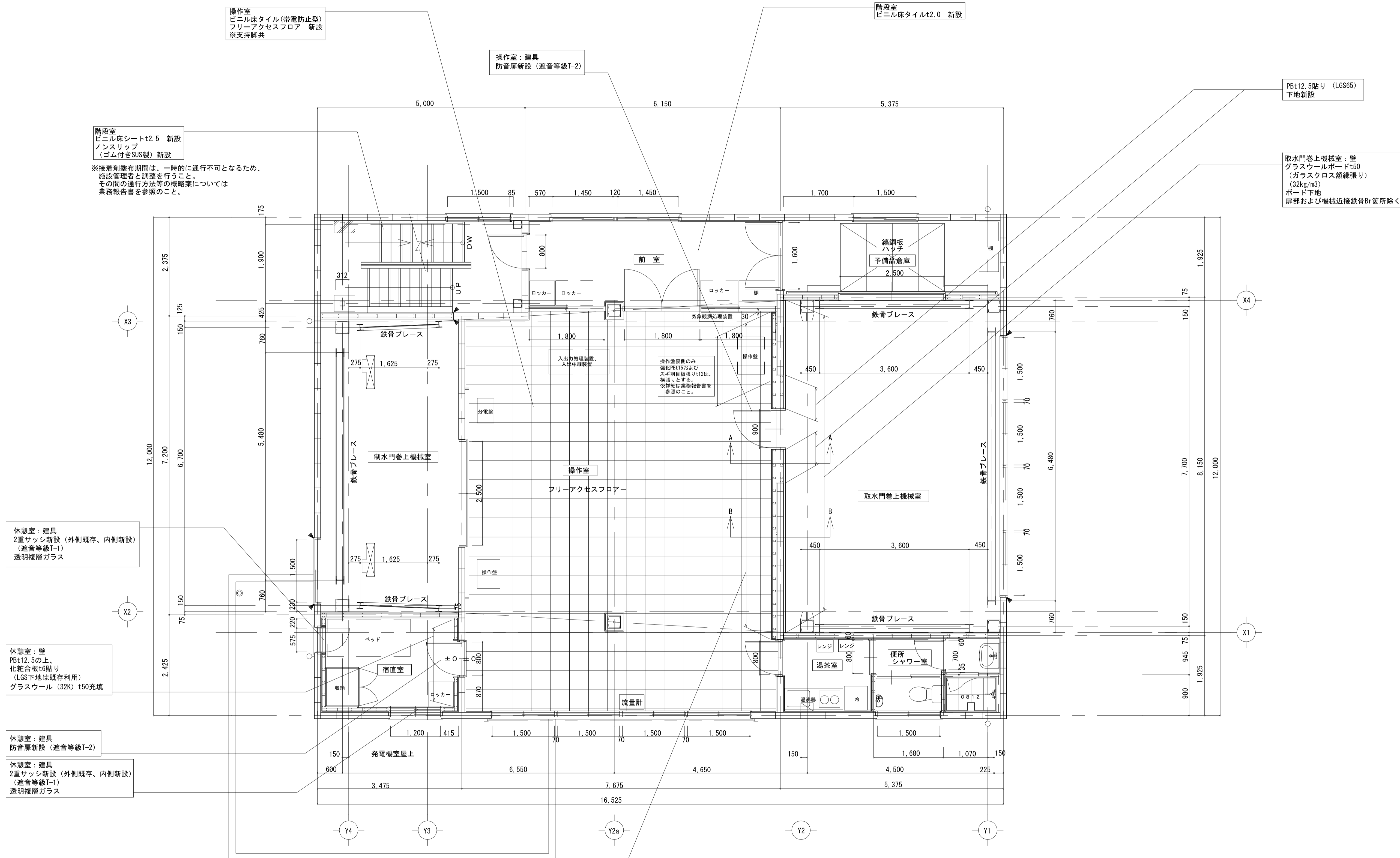
Y2a

B-B断面詳細図

Y3

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	断面詳細図(内部改修)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	9
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

2階平面詳細図



操作室
ビニル床タイル(帯電防止型)
フリーアクセスフロア 新設
※支持脚共

操作室：建具
防音屏新設 (遮音等級T-2)

階段室
ビニル床タイルt2.0 新設

階段室
ビニル床シートt2.5 新設
ノンスリップ
(ゴム付きSUS製) 新設

※接着剤塗布期間は、一時的に通行不可となるため、
施設管理者と調整を行うこと。
その間の通行方法等の概略案については
業務報告書を参照のこと。

PBt12.5貼り (LGS65)
下地新設

取水門巻上機械室：壁
グラスウールボードt50
(ガラスクロス縦張り)
(32kg/m3)
ボード下地
扉部および機械近接鉄骨Br箇所除く

休憩室：建具
2重サッシ新設 (外側既存、内側新設)
(遮音等級T-1)
透明複層ガラス

休憩室：壁
PBt12.5の上、
化粧合板t6貼り
(LGS下地は既存利用)
グラスウール (32K) t50充填

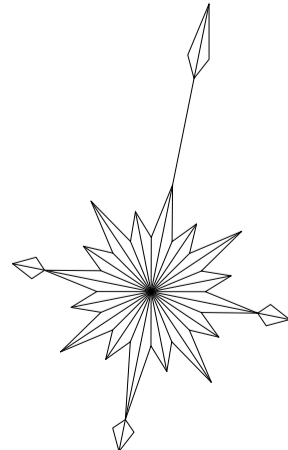
休憩室：建具
防音屏新設 (遮音等級T-2)

休憩室：建具
2重サッシ新設 (外側既存、内側新設)
(遮音等級T-1)
透明複層ガラス

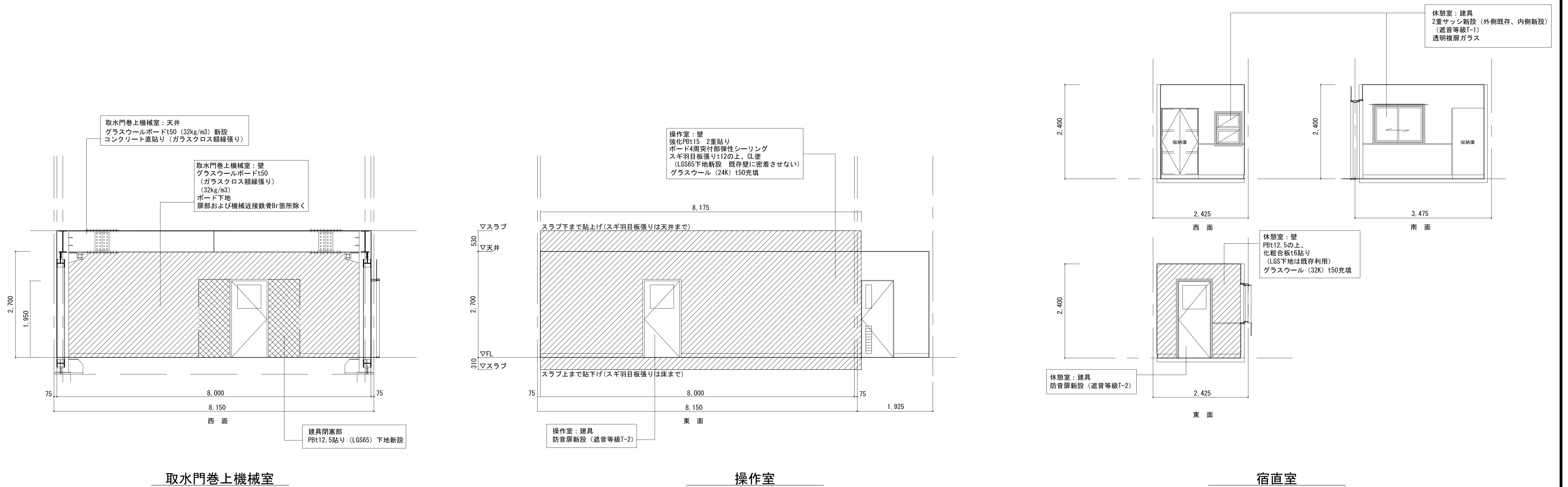
操作室：壁
強化PBt15 2重貼り
ボード4層突付部弾性シーリング
スギ羽目板張りt12の上、CL塗
(LGS65下地新設 既存壁に密着させない)
グラスウール (24K) t50充填

凡 例	
◀	シーリング
▲	断面詳細図 (内部改修用) の作図方向を示す

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	2階平面詳細図		
作成年月日			
縮 尺	1 : 50	図面番号	10
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		



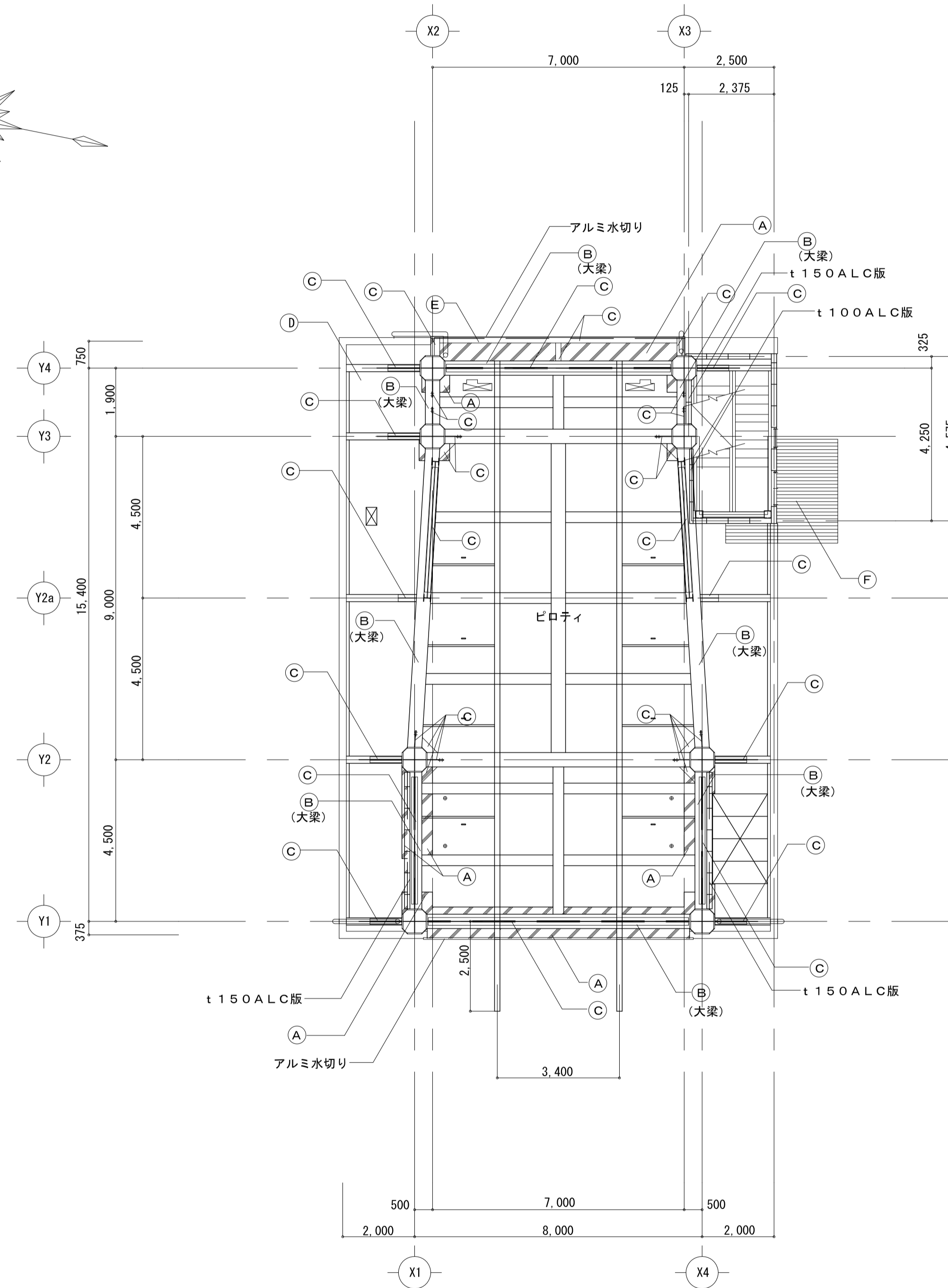
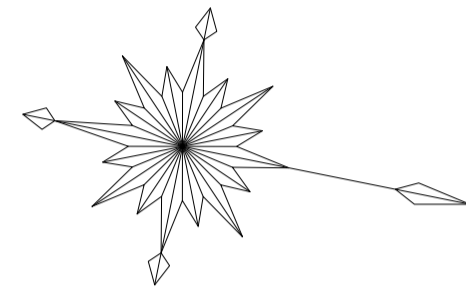
2階展開図



工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	2階展開図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	11
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

1階天井伏図

(A)	既存のまま
(B)	既存のまま
(C)	既存のまま
(D)	既存のまま
(E)	既存のまま
(F)	下地調整 (R8種)、錆止め塗装 (塗装工法種別: C種、塗料種別: E種) 二液特殊フッ素系樹脂金属屋根用塗装

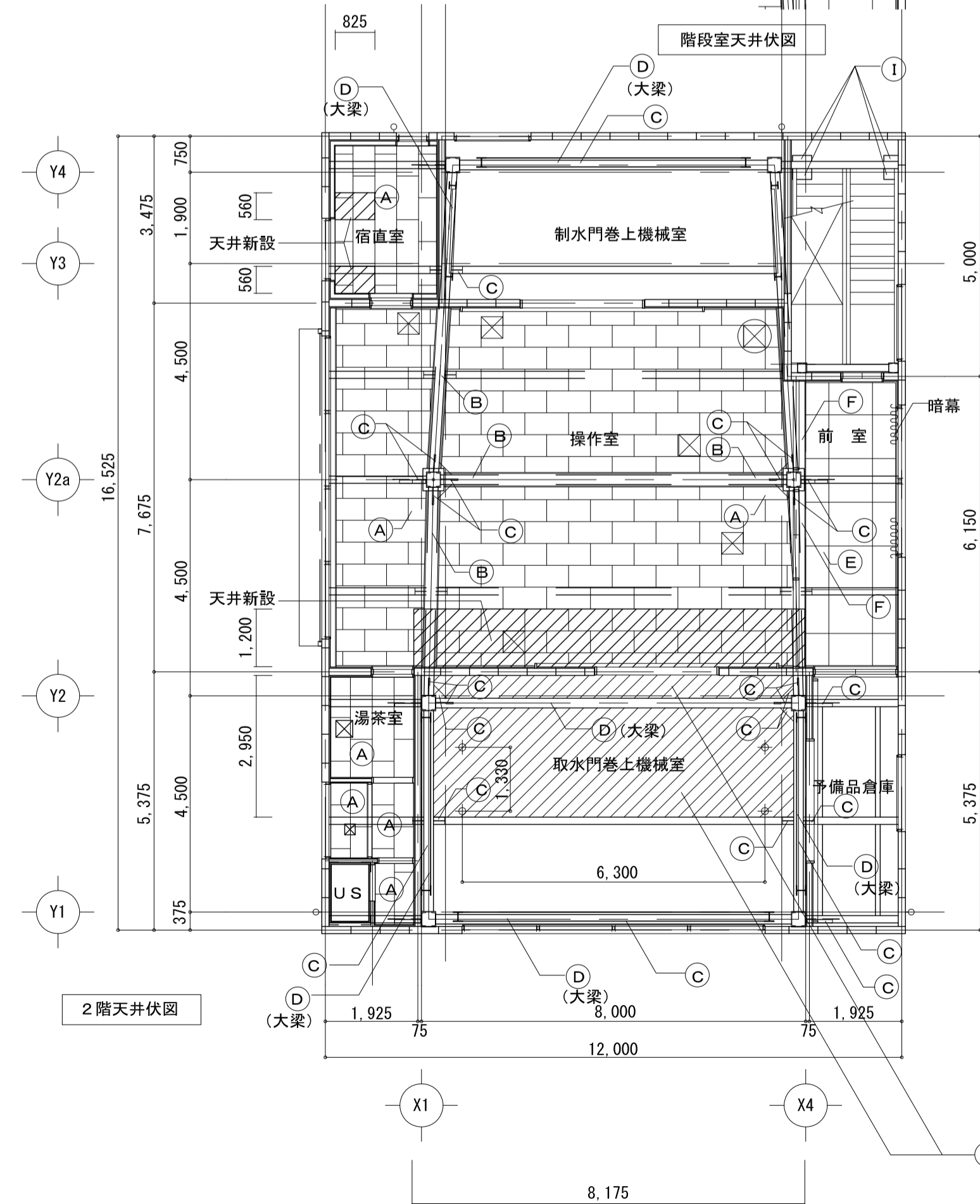
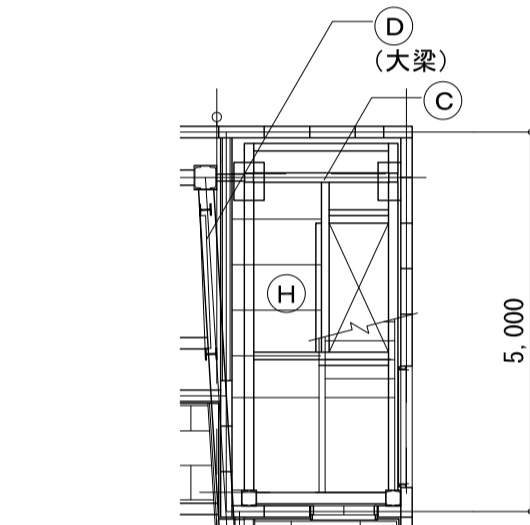
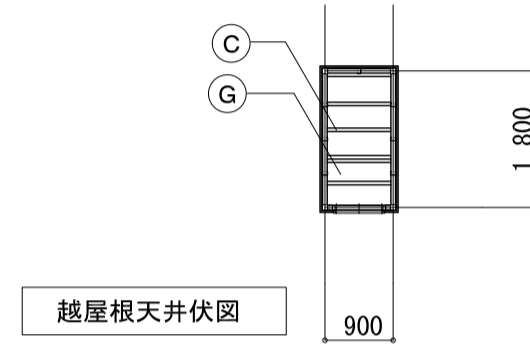
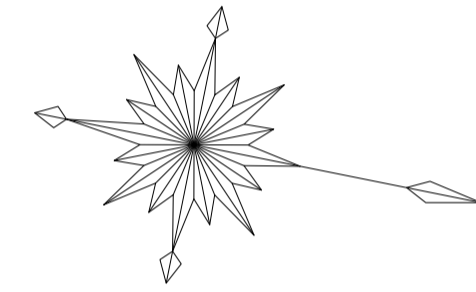


工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	1階天井伏図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	12
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

2階天井伏図

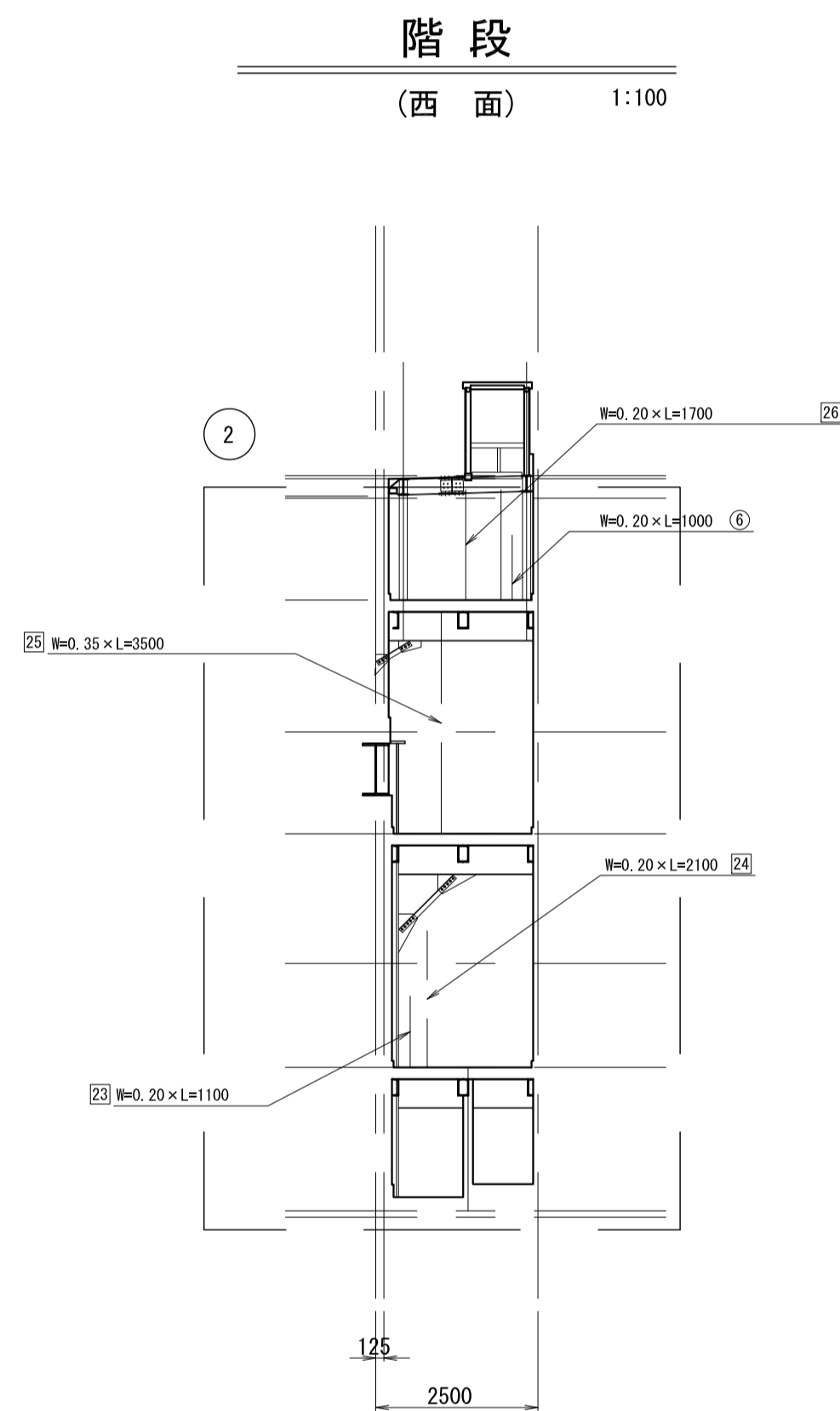
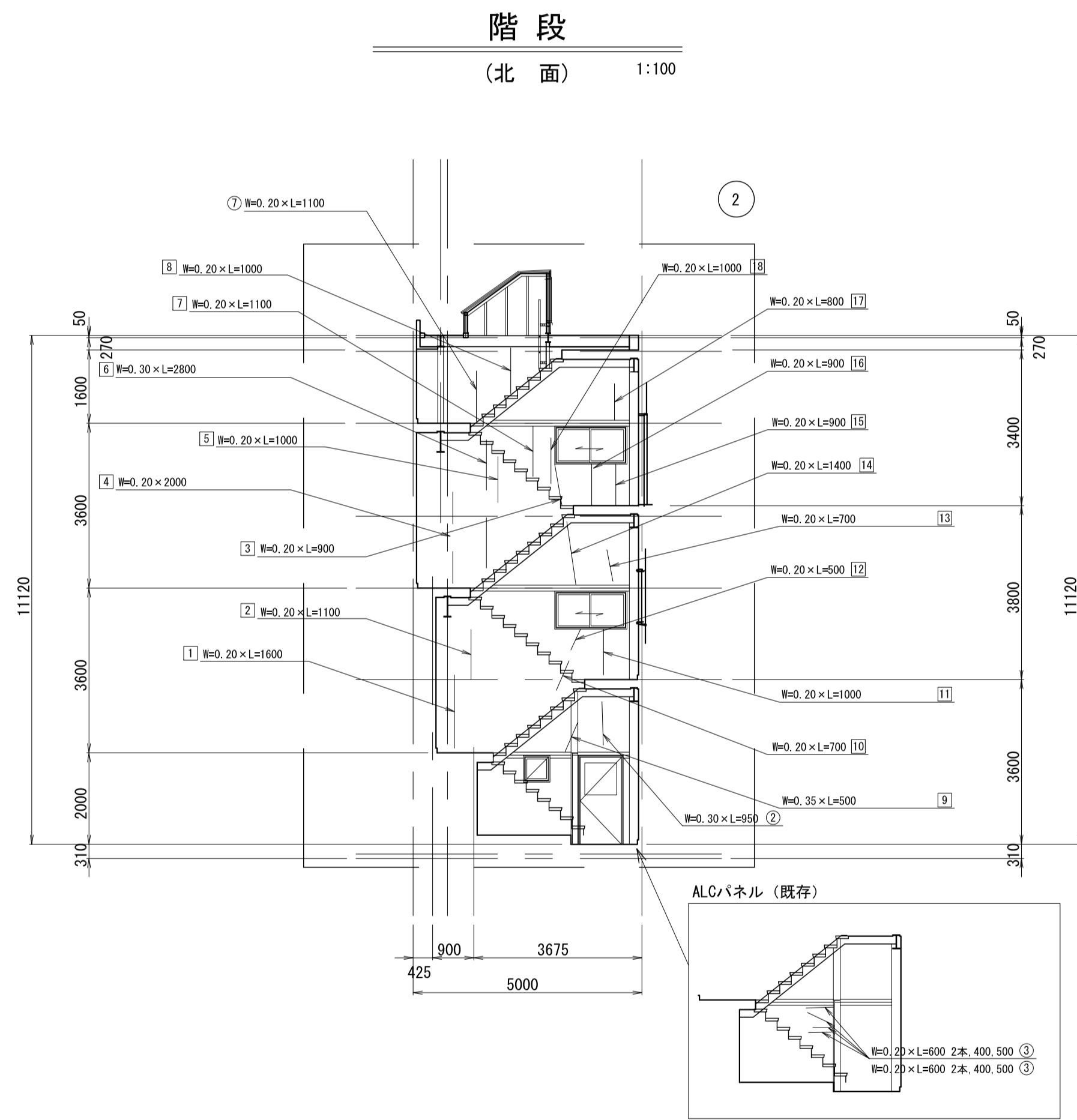
(A)	既存のまま (操作室、宿直室一部 t9.5化粧石膏ボード新設)
(B)	既存のまま
(C)	既存のまま
(D)	既存のまま
(E)	既存のまま
(F)	既存のまま
(G)	既存のまま
(H)	既存のまま
(I)	既存のまま
(J)	グラスウールボードt50 (32kg/m3) 新設 コンクリート直貼り (ガラスクロス縦張り)
(X)	既存のまま (撤去箇所は450角新設)

・新設する照明器具は既存照明器具撤去跡を利用して嵌め込むこととするが、
孔が新設する器具に合わない場合は、天井仕上材の撤去新設を行うこと。
(天井仕上材の撤去新設に関する費用は本工事に含む)



工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	2階天井伏図		
作成年月日			
縮尺	1 : 100	図面番号	13
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

階段内壁補修図 (1)



凡例
 ~ クラック

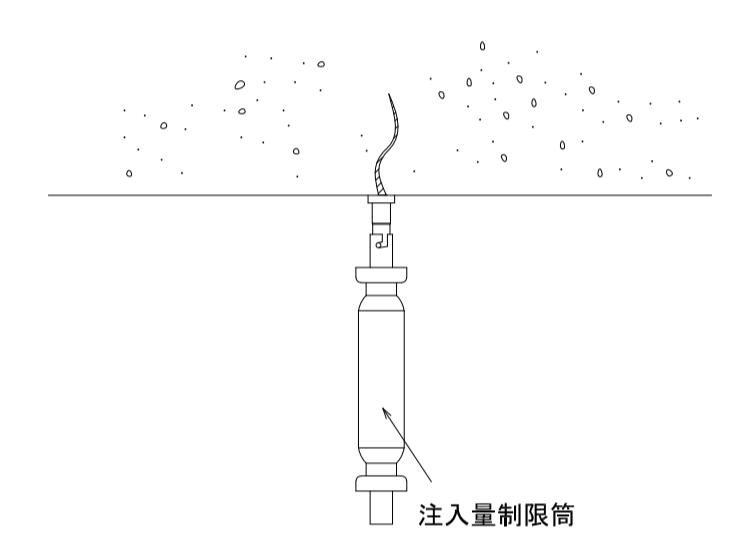
【内部 (H30報告書部分)】					【内部 (R7追加調査分)】						
番号	変状	W (mm)	L (mm)	数量 (本・箇所)	計	番号	変状	W (mm)	L (mm)	数量 (本・箇所)	計
ひび割れ 幅0.2mm以上1.0mm以下						ひび割れ 幅0.2mm以上1.0mm以下					
1	ひび割れ	0.20	1,600	×1	1,600	1	ひび割れ	0.30	600	×2	1,200
2	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100	2	ひび割れ	0.30	950	×1	950
3	ひび割れ	0.20	900	×1	900	3	ひび割れ	0.20	600	×2	1,200
4	ひび割れ	0.20	2,000	×1	2,000				500	×1	500
5	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000	4	ひび割れ	0.20	400	×1	400
6	ひび割れ	0.30	2,800	×1	2,800				600	×2	1,200
7	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100	5	ひび割れ	0.30	400	×1	400
8	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000				800	×1	800
9	ひび割れ	0.35	500	×1	500	6	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000
10	ひび割れ	0.20	700	×1	700	7	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100
11	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000	8	ひび割れ	1.00	1,300	×1	1,300
12	ひび割れ	0.20	500	×1	500	計 (mm)				10,050	
13	ひび割れ	0.20	700	×1	700	改め (m)				10.05	
14	ひび割れ	0.20	1,400	×1	1,400						
15	ひび割れ	0.20	900	×1	900						
16	ひび割れ	0.20	900	×1	900						
17	ひび割れ	0.20	800	×1	800						
18	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000						
19	ひび割れ	0.20	400	×1	400						
20	ひび割れ	0.20	1,500	×1	1,500						
21	ひび割れ	0.20	500	×1	500						
22	ひび割れ	0.20	1,400	×1	1,400						
23	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100						
24	ひび割れ	0.20	2,100	×1	2,100						
25	ひび割れ	0.35	3,500	×1	3,500						
26	ひび割れ	0.20	1,700	×1	1,700						
27	ひび割れ	0.25	1,100	×1	1,100						
28	ひび割れ	0.20	100	×1	100						
29	ひび割れ	0.30	2,000	×1	2,000						
30	ひび割れ	0.30	900	×1	900						
31	ひび割れ	0.30	1,000	×1	1,000						
32	ひび割れ	0.30	2,000	×1	2,000						
33	ひび割れ	0.20	600	×1	600						
34	ひび割れ	0.20	500	×1	500						
35	ひび割れ	0.20	800	×1	800						
計 (mm)					41,100	計 (mm)					10,050
改め (m)					41.10	改め (m)					10.05

補修工標準図

シール工法

S=なし

復旧

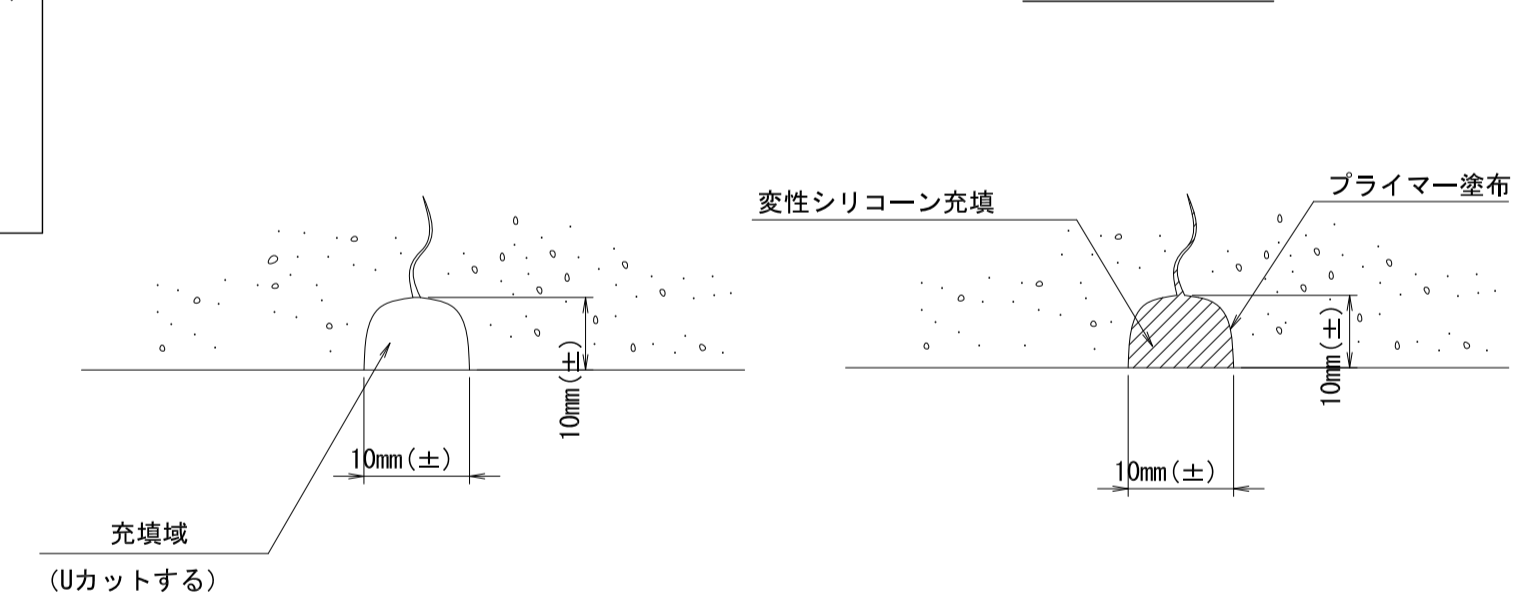


Uカットシール充てん工法

S=なし

はつり

復旧



損傷 補修概要
 ※本図ひび割れ位置、数量については概略を示すものとし、本工事着工前に外壁調査 (ひび割れ、剥離、塗装の劣化、浮き等) を行い、調査報告書を提出すること
 ・損傷箇所の補修を行う。
 ・補修方法は、下記による。
 ひび割れ (幅0.2未満) : シール工法
 ひび割れ (幅0.2以上) : Uカットシール充てん工法

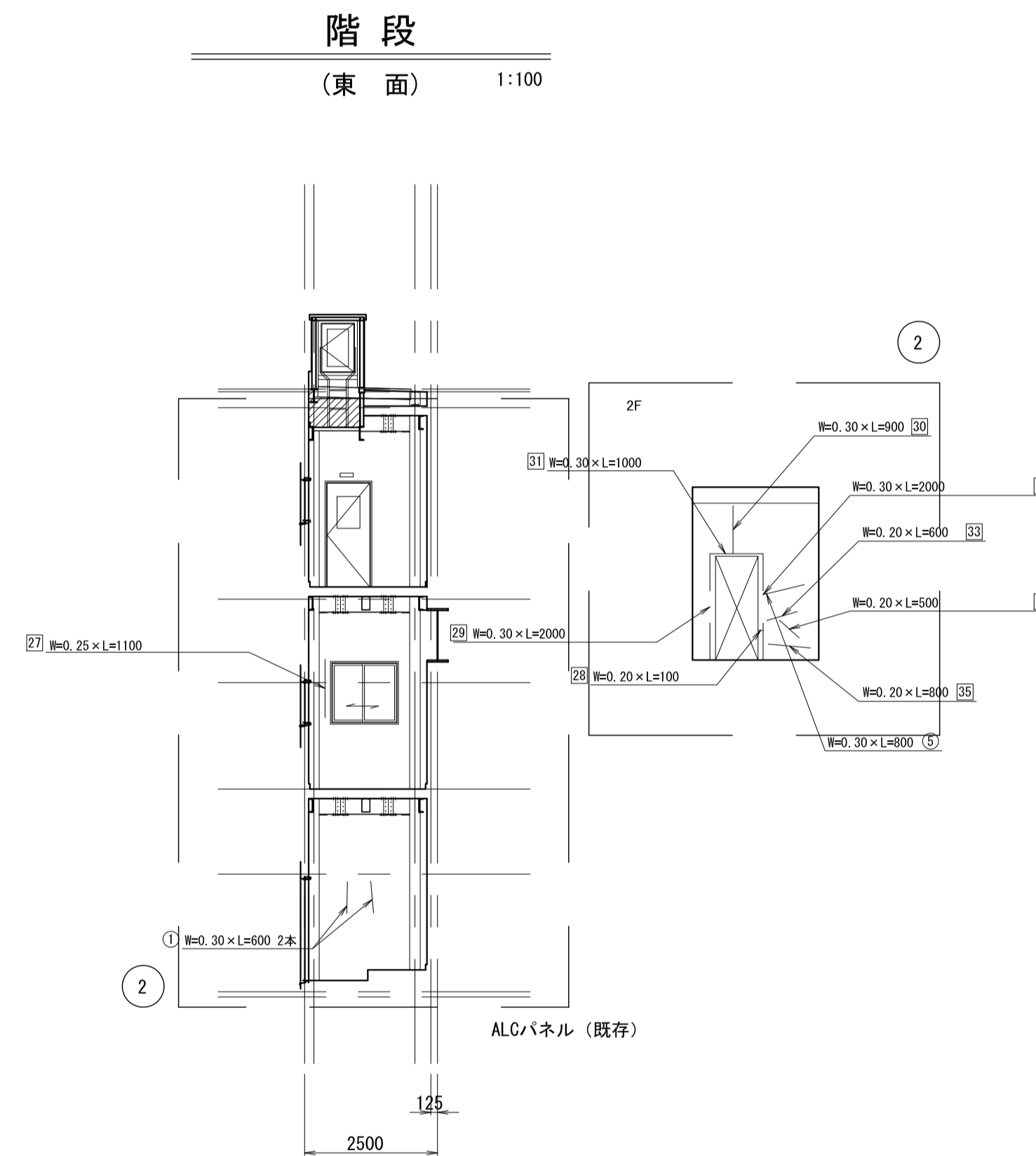
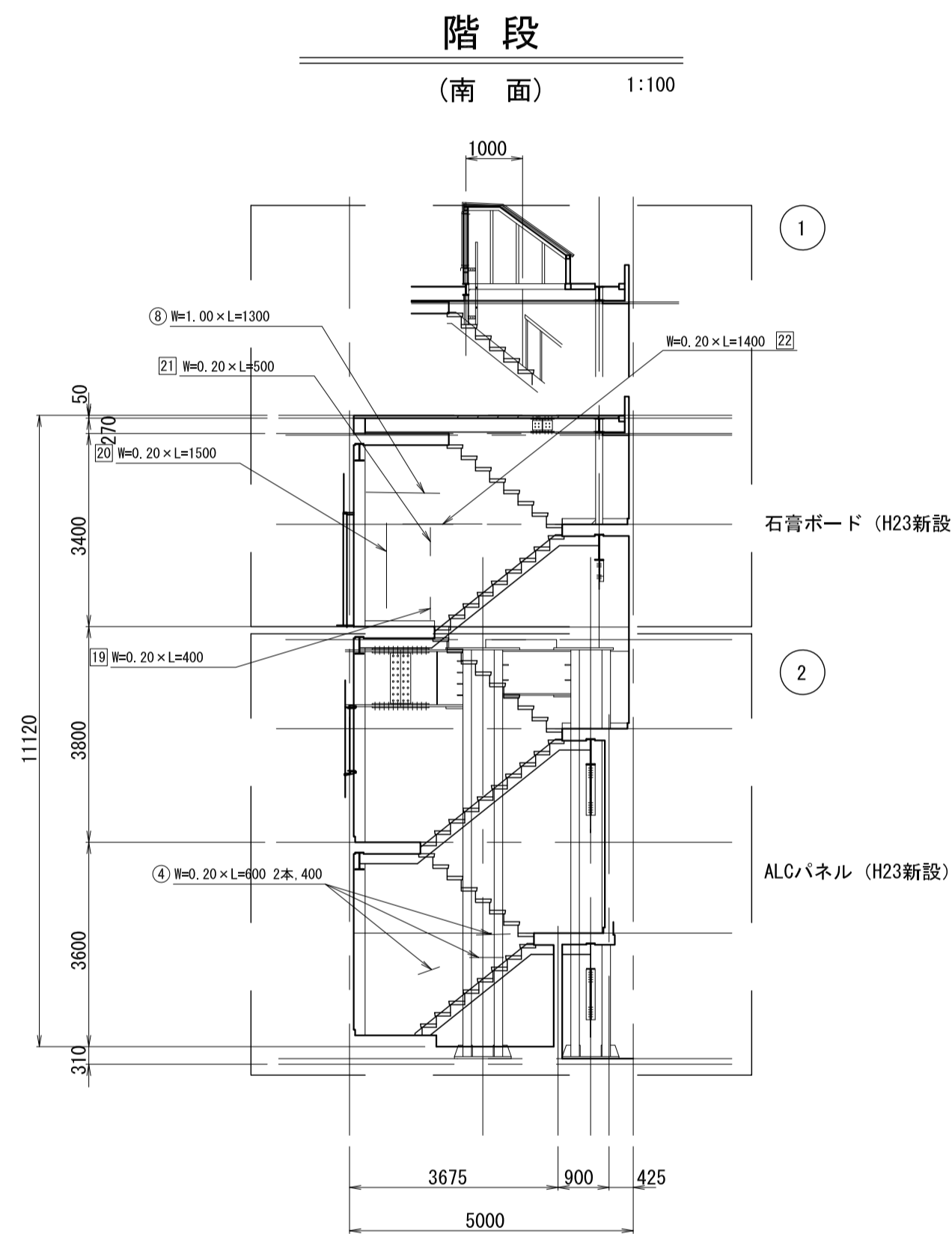
改修 仕上げ表

符号	項目	現況	既存利用	改修
①	内壁補修	t12.5PB二重貼り (継目処理工法) EP (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り) ささら・手すり: OP塗	既存のまま	・施工数量調査 ・内装ひび割れ部 補修 目視、打診による確認 マーキング、計測、図面記入 EP (合成樹脂エマルジョンペイント塗り) 下地調整 (RB種) ささら・手すり: 下地調整 (RB種)の上、DP塗
②	内壁補修	t50ALC版表し (目地シーリング) AEP (アクリル系エマルジョンペイント塗り) ささら・手すり: OP塗	既存のまま	・施工数量調査 ・内装ひび割れ部 補修 目視、打診による確認 マーキング、計測、図面記入 Uカットシール材充填工法 EP-G (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り) 下地調整 (RB種) ささら・手すり: 下地調整 (RB種)の上、DP塗

【注意事項】
 ※ひび割れ補修工事に先立ち、施工数量調査を行い状況確認を行う事とする。

工事名	令和7年度 三方原水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事
図面名	階段内壁補修図 (1)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 14-1/2
会社名	
事業所名	関東農政局三方原水二期農業水利事業所

階段内壁補修図 (2)

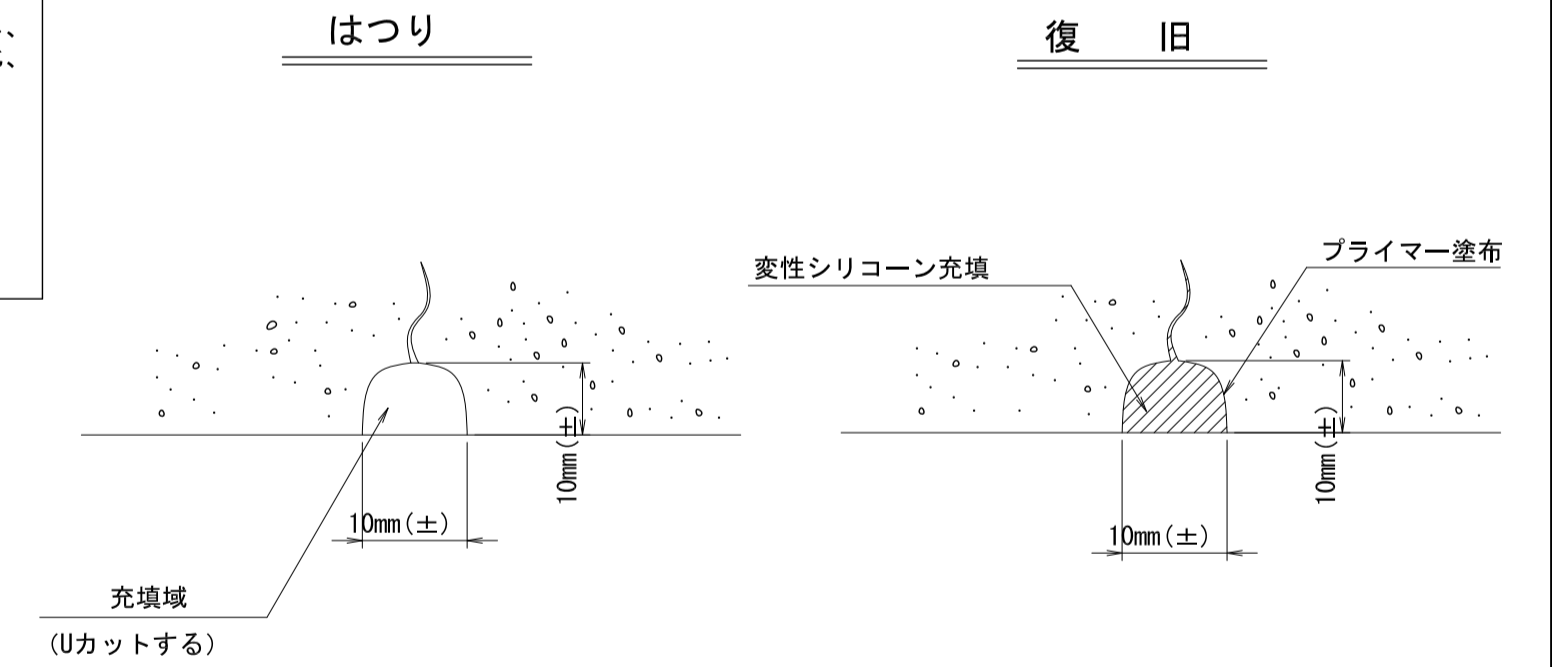
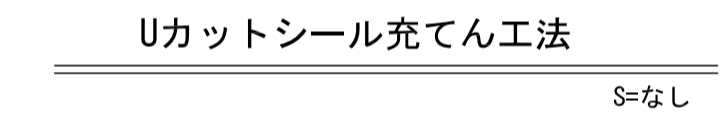
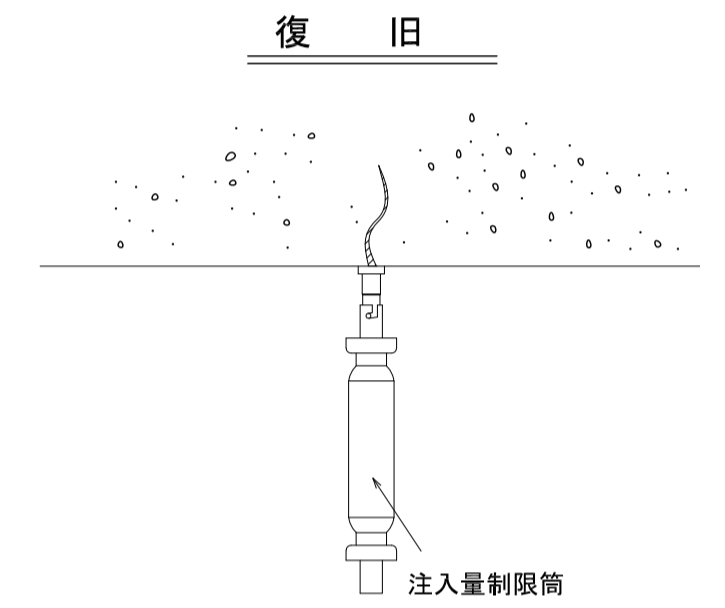
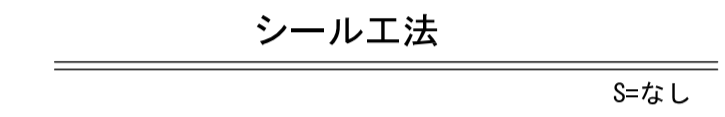


凡例
 ~ クラック

【内部 (H30報告書部分)】					【内部 (R7追加調査分)】						
番号	変状	W (mm)	L (mm)	数量 (本・箇所)	計	番号	変状	W (mm)	L (mm)	数量 (本・箇所)	計
ひび割れ 幅0.2mm以上1.0mm以下						ひび割れ 幅0.2mm以上1.0mm以下					
1	ひび割れ	0.20	1,600	×1	1,600	1	ひび割れ	0.30	600	×2	1,200
2	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100	2	ひび割れ	0.30	950	×1	950
3	ひび割れ	0.20	900	×1	900	3	ひび割れ	0.20	600	×2	1,200
4	ひび割れ	0.20	2,000	×1	2,000				500	×1	500
5	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000				400	×1	400
6	ひび割れ	0.30	2,800	×1	2,800	4	ひび割れ	0.20	600	×2	1,200
7	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100				400	×1	400
8	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000	5	ひび割れ	0.30	800	×1	800
9	ひび割れ	0.35	500	×1	500	6	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000
10	ひび割れ	0.20	700	×1	700	7	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100
11	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000	8	ひび割れ	1.00	1,300	×1	1,300
12	ひび割れ	0.20	500	×1	500	計 (mm)				10,050	
13	ひび割れ	0.20	700	×1	700	改め (m)				10.05	
14	ひび割れ	0.20	1,400	×1	1,400						
15	ひび割れ	0.20	900	×1	900						
16	ひび割れ	0.20	900	×1	900						
17	ひび割れ	0.20	800	×1	800						
18	ひび割れ	0.20	1,000	×1	1,000						
19	ひび割れ	0.20	400	×1	400						
20	ひび割れ	0.20	1,500	×1	1,500						
21	ひび割れ	0.20	500	×1	500						
22	ひび割れ	0.20	1,400	×1	1,400						
23	ひび割れ	0.20	1,100	×1	1,100						
24	ひび割れ	0.20	2,100	×1	2,100						
25	ひび割れ	0.35	3,500	×1	3,500						
26	ひび割れ	0.20	1,700	×1	1,700						
27	ひび割れ	0.25	1,100	×1	1,100						
28	ひび割れ	0.20	100	×1	100						
29	ひび割れ	0.30	2,000	×1	2,000						
30	ひび割れ	0.30	900	×1	900						
31	ひび割れ	0.30	1,000	×1	1,000						
32	ひび割れ	0.30	2,000	×1	2,000						
33	ひび割れ	0.20	600	×1	600						
34	ひび割れ	0.20	500	×1	500						
35	ひび割れ	0.20	800	×1	800						
計 (mm)					41,100	計 (mm)					41,100
改め (m)					41.10	改め (m)					41.10

損傷 補修概要
 ※本図ひび割れ位置、数量については概略を示すものとし、本工事着手前に外壁調査 (ひび割れ、剥離、塗装の劣化、浮き等) を行い、調査報告書を提出すること
 ・損傷箇所の補修を行う。
 ・補修方法は、下記による。
 ひび割れ (幅0.2未満) : シール工法
 ひび割れ (幅0.2以上) : Uカットシール充填工法

補修工標準図



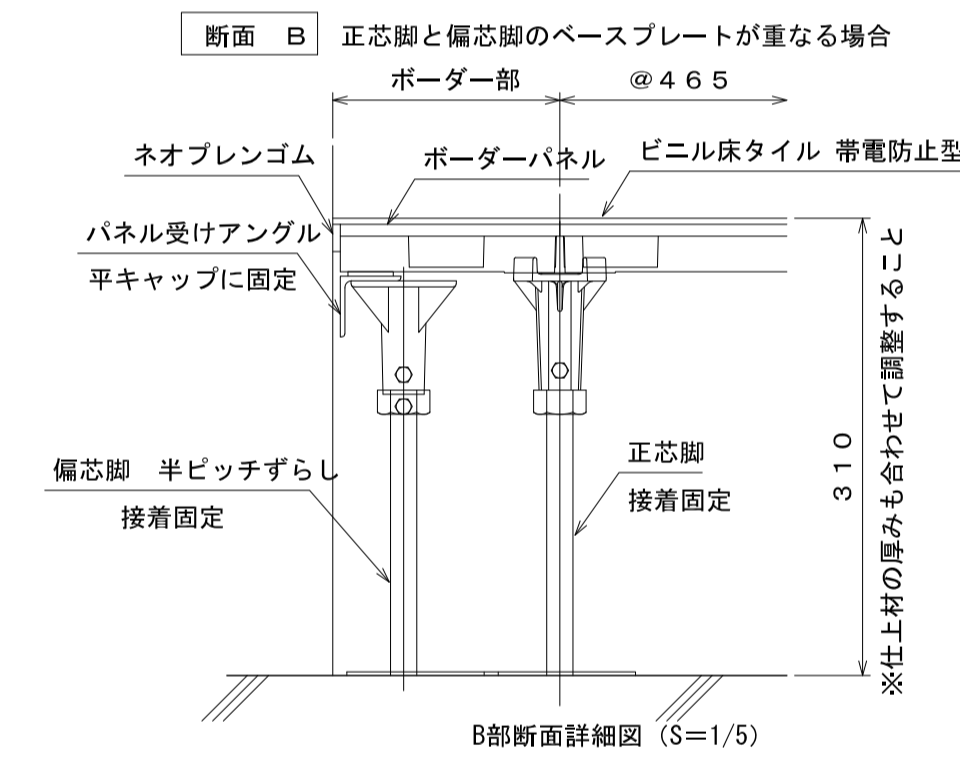
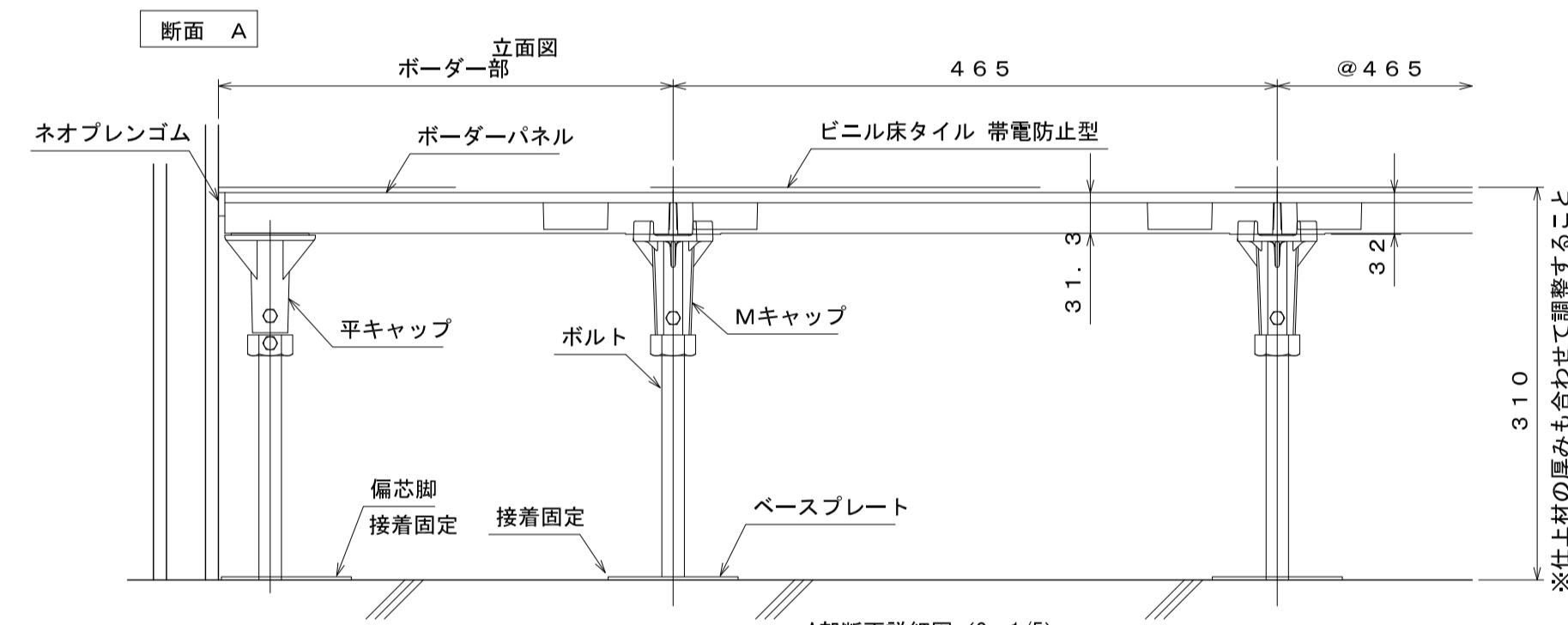
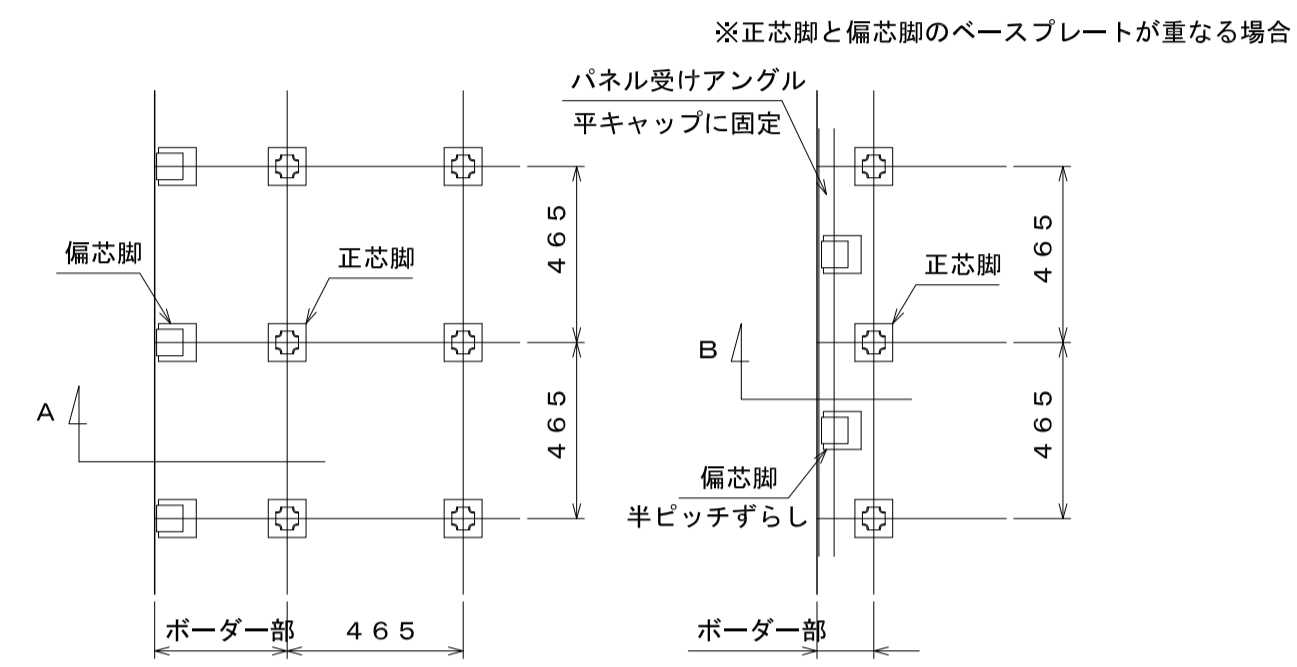
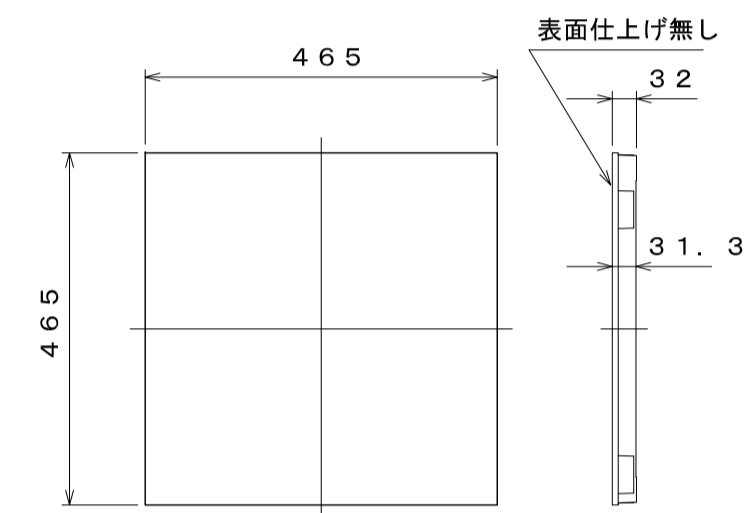
改修 仕上げ表

符号	項目	現況	改修
①	内壁補修	t 1 2. SPB二重貼り (継目処理工法) EP (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り) ささら・手すり: OP塗 既存のまま	既存利用 ・施工数量調査 ・内装ひび割れ部 補修 目視、打診による確認 マーキング、計測、図面記入 EP (合成樹脂エマルジョンペイント塗り) 下地調整 (RB種) ささら・手すり: 下地調整 (RB種)の上、DP塗
②	内壁補修	1 5 0 ALC版表し (目地シーリング) AEP (アクリル系エマルジョンペイント塗り) ささら・手すり: OP塗 既存のまま	既存利用 ・施工数量調査 ・内壁ひび割れ部 補修 目視、打診による確認 マーキング、計測、図面記入 Uカットシール材充填工法 EP-G (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り) 下地調整 (RB種) ささら・手すり: 下地調整 (RB種)の上、DP塗

【注意事項】
 ※ひび割れ補修工事に先立ち、施工数量調査を行い状況確認を行う事とする。

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	階段内壁補修図 (2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	14-2/2
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

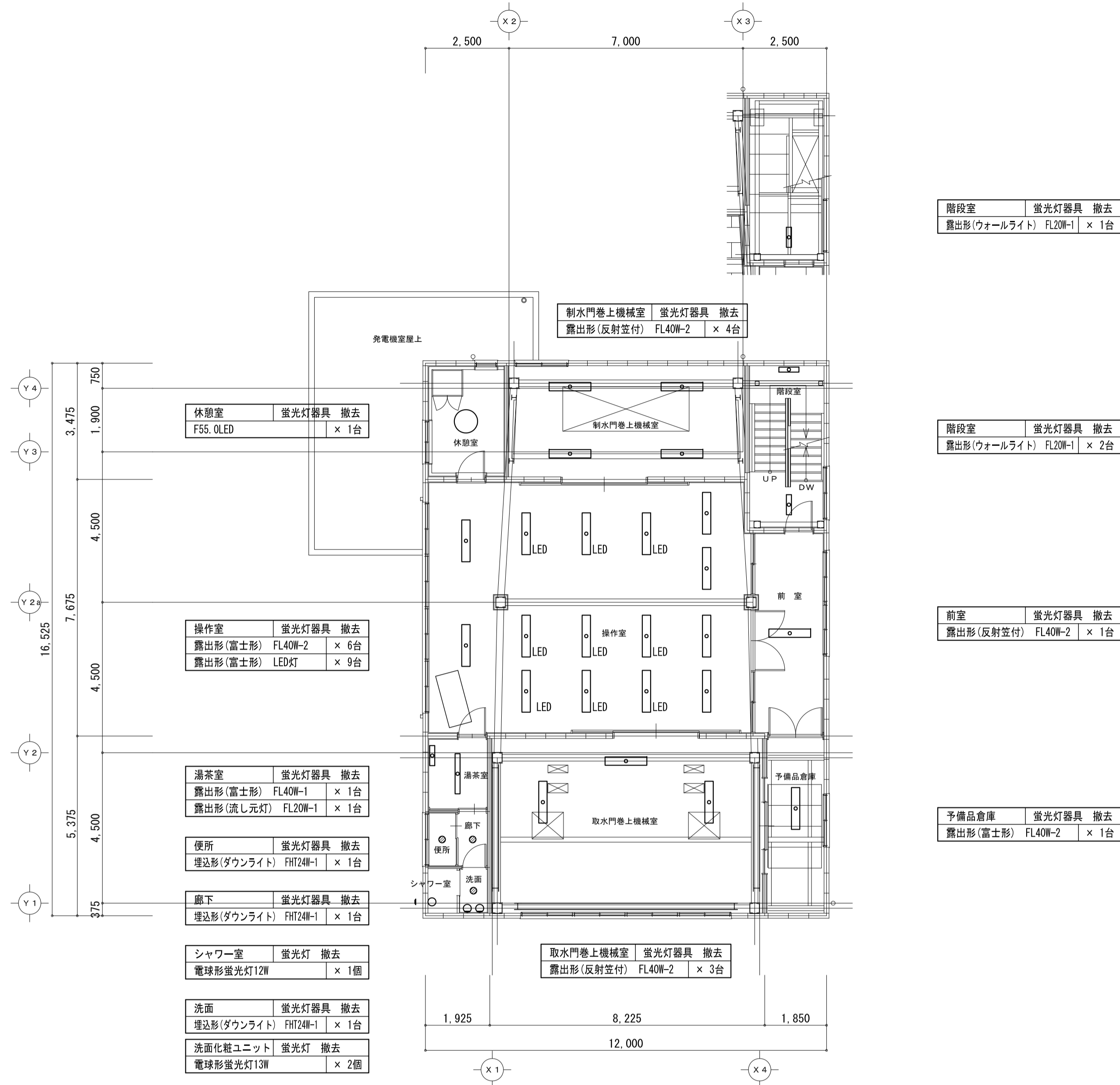
品名	強度性能	材質	表面仕上げ	床高さ	主な用途
A	6000N荷重時、 たわみ1.5mm以下 (中央集中荷重φ50)	アルミダイカスト	無し	310	クリーンルーム コンピュータールーム オフィス



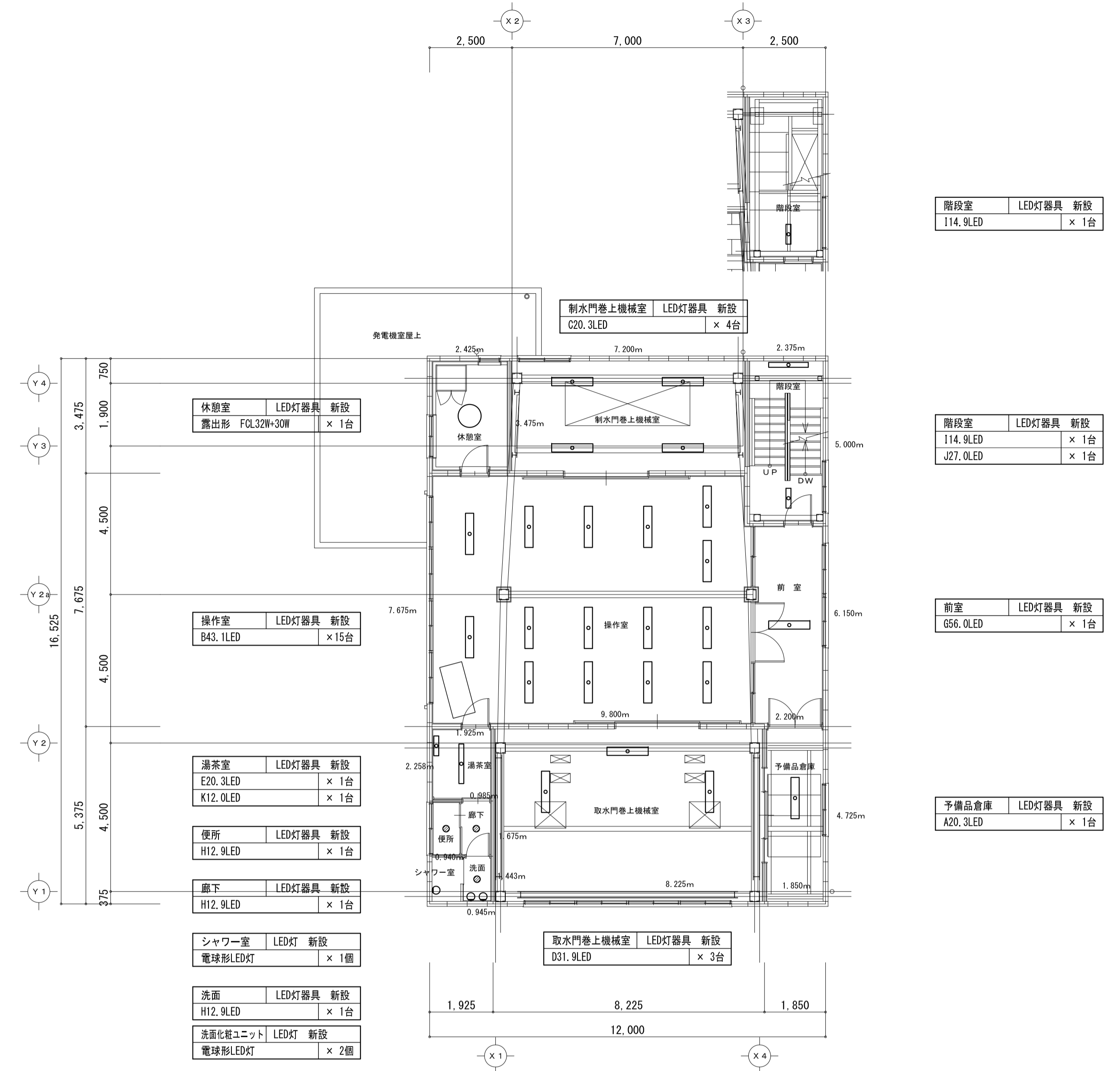
※床高さについては、現地確認を行い施工図作成の上決定する。

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	15
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

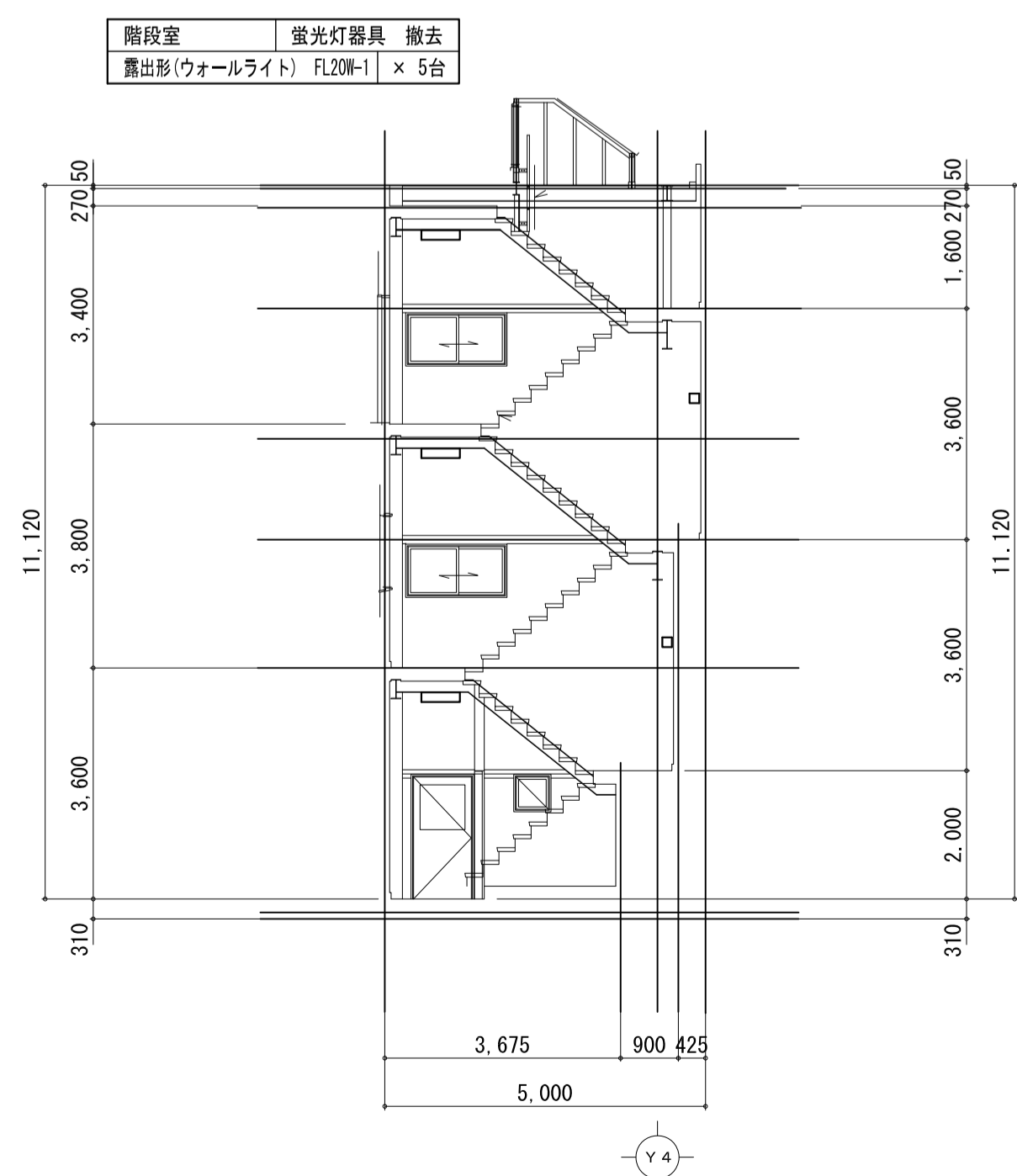
現況撤去 電灯設備 2階平面図 1/100



改修後 電灯設備 2階平面図 1/100

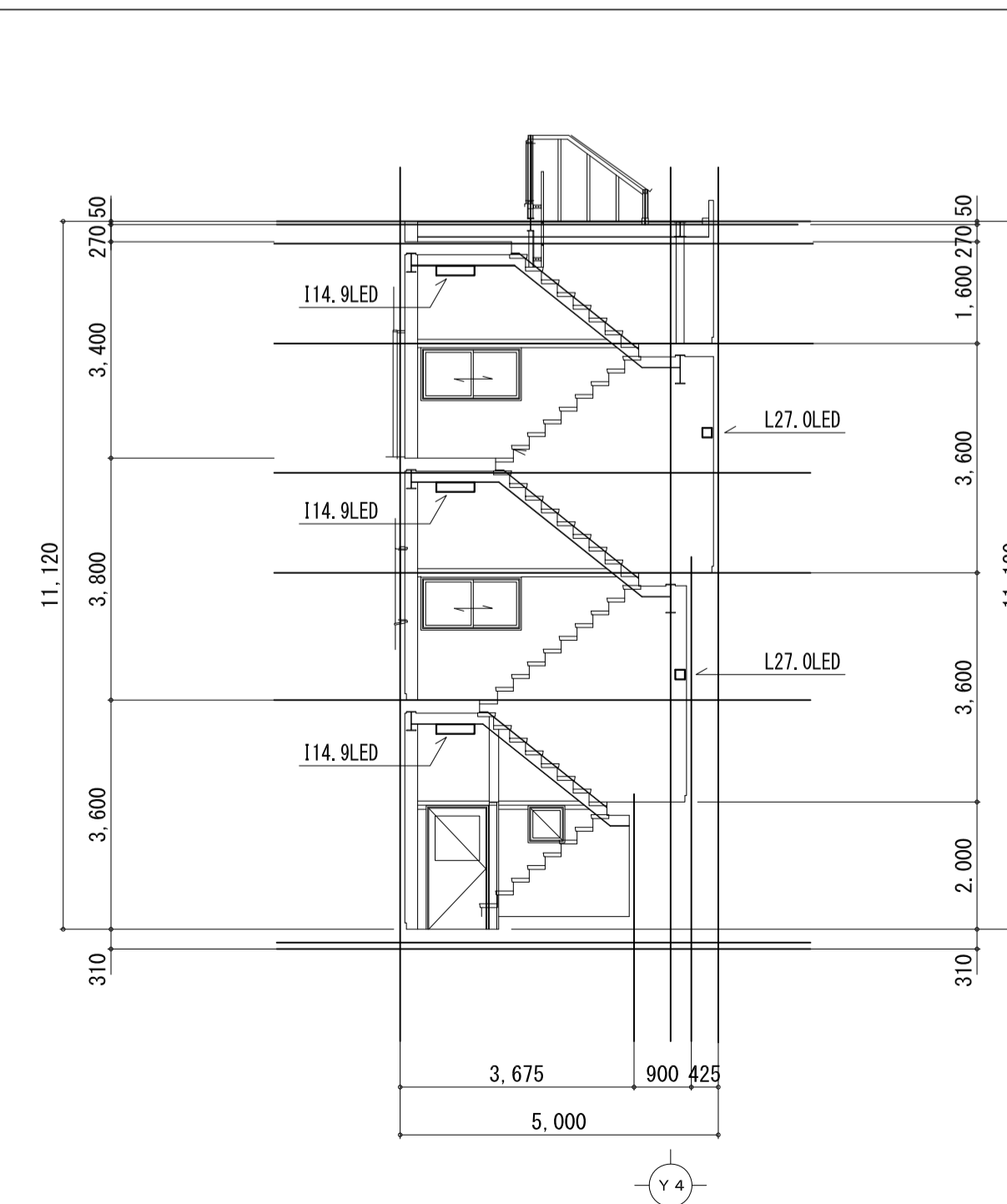


現況撤去 電灯設備 階段室 断面図 1/100



凡例			
記号	名称	備考	
○	照明器具	蛍光灯	露出形
○	照明器具	蛍光灯	露出形
○	照明器具	蛍光灯	露出形
○	照明器具	蛍光灯	埋込形
○	照明器具	蛍光灯	壁付
注記			

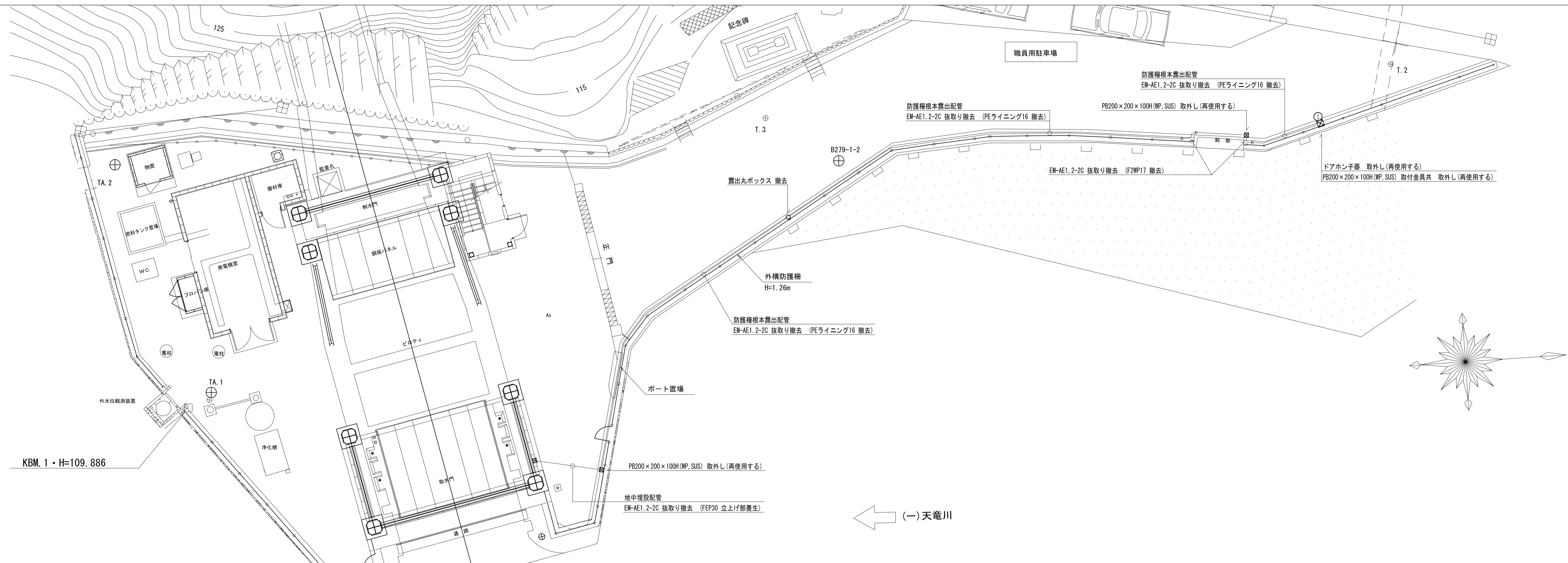
改修後 電灯設備 階段室 断面図 1/100



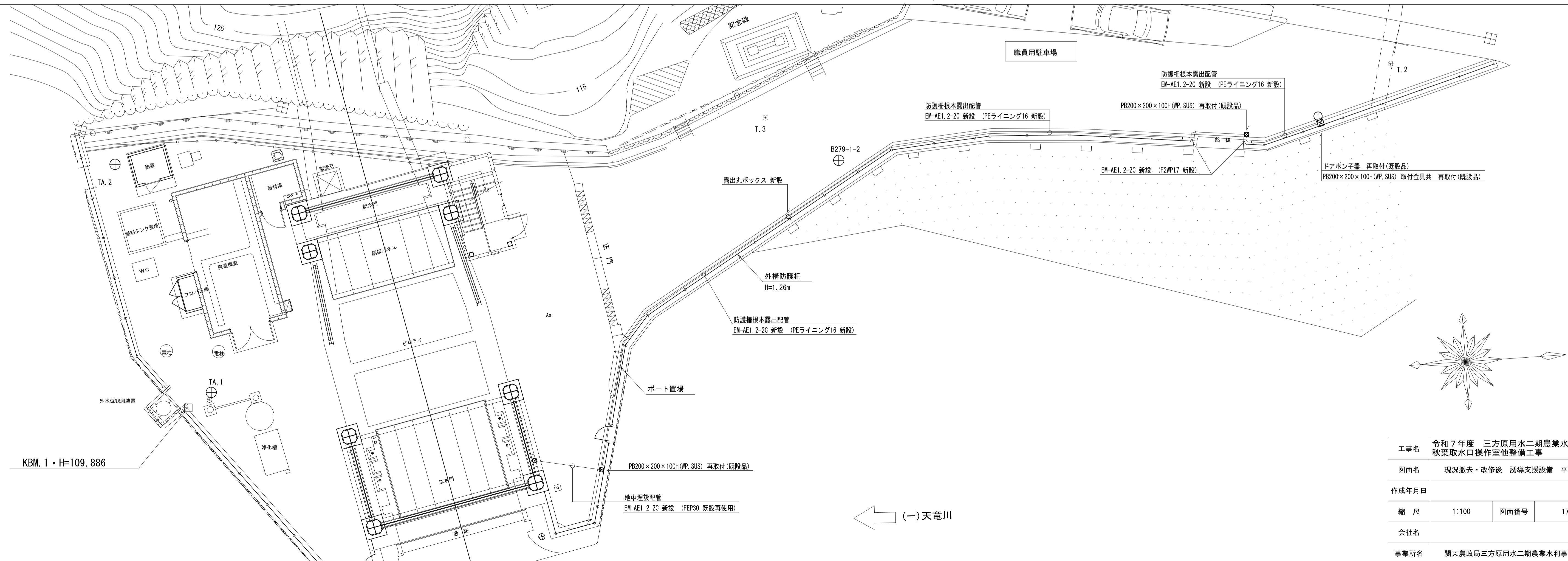
凡例			
記号	名称	備考	
○	照明器具	LED灯	露出形
○	照明器具	LED灯	露出形
○	照明器具	LED灯	露出形
○	照明器具	LED灯	埋込形
○	照明器具	LED灯	壁付
○	照明器具(既設)	LED灯	露出形
注記			
1.電球形LED灯仕様			
1.電球形LED灯仕様			
ランプ光束 : 810Lm			
色温度 : 5,000K			
演色性 : Ra84			
電圧 : 100V			
消費電力 : 7W			

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事
図面名	現況撤去・改修後 電灯設備 2階平面図 現況撤去・改修後 電灯設備 階段室 断面図
作成年月日	
縮尺	1:100 図面番号 16-2/2
会社名	
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所

現況撤去 誘導支援設備 平面図 1/100

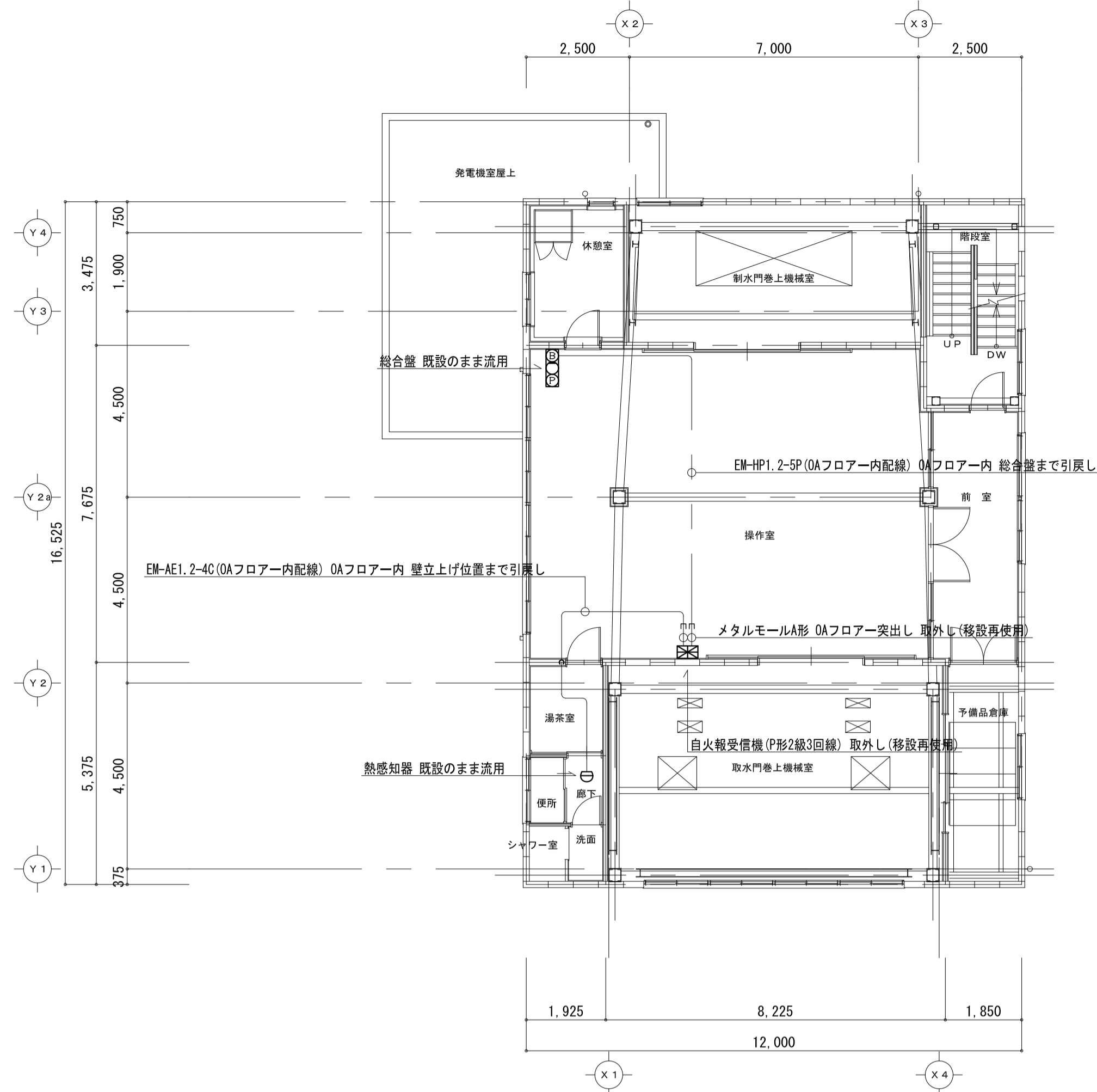


改修後 誘導支援設備 平面図 1/100



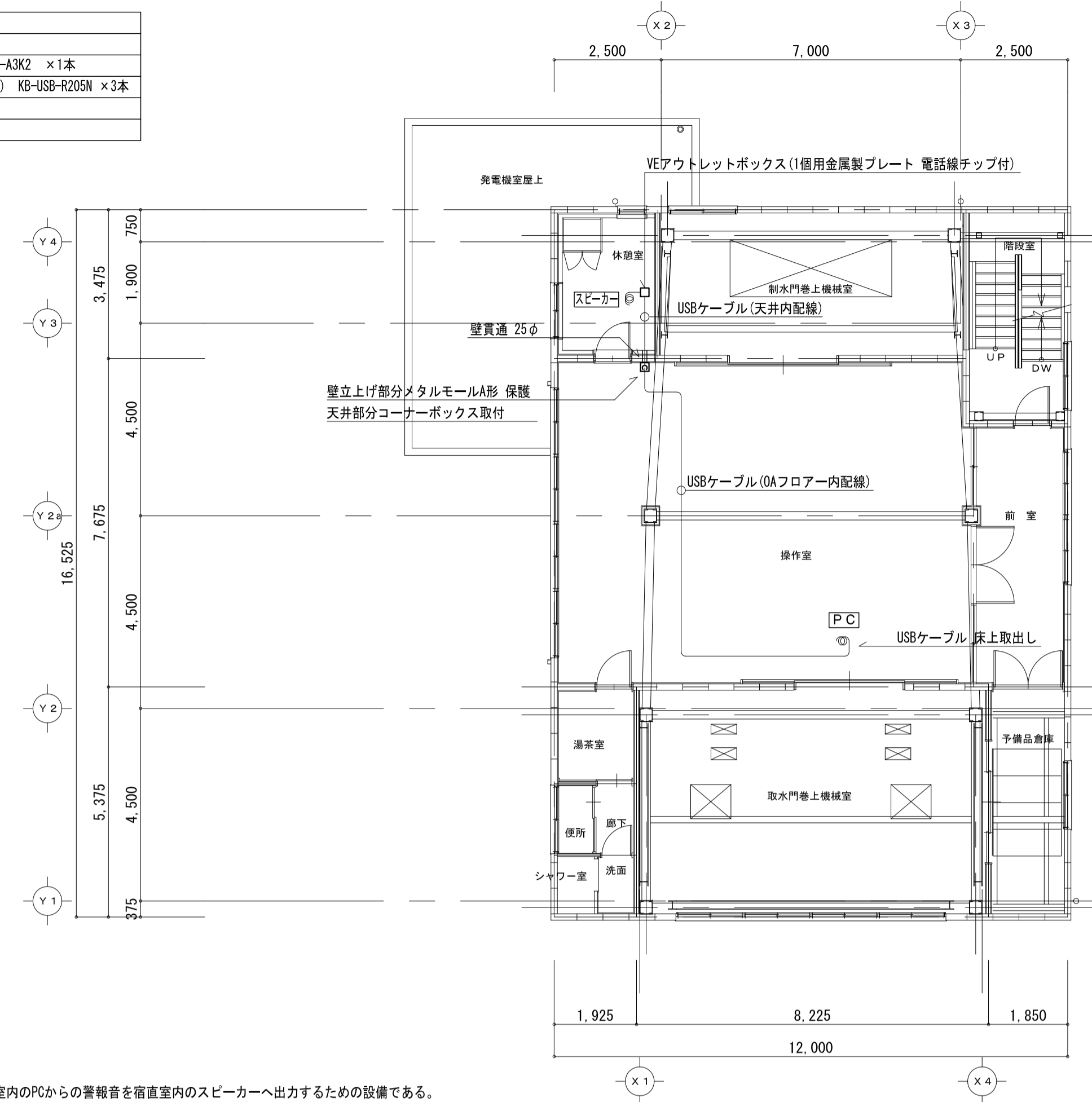
工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業		
	秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	現況撤去・改修後 誘導支援設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	17
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

現況撤去 自動火災報知設備 2階平面図 1/100



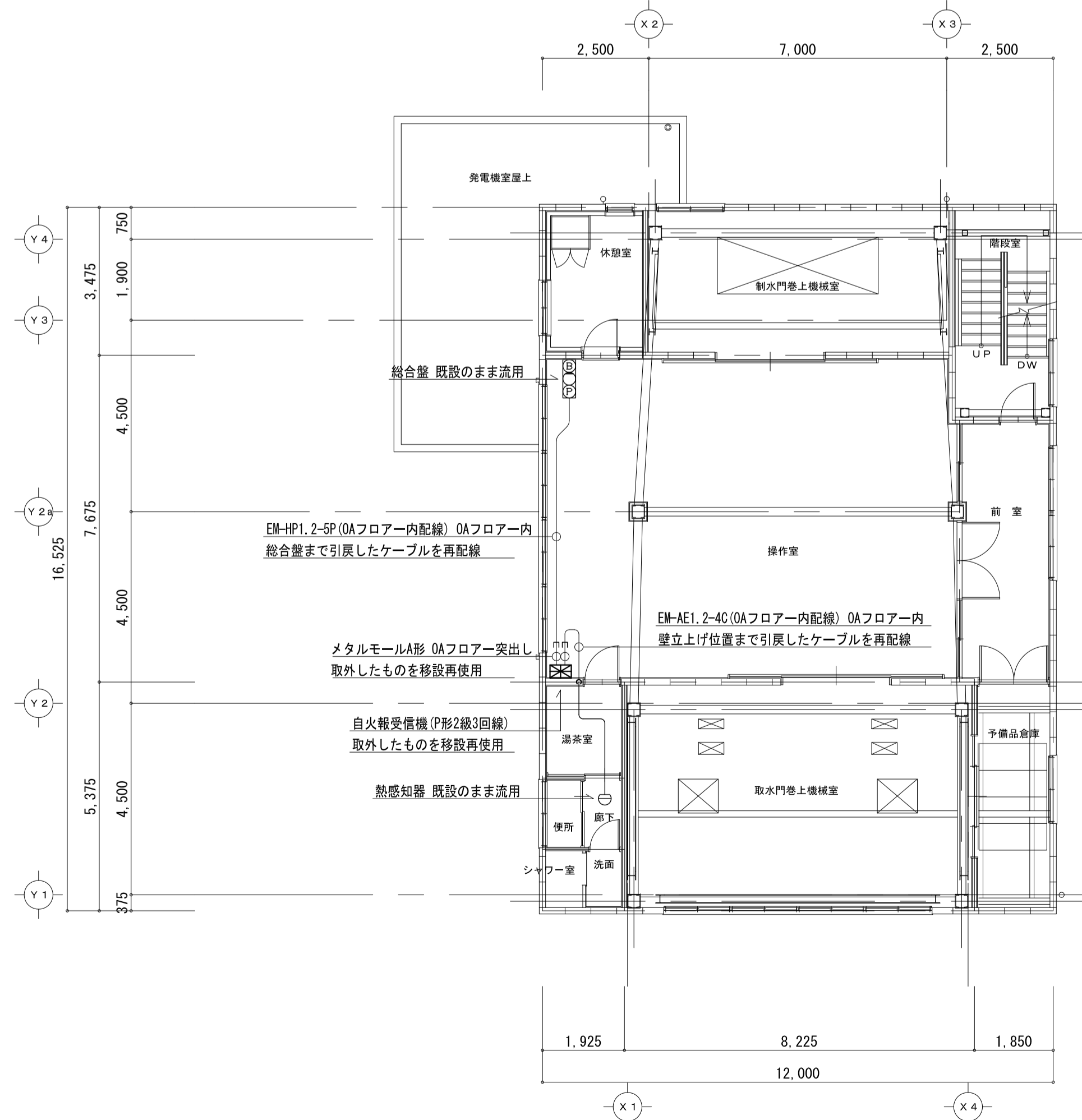
改修後 情報通信網設備 2階平面図 1/100

- 注記
1. USBケーブルは下記とする。
USB-A, Aケーブル(3m) KB-USB-A3K2 ×1本
USBリピーターケーブル(5m延長用) KB-USB-R205N ×3本
 2. スピーカーは下記とする。
最大出力4.4W程度



※本情報通信網設備については、操作室内のPCからの警報音を宿直室内のスピーカーへ出力するための設備である。
なお、スピーカーも本工事とする。

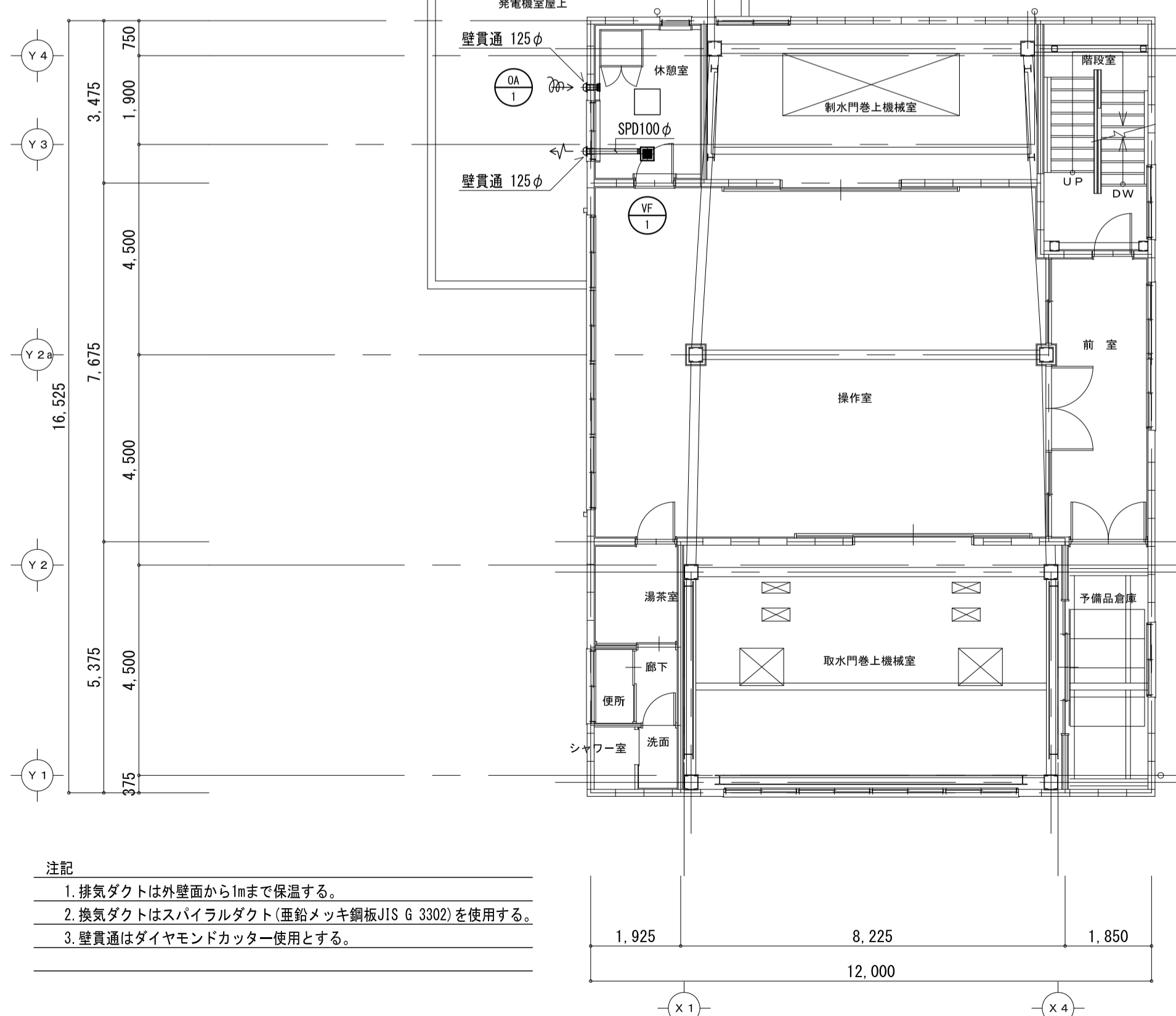
改修後 自動火災報知設備 2階平面図 1/100



改修後 換気設備 2階平面図 1/100

改修後 換気機器リスト

記号	名称	仕様及び付属品	電源	消費電力(W)	数量	設置場所
VF-1	天井換気扇	低騒音・インテリア格子付形 130φ×40m3/h×100Pa 化粧パネル、SUS製深形フード(防虫網付)、防護吊金具、24時間換気スイッチ、その他標準付属品共	1φ-100V	13.0	1	2階 休憩室
OA-1	自然給気ユニット	壁掛形 角形 防音仕様(深形フードと合わせてサッシュ遮音等級T-1相当) 100φ 化粧パネル、SUS製深形フード(防虫網付)、パイプスリーブ100φ、その他標準付属品共	-	-	1	2階 休憩室



- 注記
1. 消費電力 電気容量は、参考値とする。
 2. 24時間換気スイッチには、24時間換気を明記のこと。
 3. 風量は強運転時を示す。
 4. コントロールスイッチは、電気設備工事に支給する。

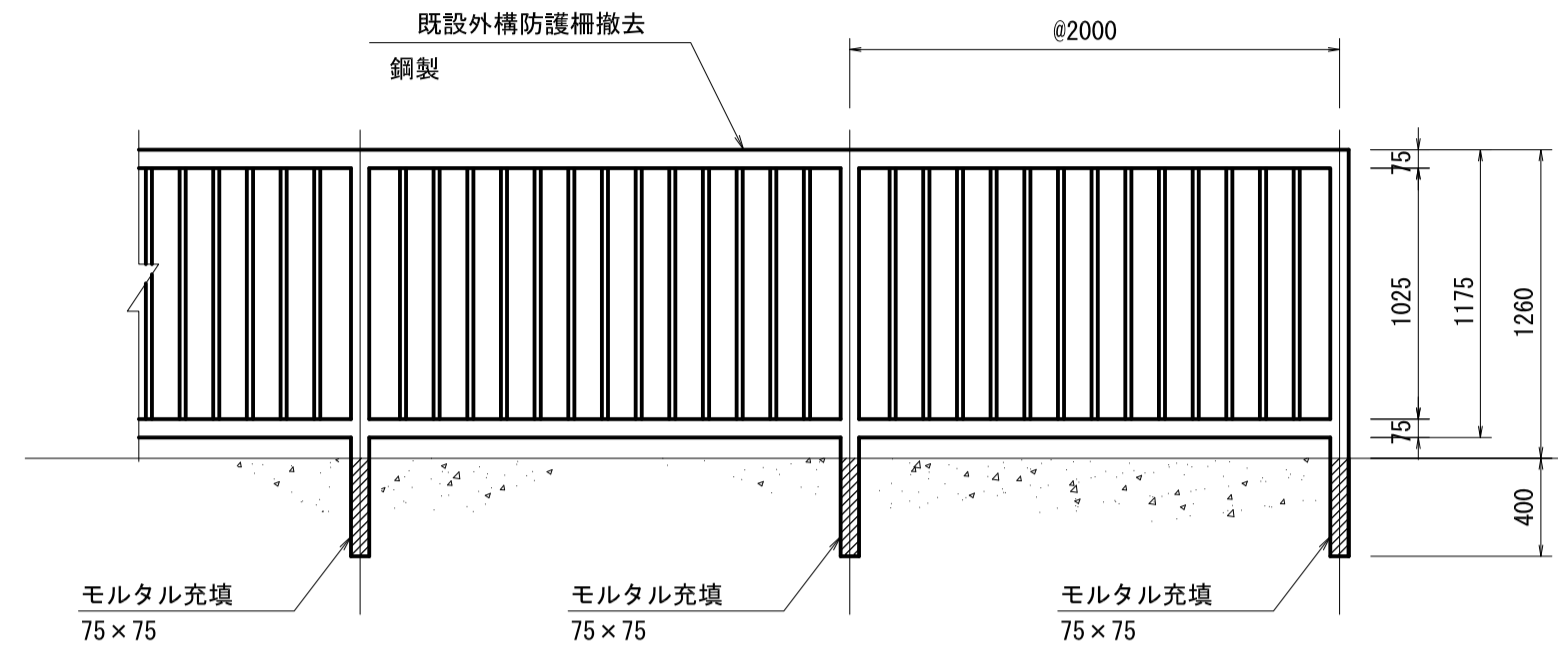
- 注記
1. 排気ダクトは外壁面から1mまで保温する。
 2. 換気ダクトはスパイラルダクト(亜鉛メッキ鋼板JIS G 3302)を使用する。
 3. 壁貫通はダイヤモンドカッター使用とする。

工事名	令和7年度 三方原水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	現況撤去・改修後 自動火災報知設備 2階平面図 改修後 情報通信網設備、換気設備 2階平面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	18
会社名			
事業所名	関東農政局三方原水二期農業水利事業所		

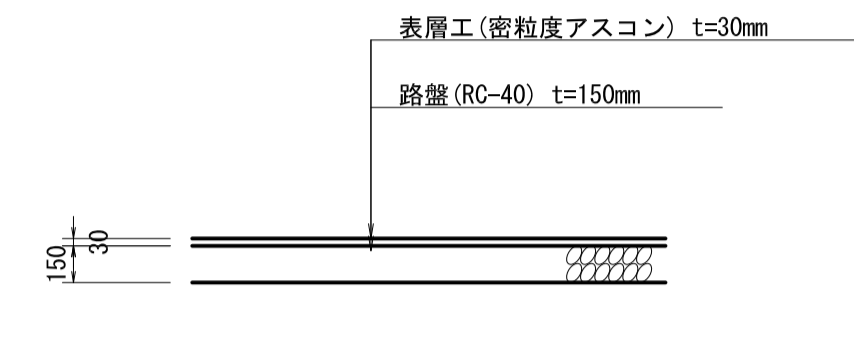
外構防護柵等撤去図(2/2)

S=1:30 (A1)

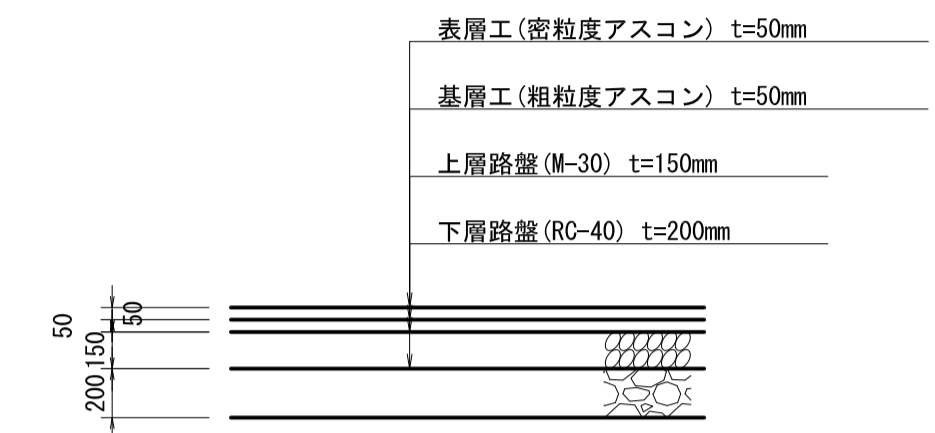
既設外構防護柵構造図



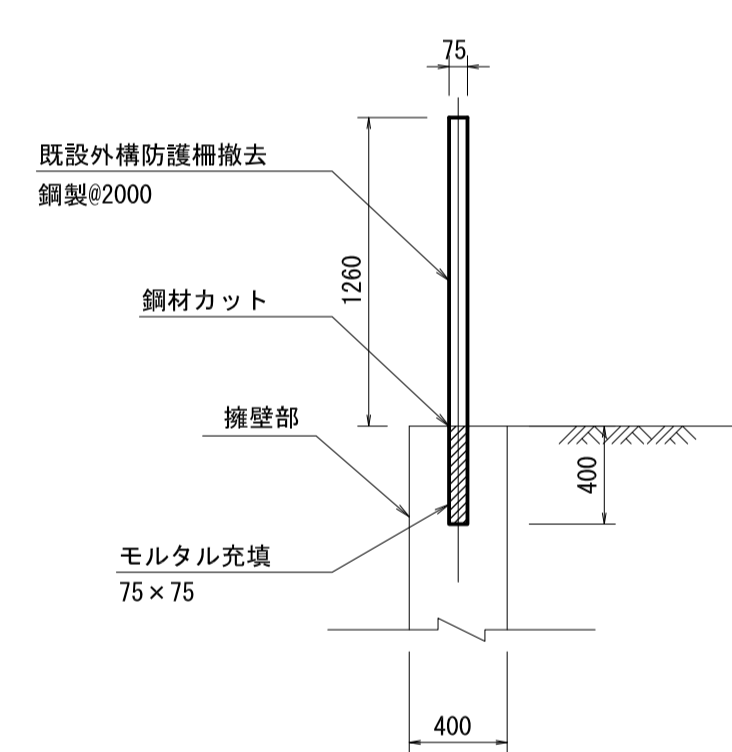
坂路舗装構成図



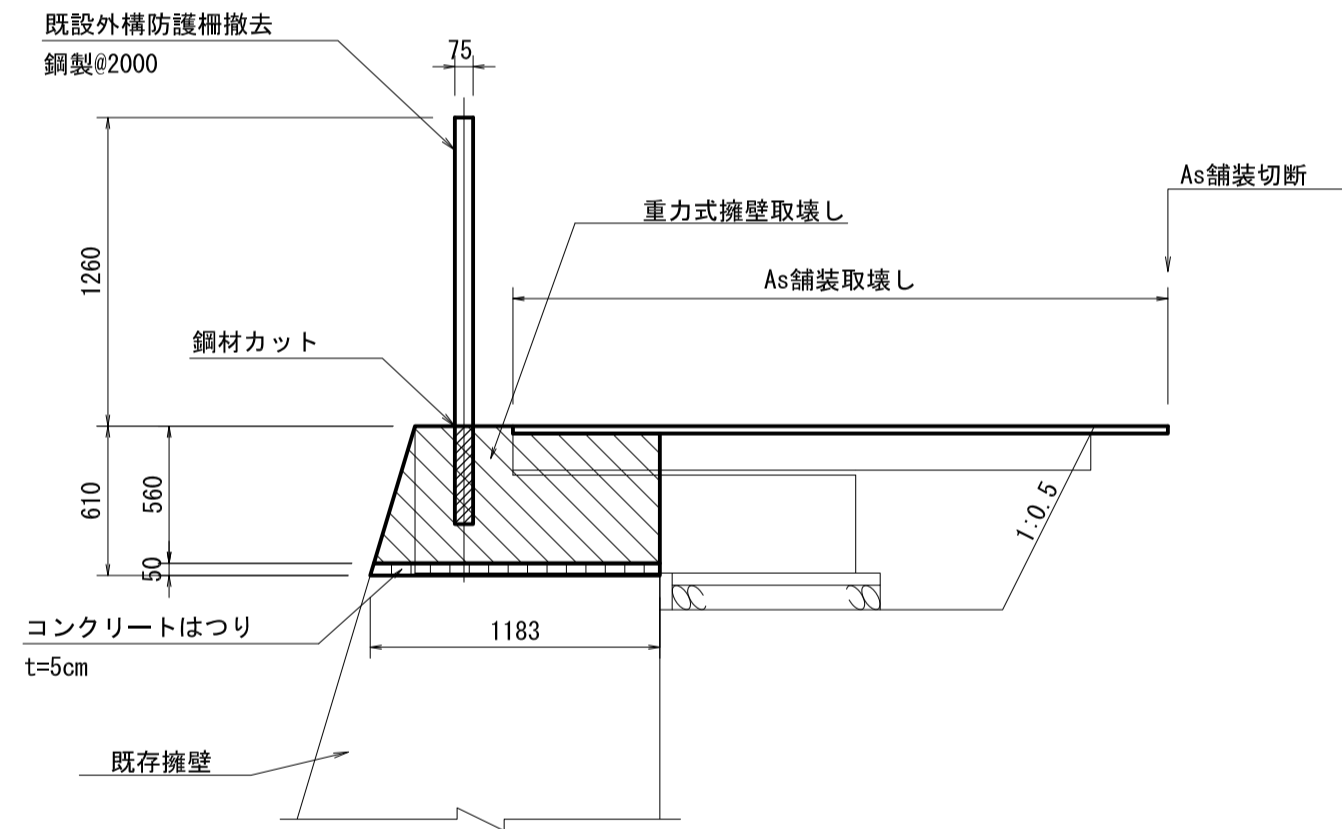
国道舗装構成図



A-A断面図

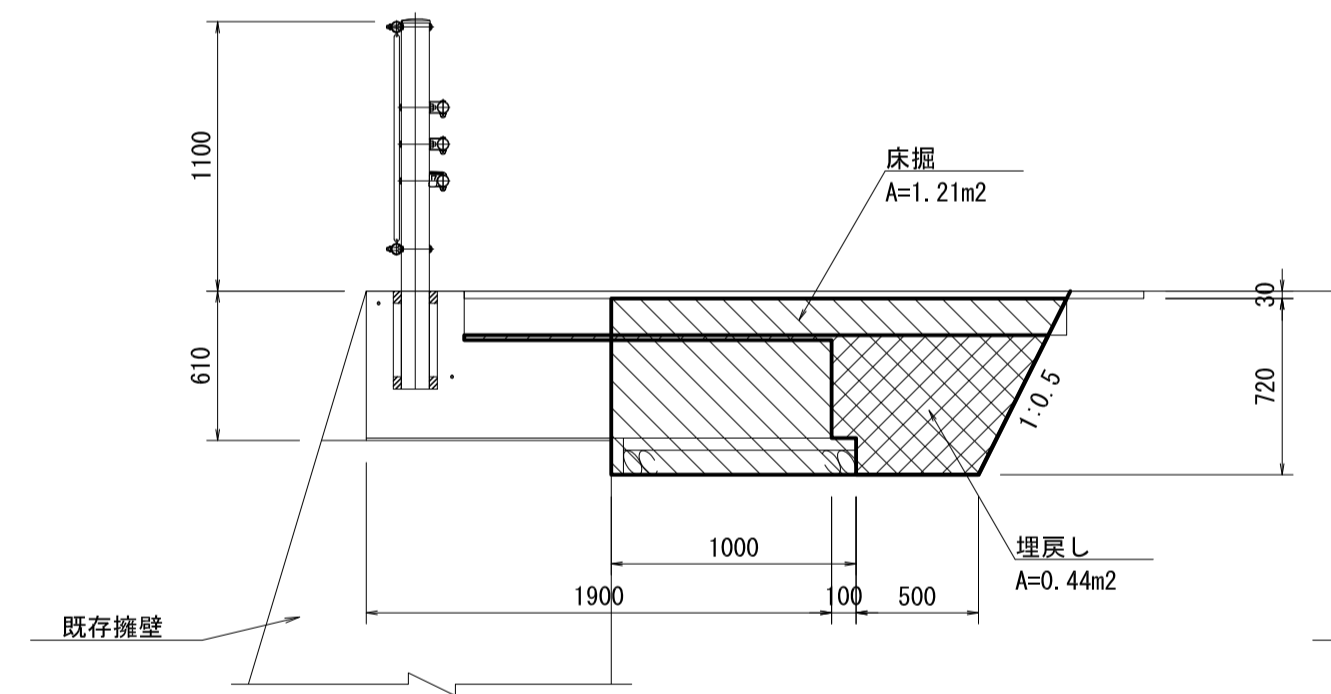


B-B断面図

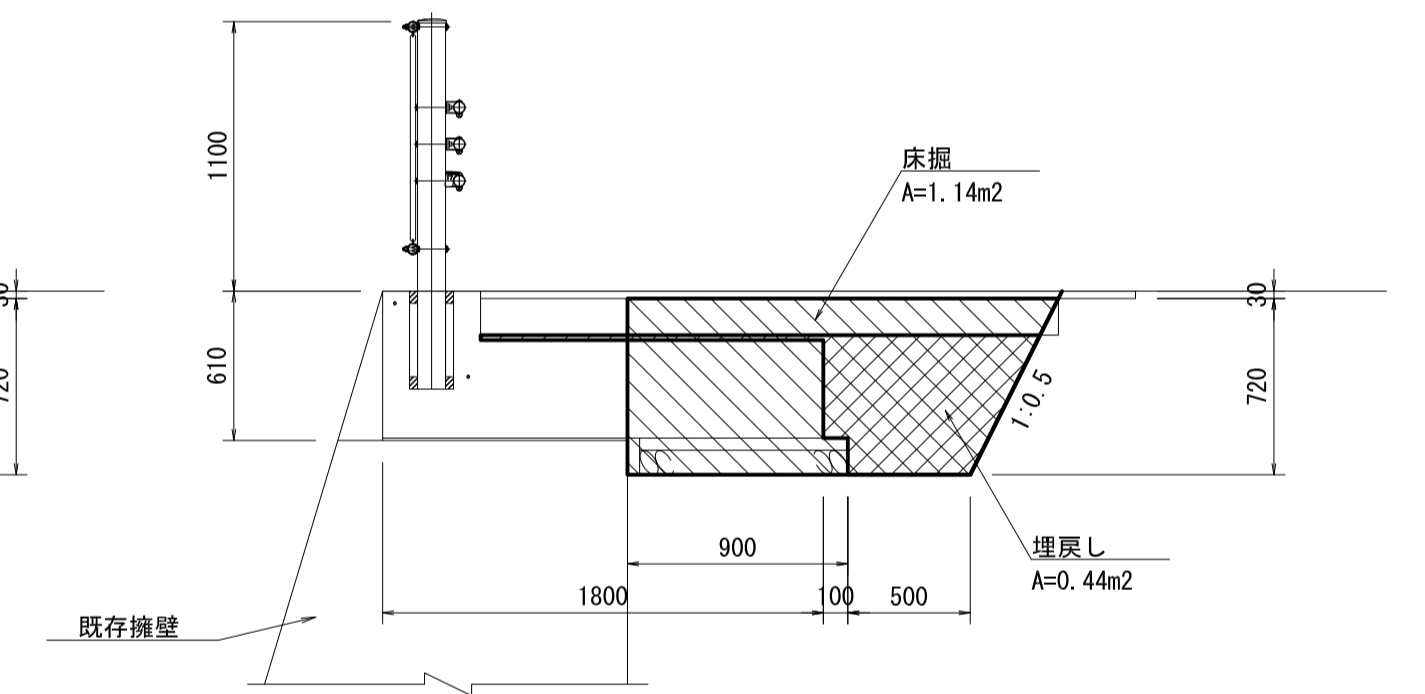


土工標準断面図

基礎タイプ-A

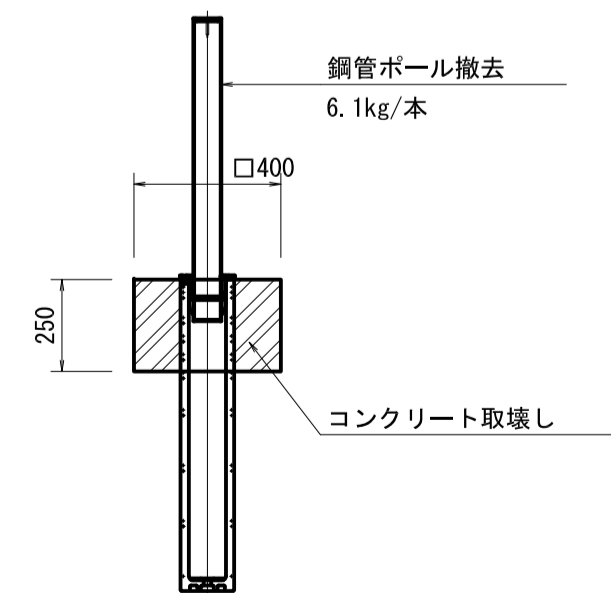


基礎タイプ-B

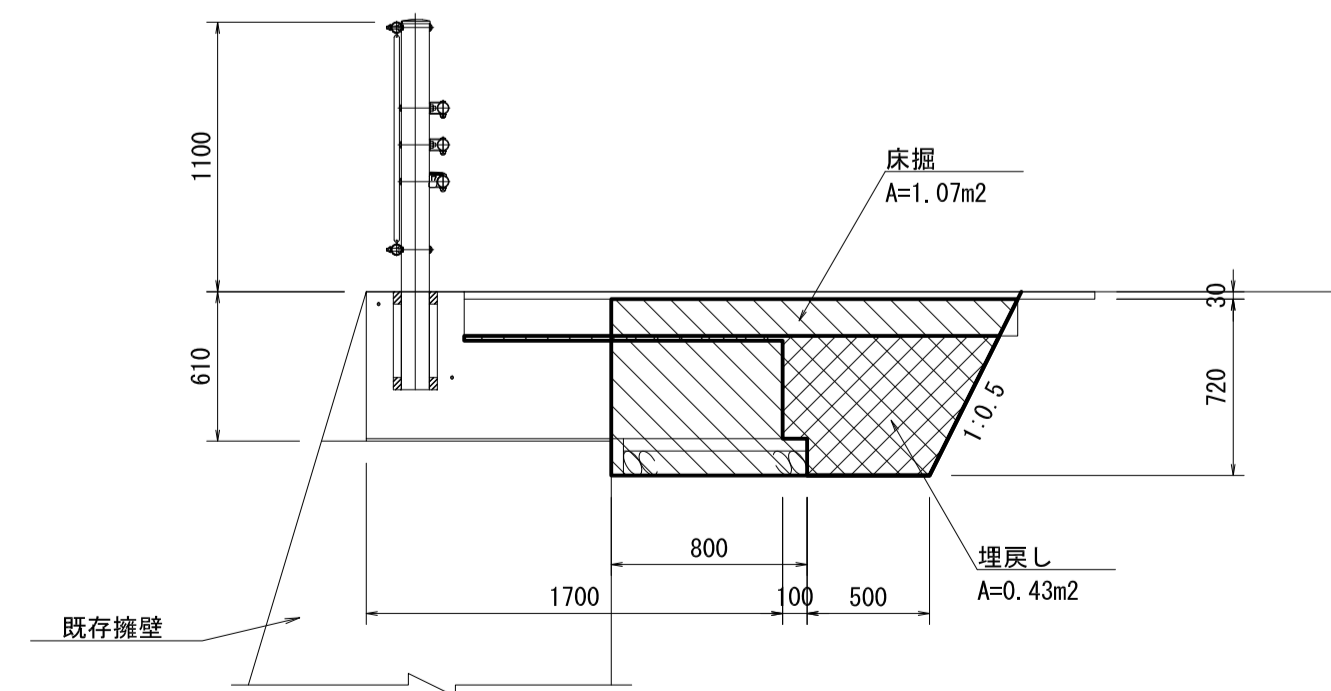


既設車止め構造図

S=1:20 (A1)



基礎タイプ-C

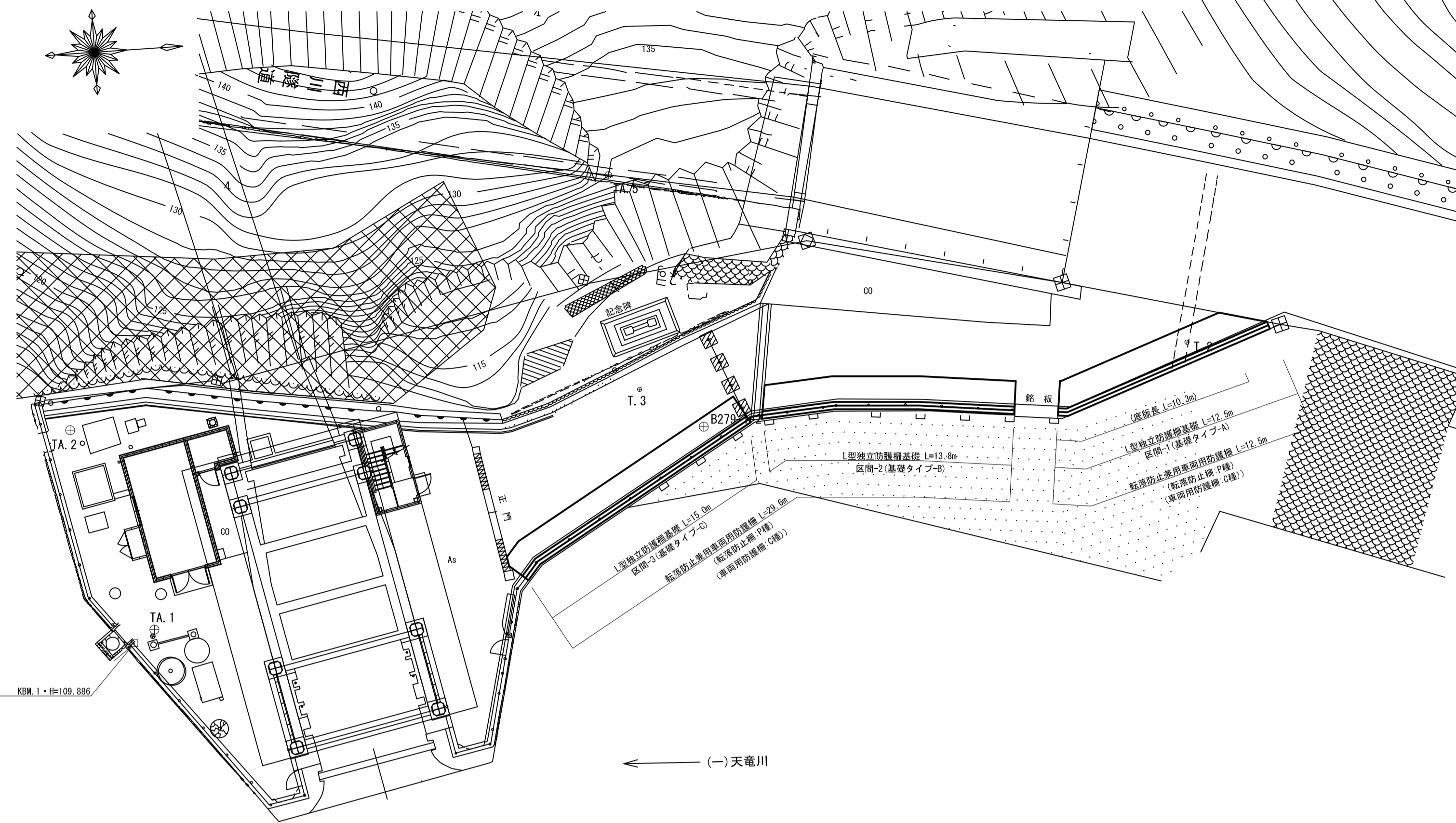


工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	外構防護柵等撤去図(2/2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	19-2/2
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

外構防護柵設置図(1/2)

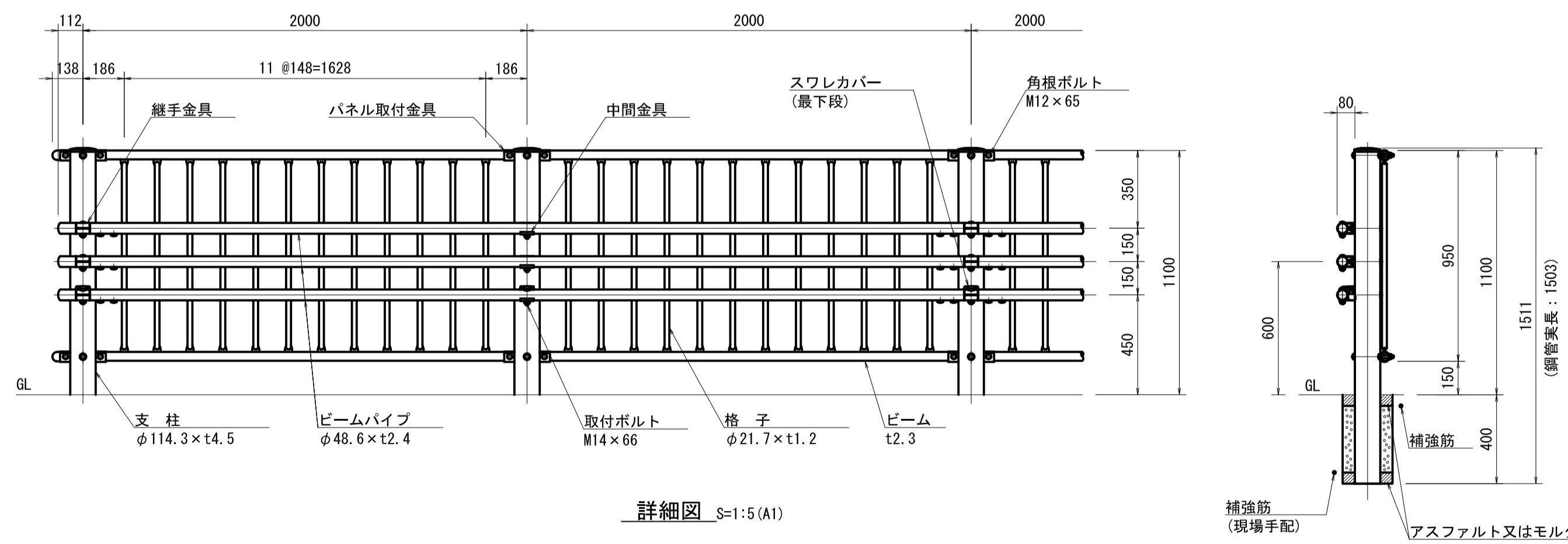
【転落防止兼用車両用防護柵】

平面図 S=1:200 (A1)



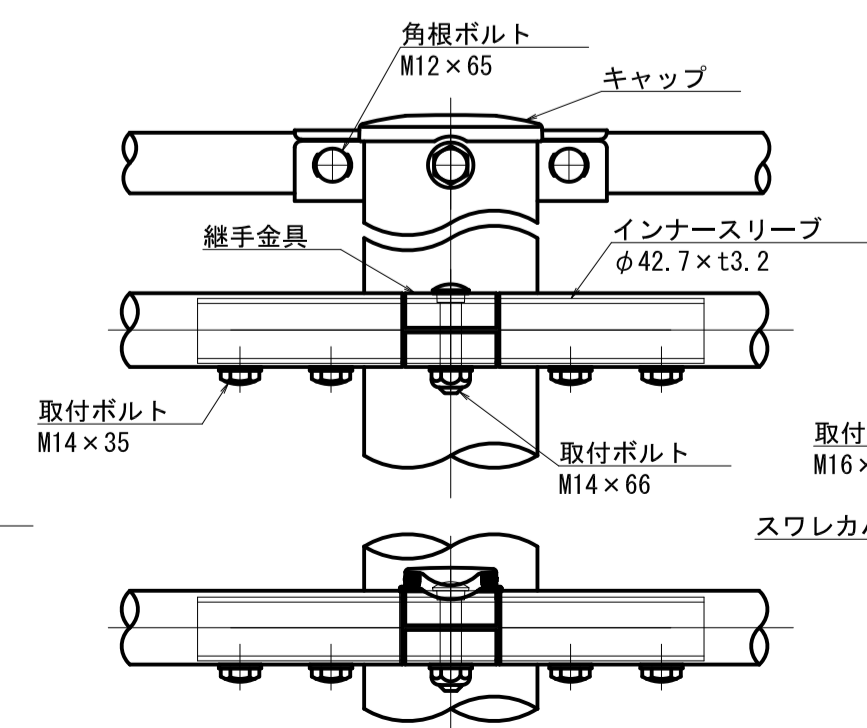
転落防止兼用車両用防護柵 S=1:20 (A1)

(転落防止柵:P種)
(車両用防護柵:C種)
※塗装色は白色とする。

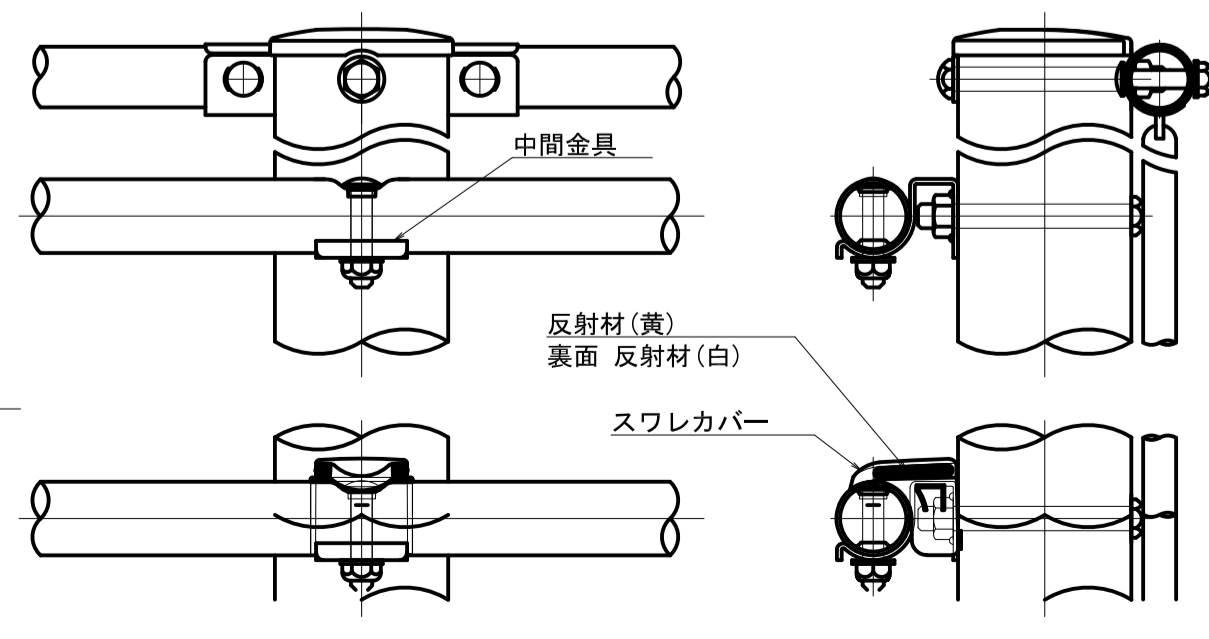


詳細図 S=1:5 (A1)

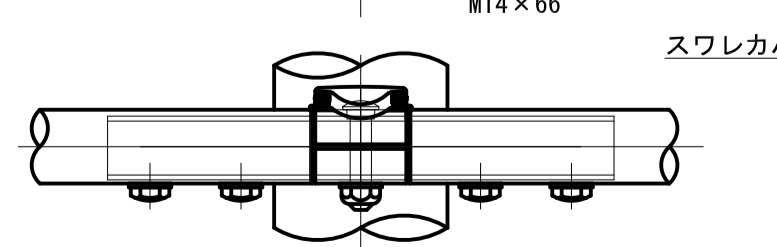
継手部詳細図



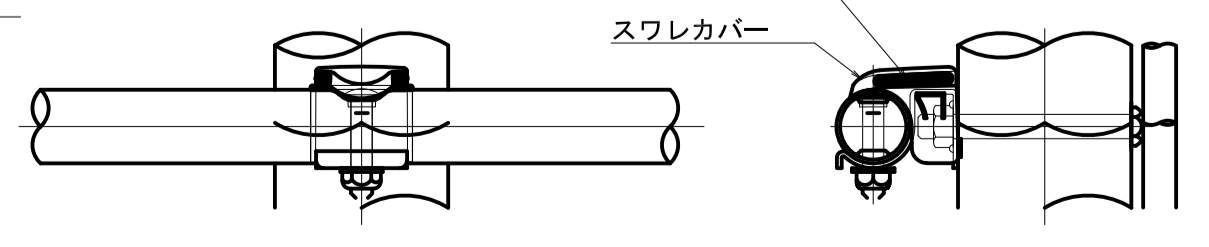
中間部詳細図



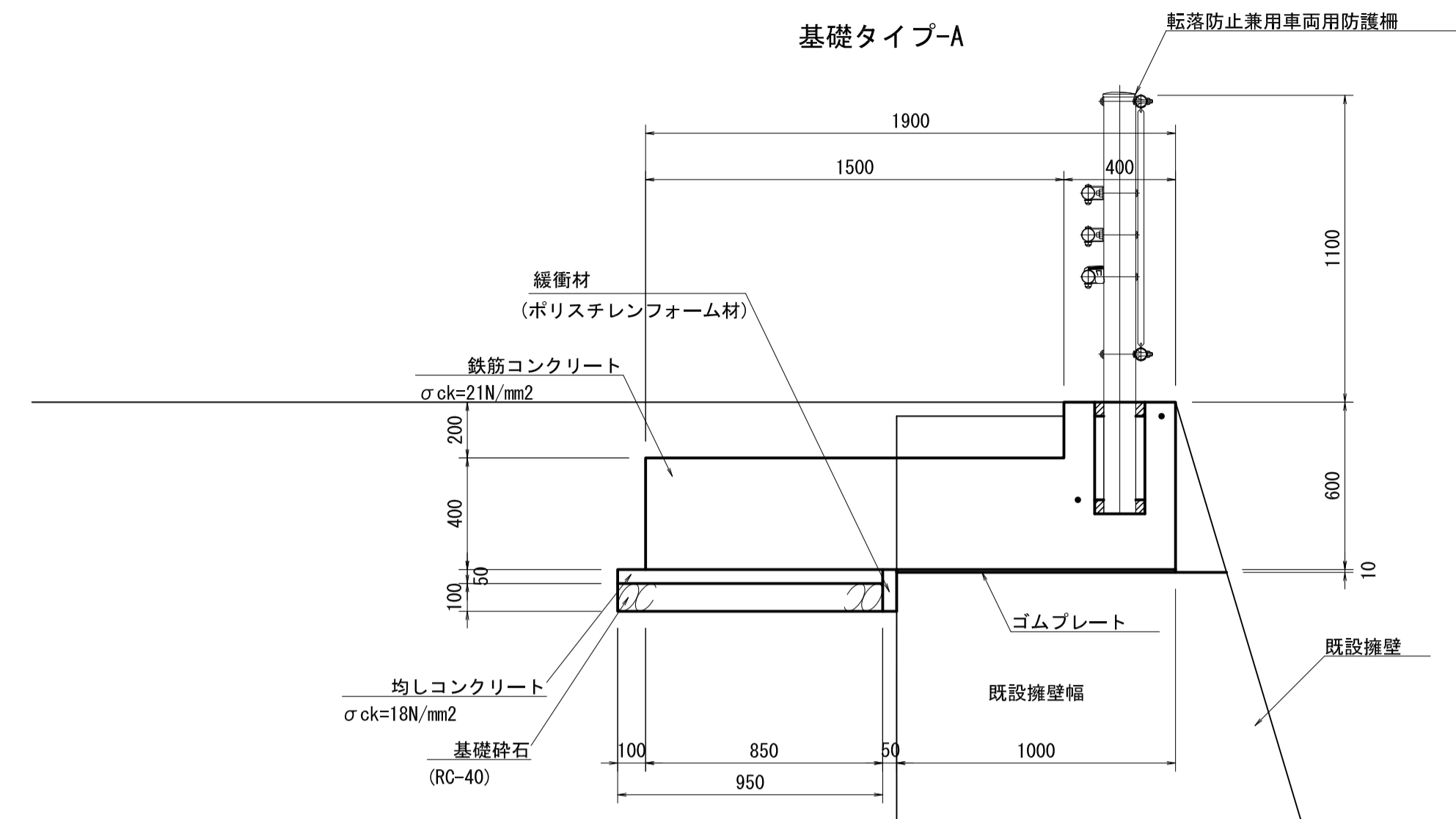
継手部最下段詳細図



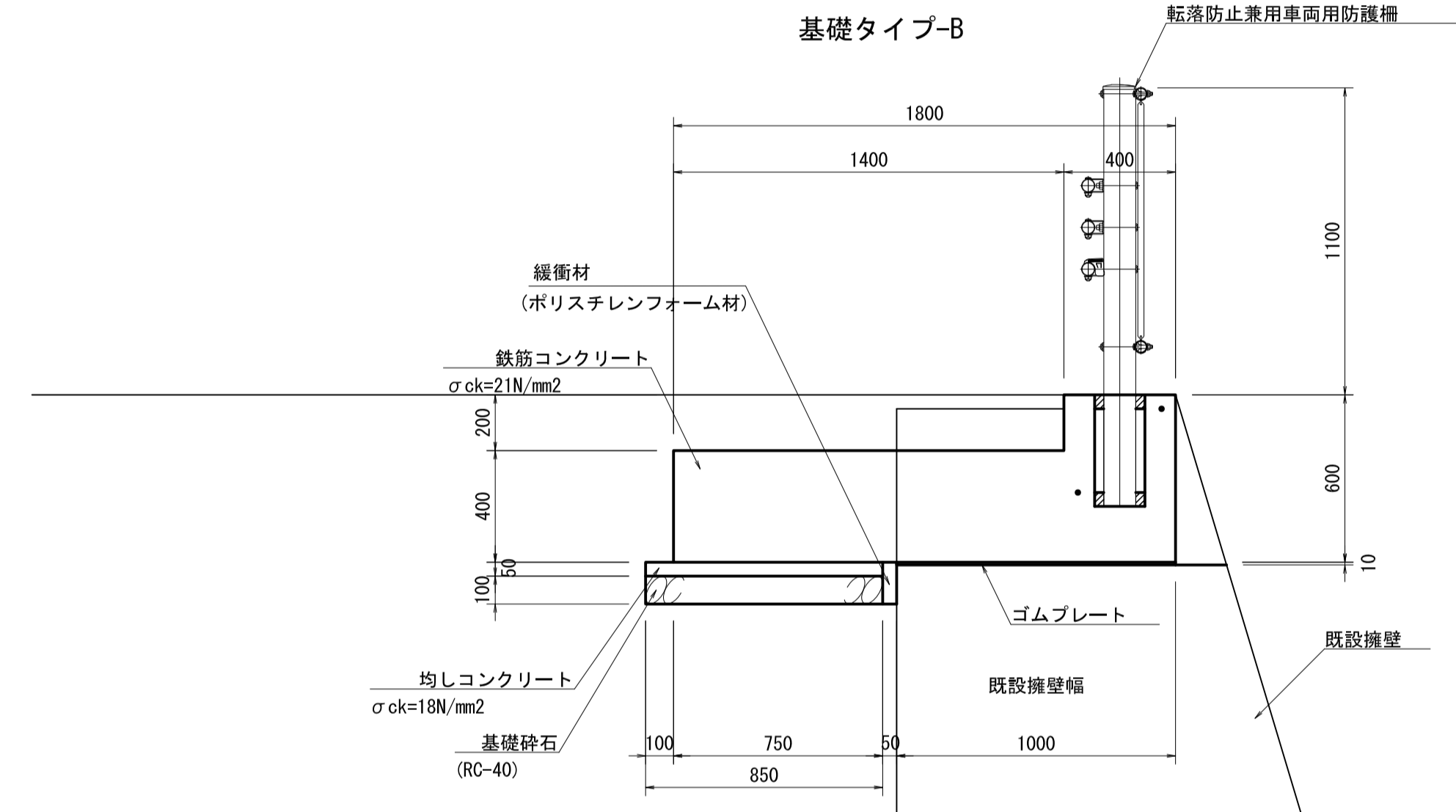
中間部最下段詳細図



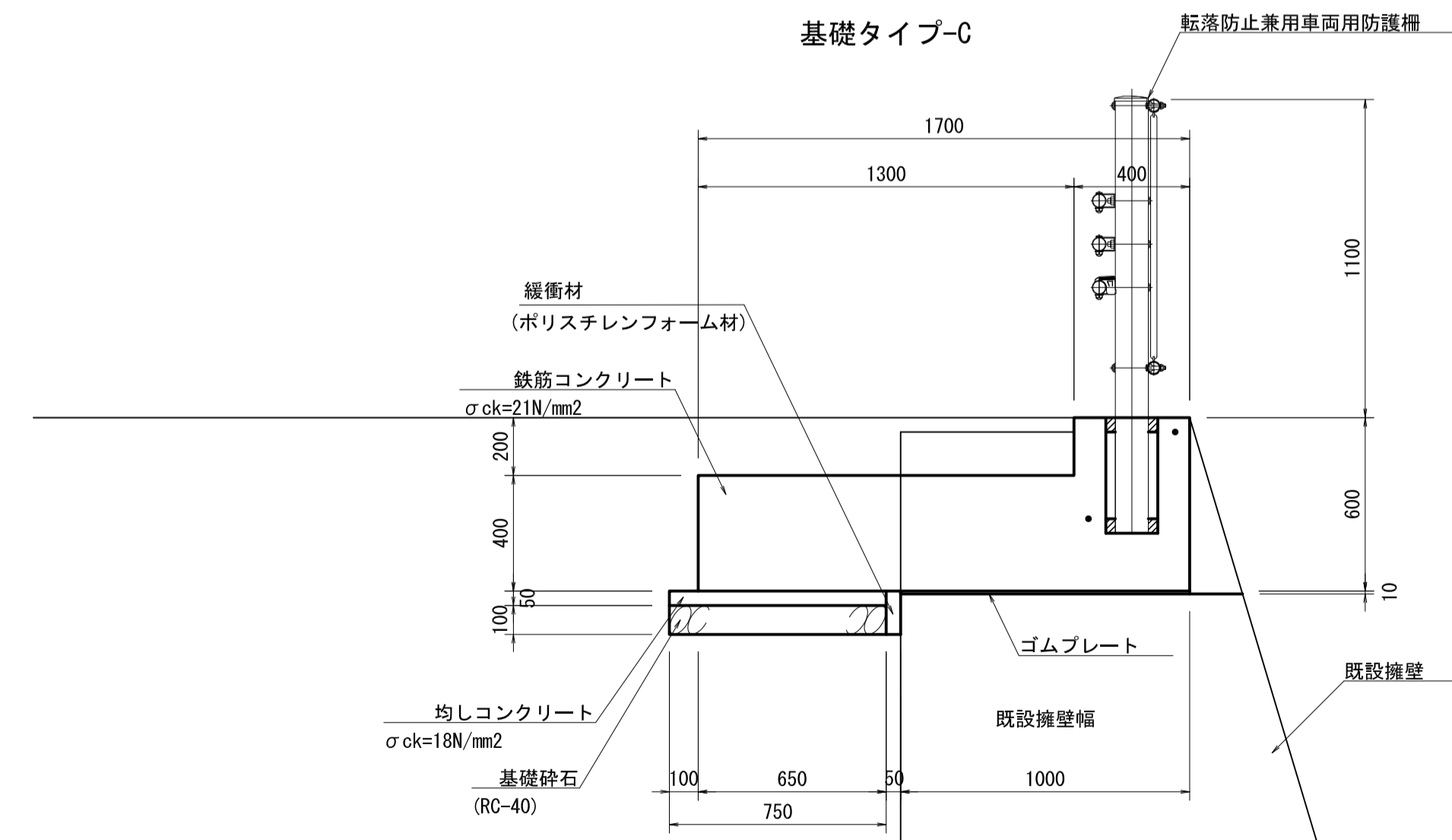
L型独立防護柵基礎一般図 S=1:20 (A1)



基礎タイプ-B



基礎タイプ-C

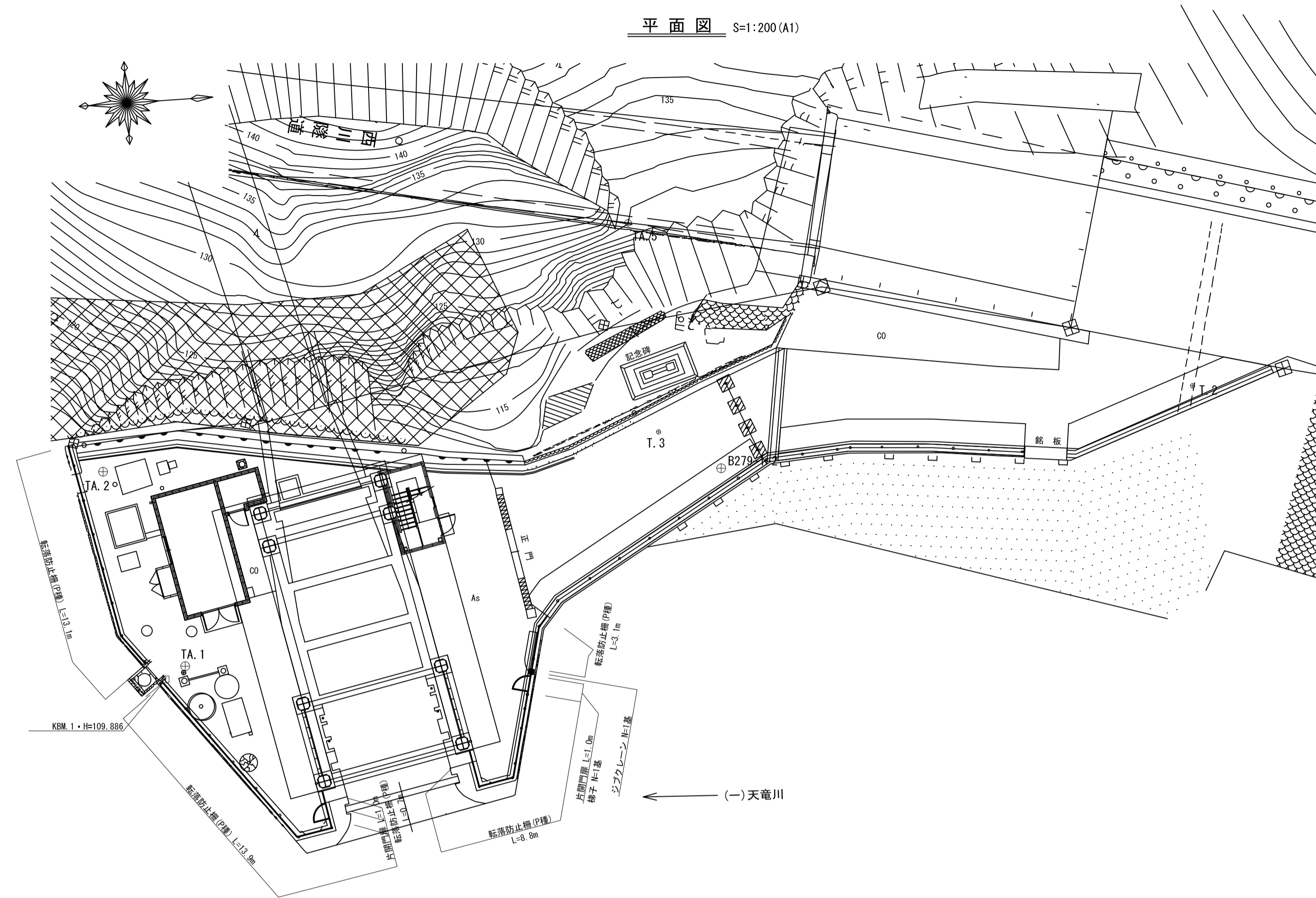


工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	外構防護柵設置図(1/2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	20-1/2
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

外構防護柵設置図(2/2)

【転落防止柵】

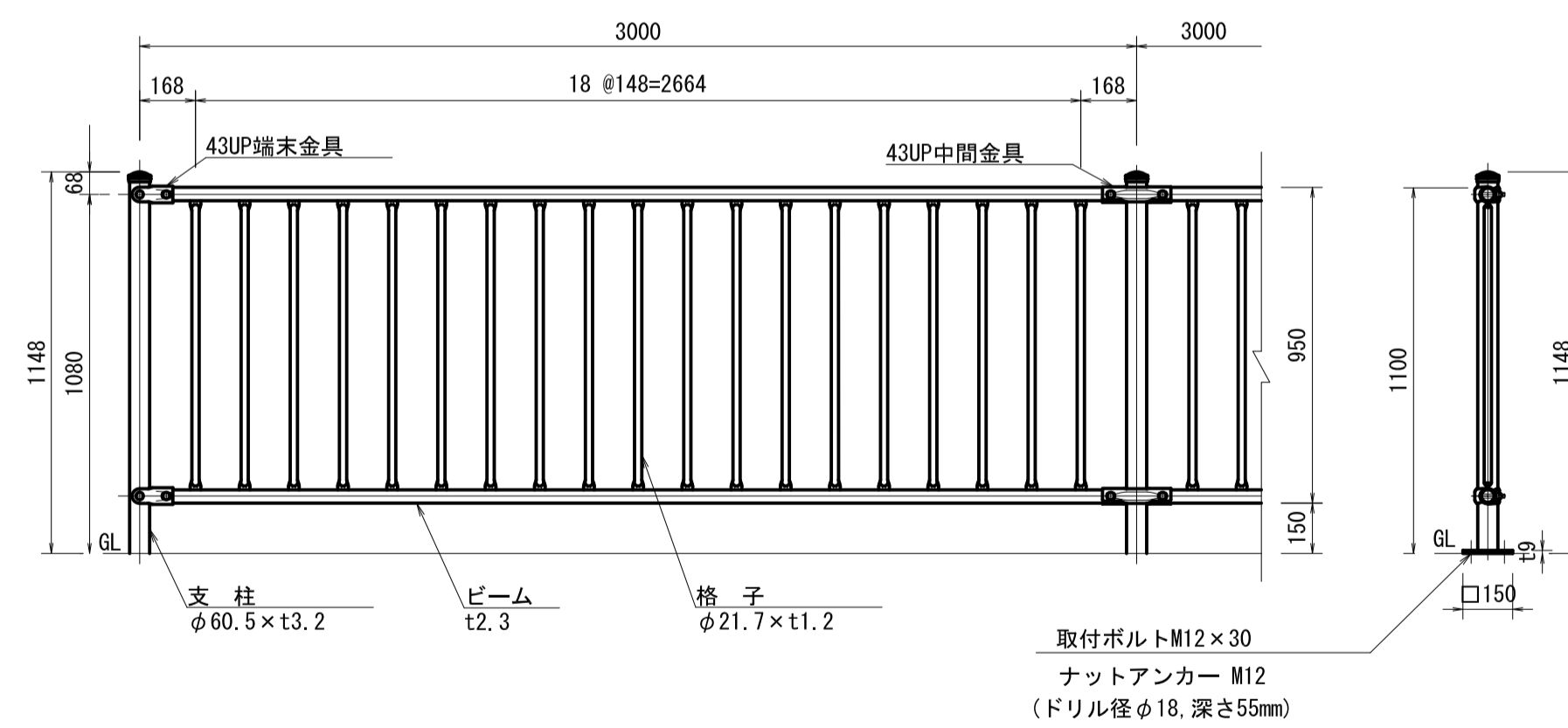
平面図 S=1:200(A1)



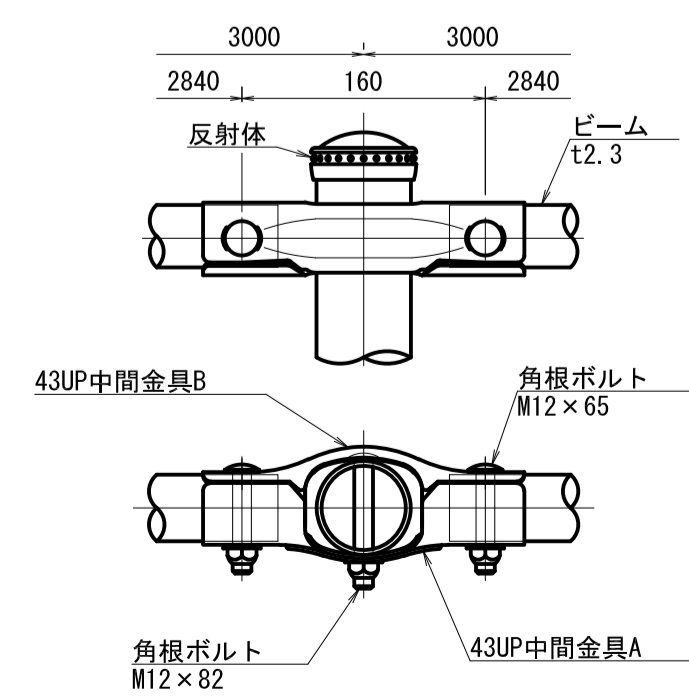
転落防止柵(P種) S=1:20(A1)

※塗装色は白色とする。

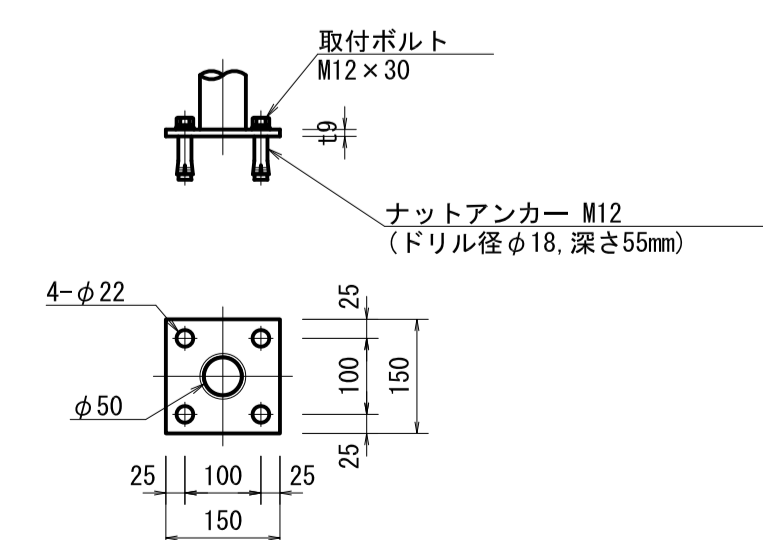
W=3000



取付部詳細図 S=1:5(A1)

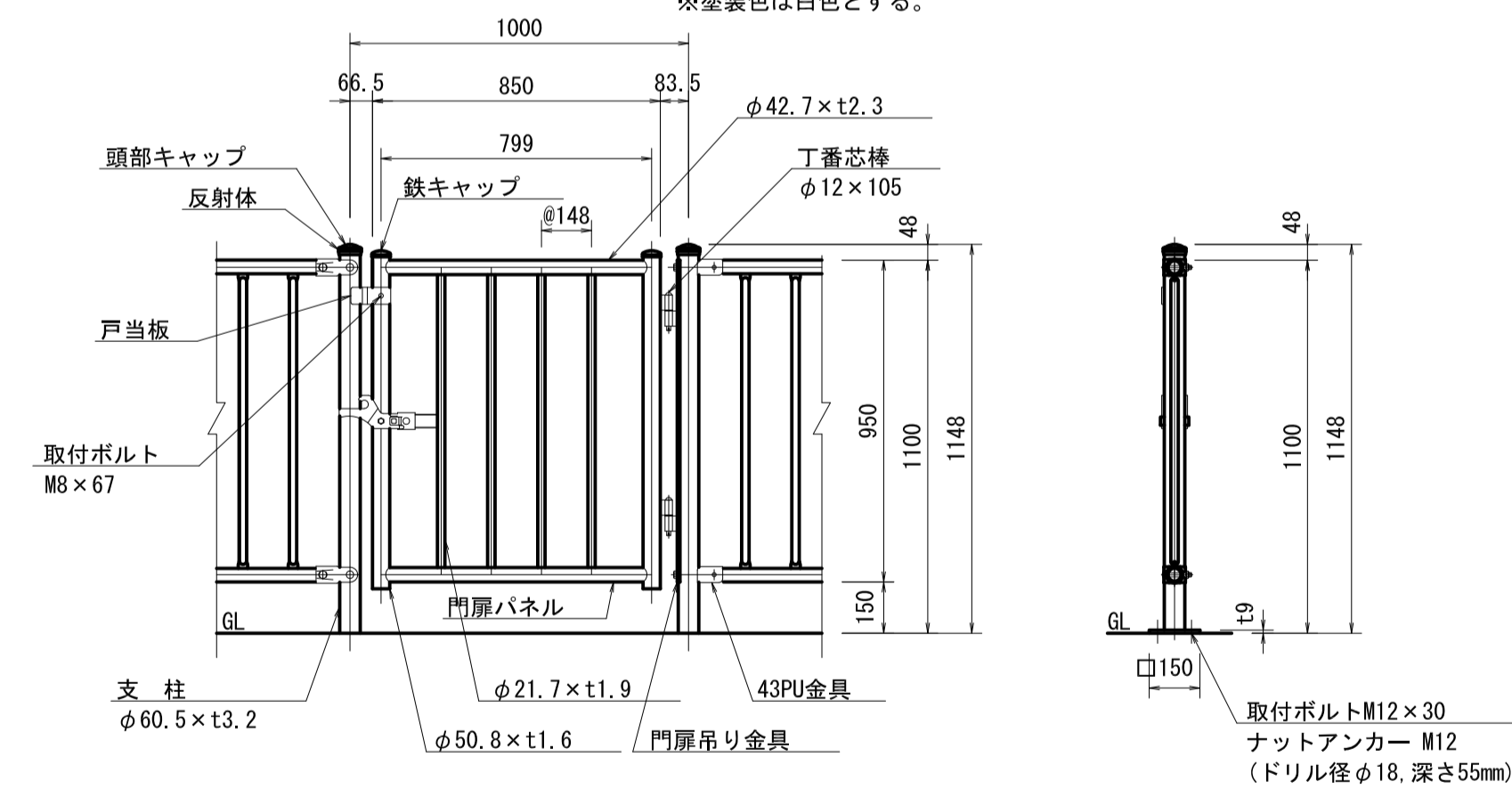


ベースプレート詳細図 S=1:10(A1)



片開門扉 S=1:20(A1)

※塗装色は白色とする。



※戸当板は、内開き・外開き どちらにも対応可能です。

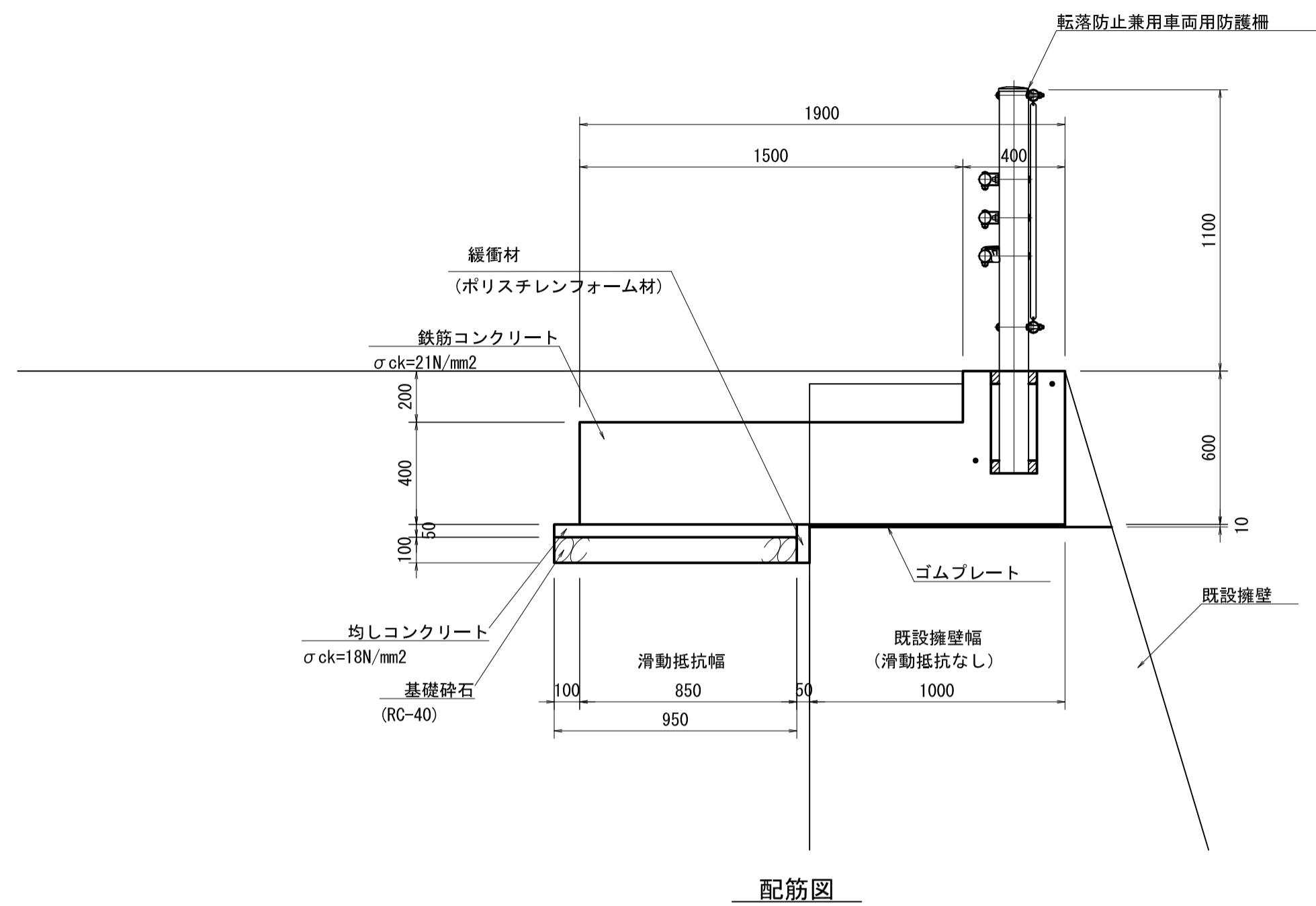
工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	外構防護柵設置図(2/2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	20-2/2
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

L型独立防護柵基礎標準構造図(1/3)

S=1:20 (A1)

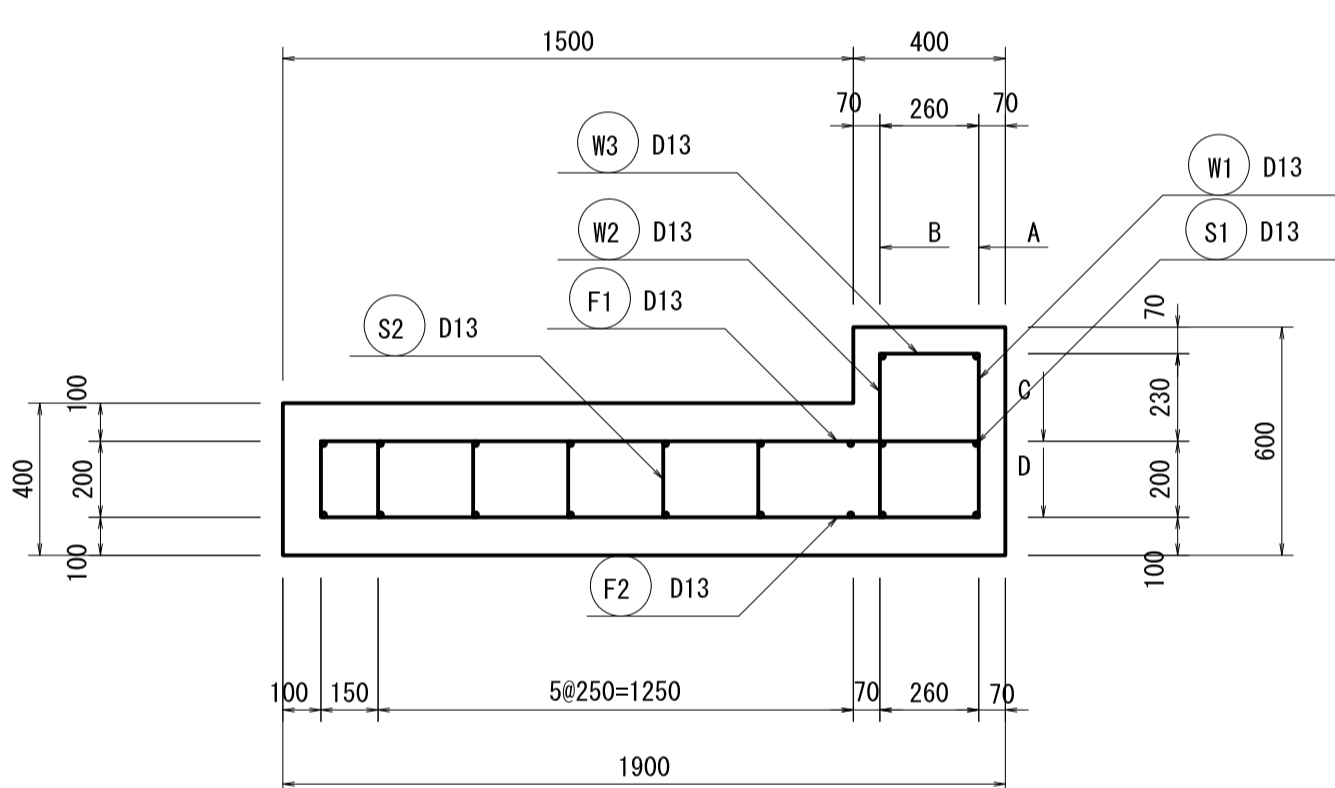
【基礎タイプ-A】

L型独立防護柵基礎(タイプ-A)一般図

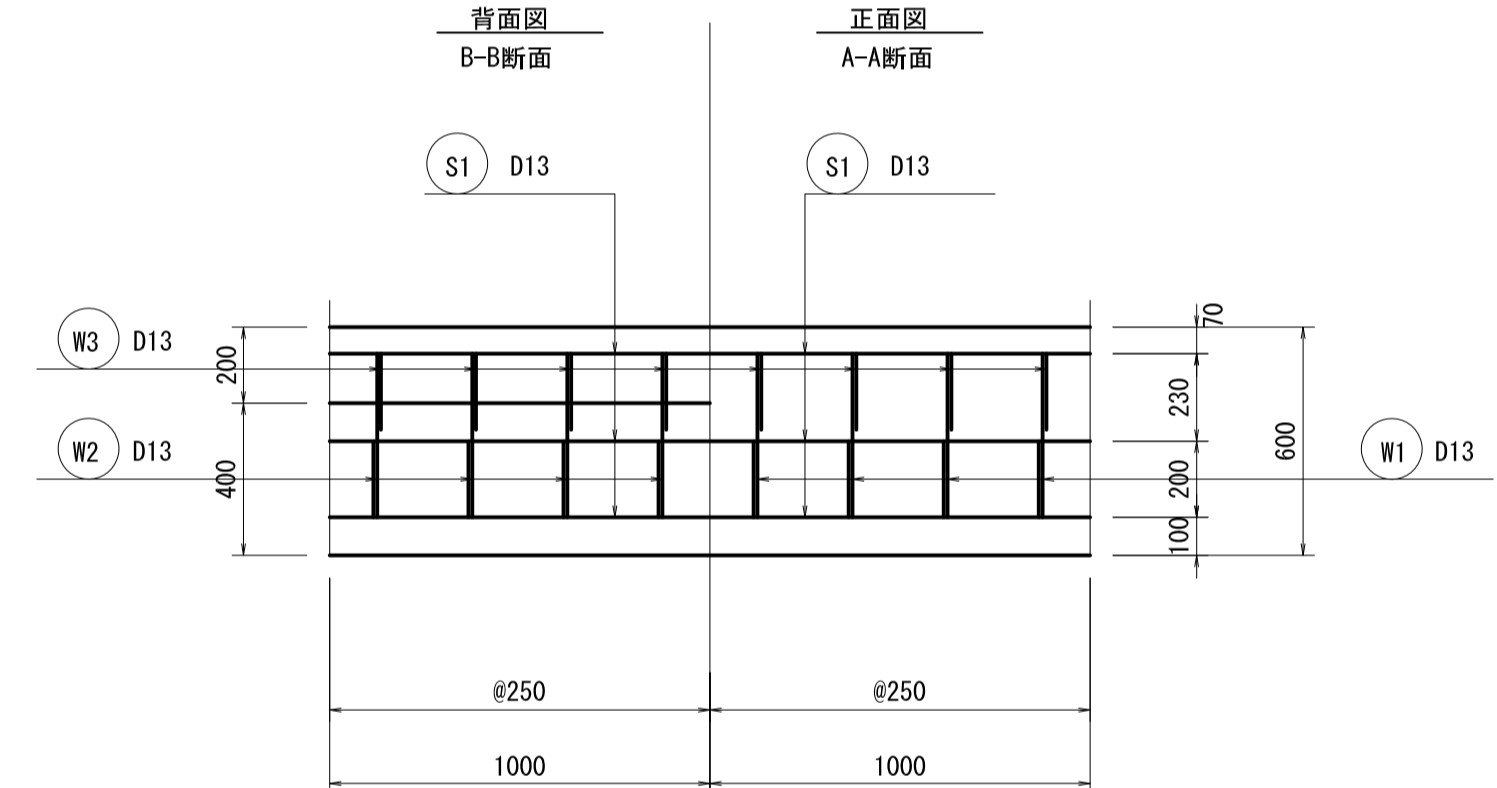


配筋図

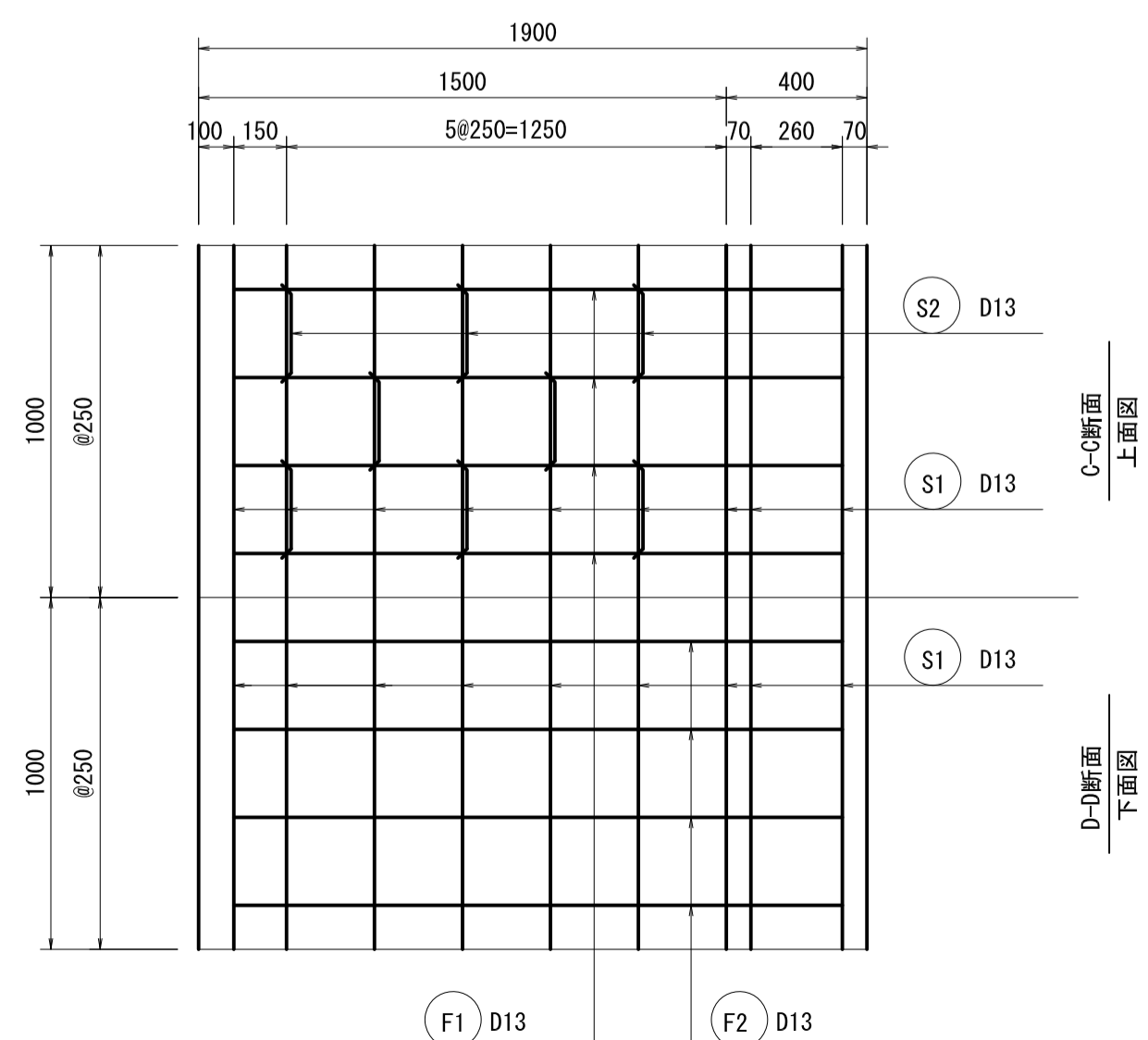
断面図



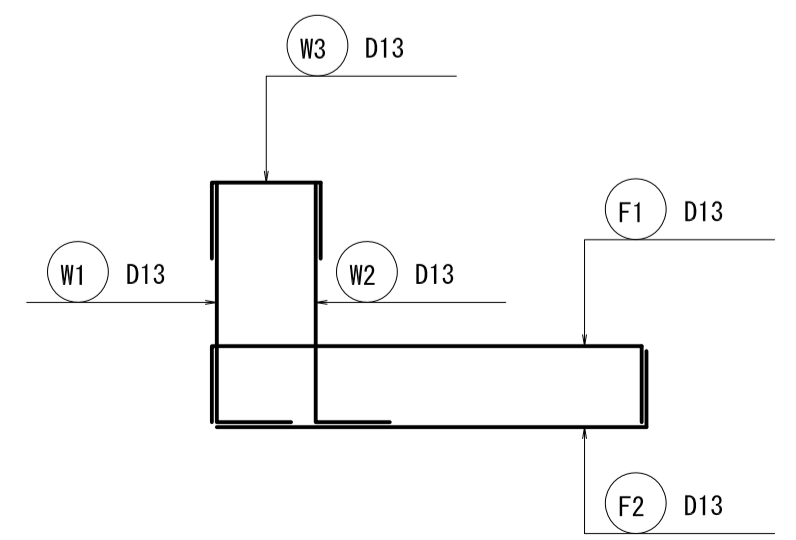
たて壁



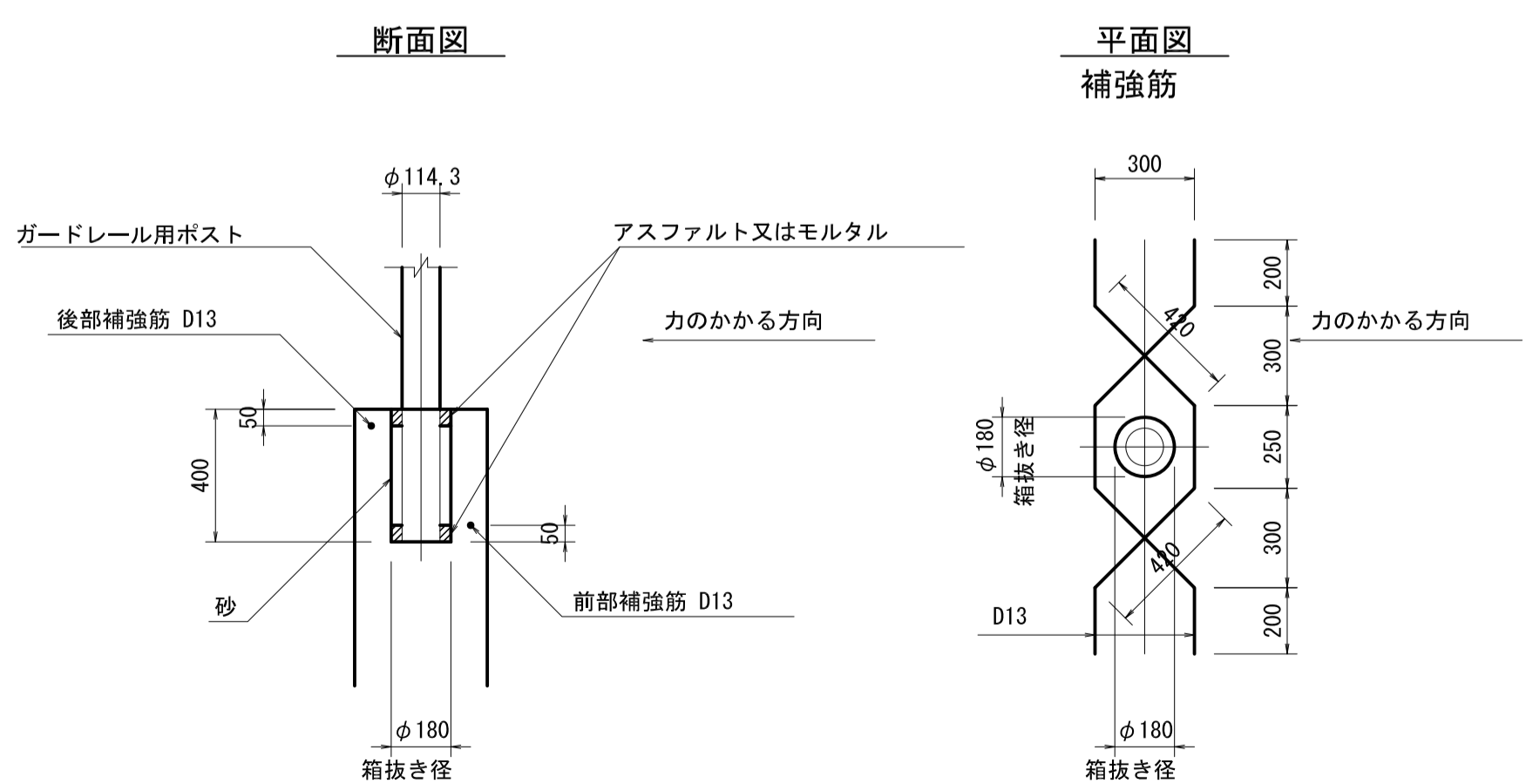
底板



鉄筋組立図



ガードレール用補強筋図



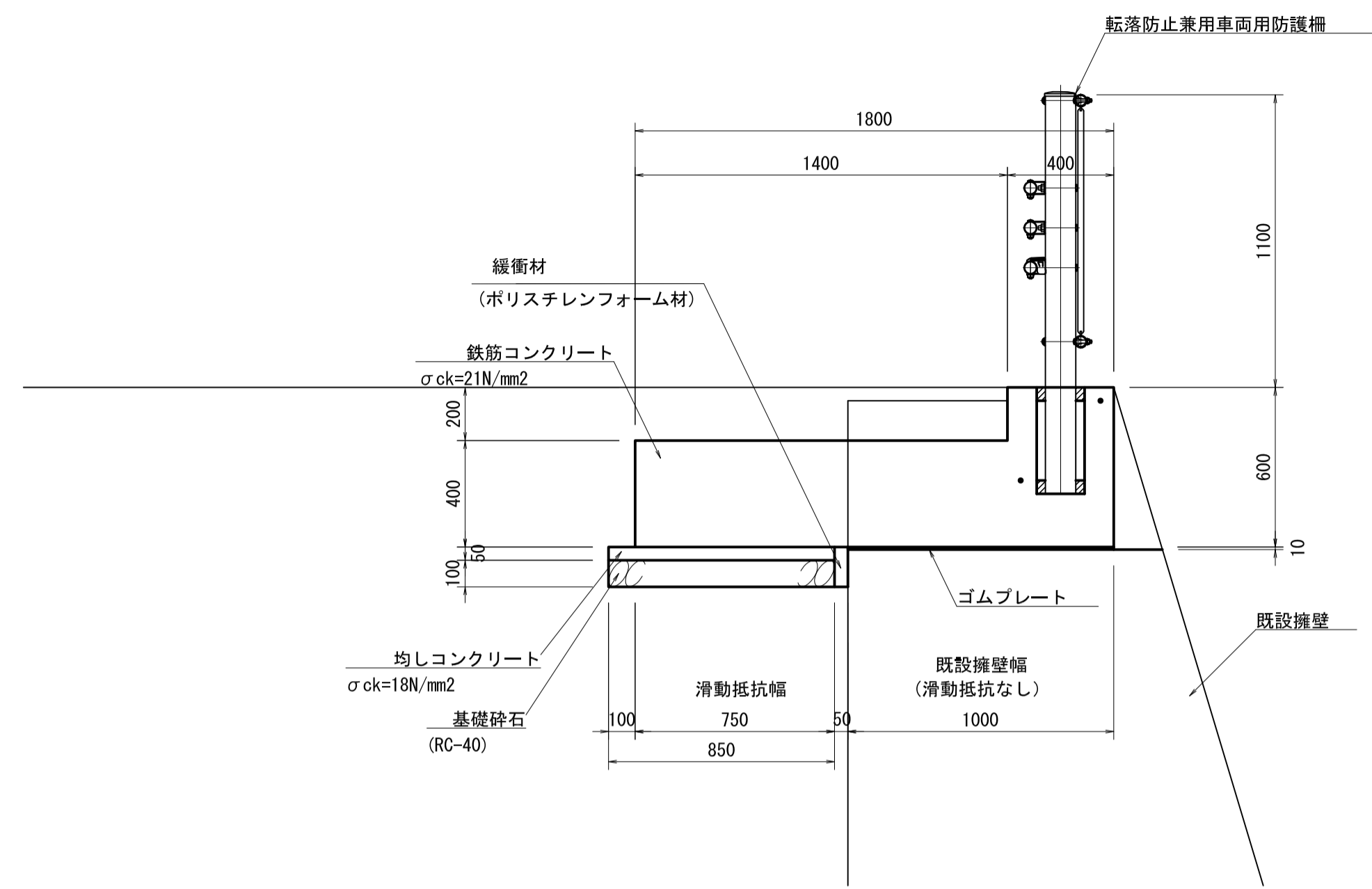
補強筋鉄筋数量表 (1ヶ所当り) (Gr-C-2B)

名称	径	本数	長さ	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
前部	D13	1	1490	0.995	1.480	1.5	
後部	D13	1	1490	0.995	1.480	1.5	
合計					D13 (SD295A)	3.0	kg

工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	L型独立防護柵基礎標準構造図(1/3)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	21-1/3
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		

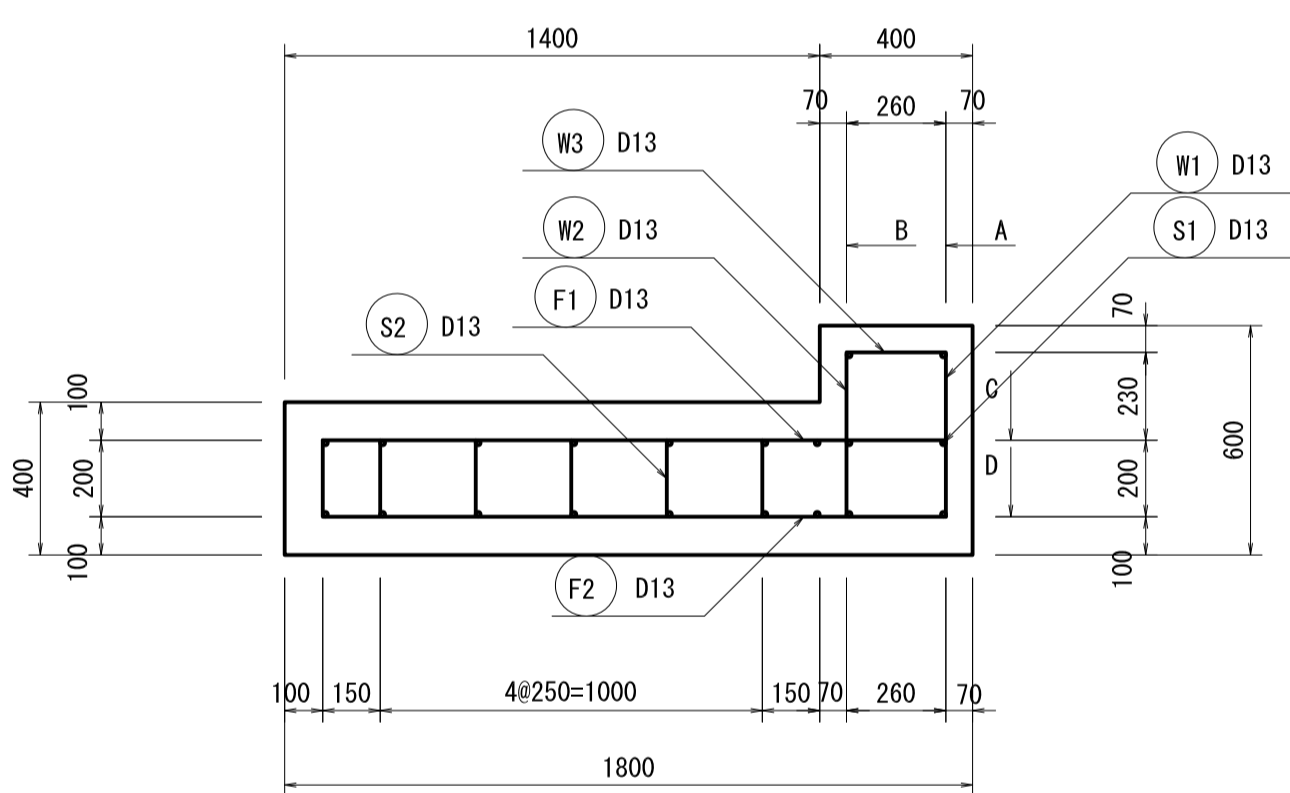
【基礎タイプ-B】

L型独立防護柵基礎(タイプ-B)一般図

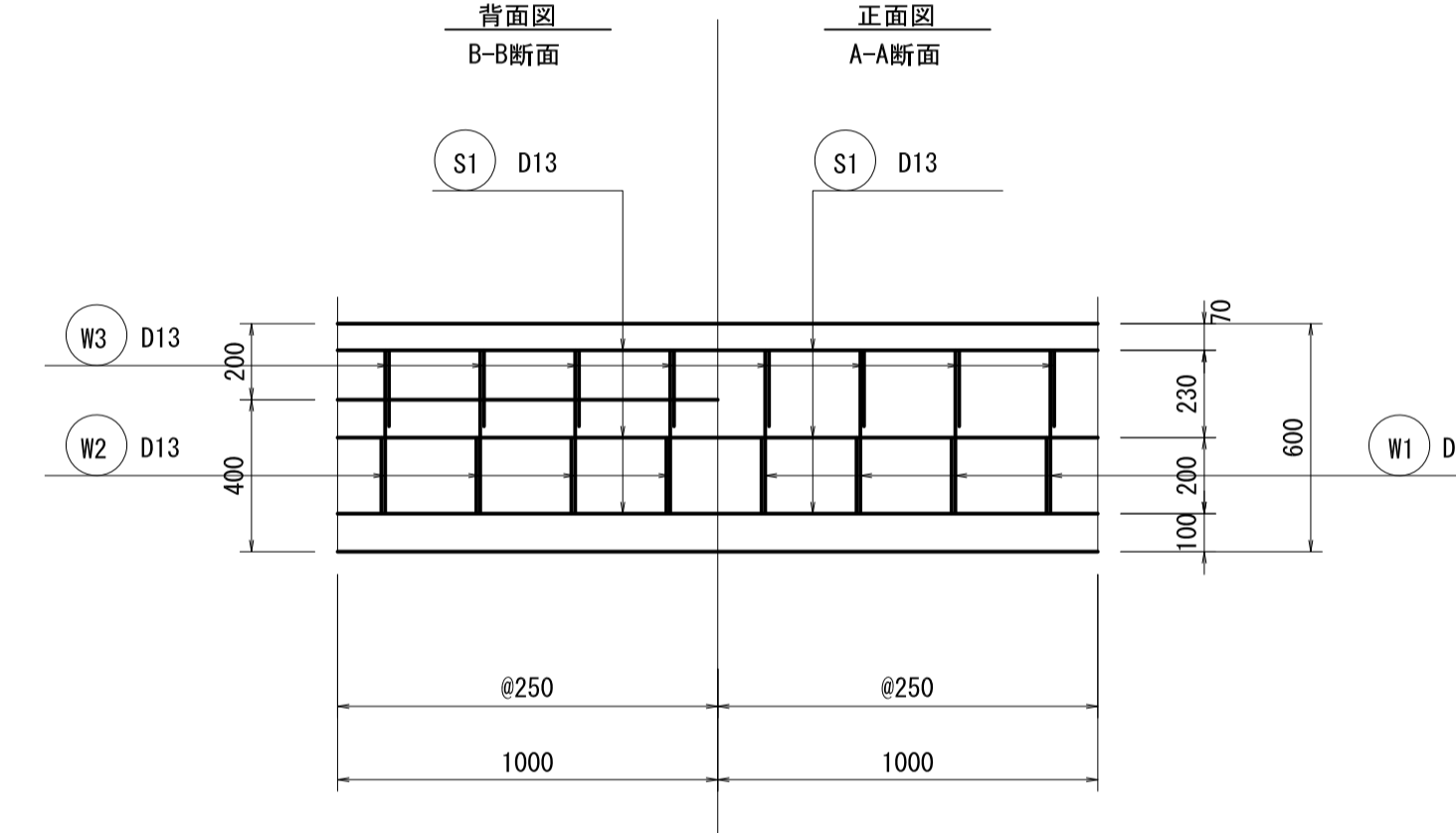


配筋図

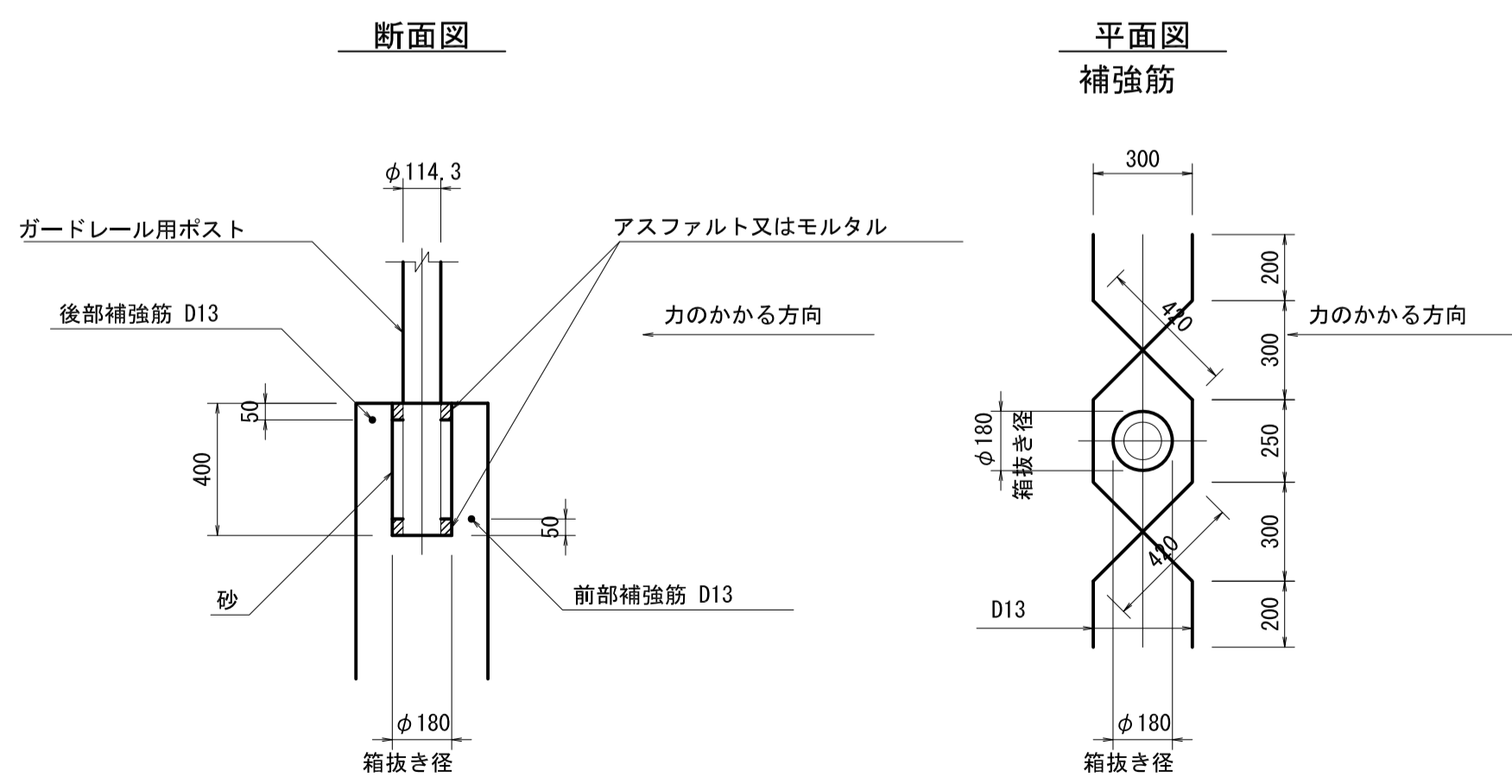
断面図



たて壁



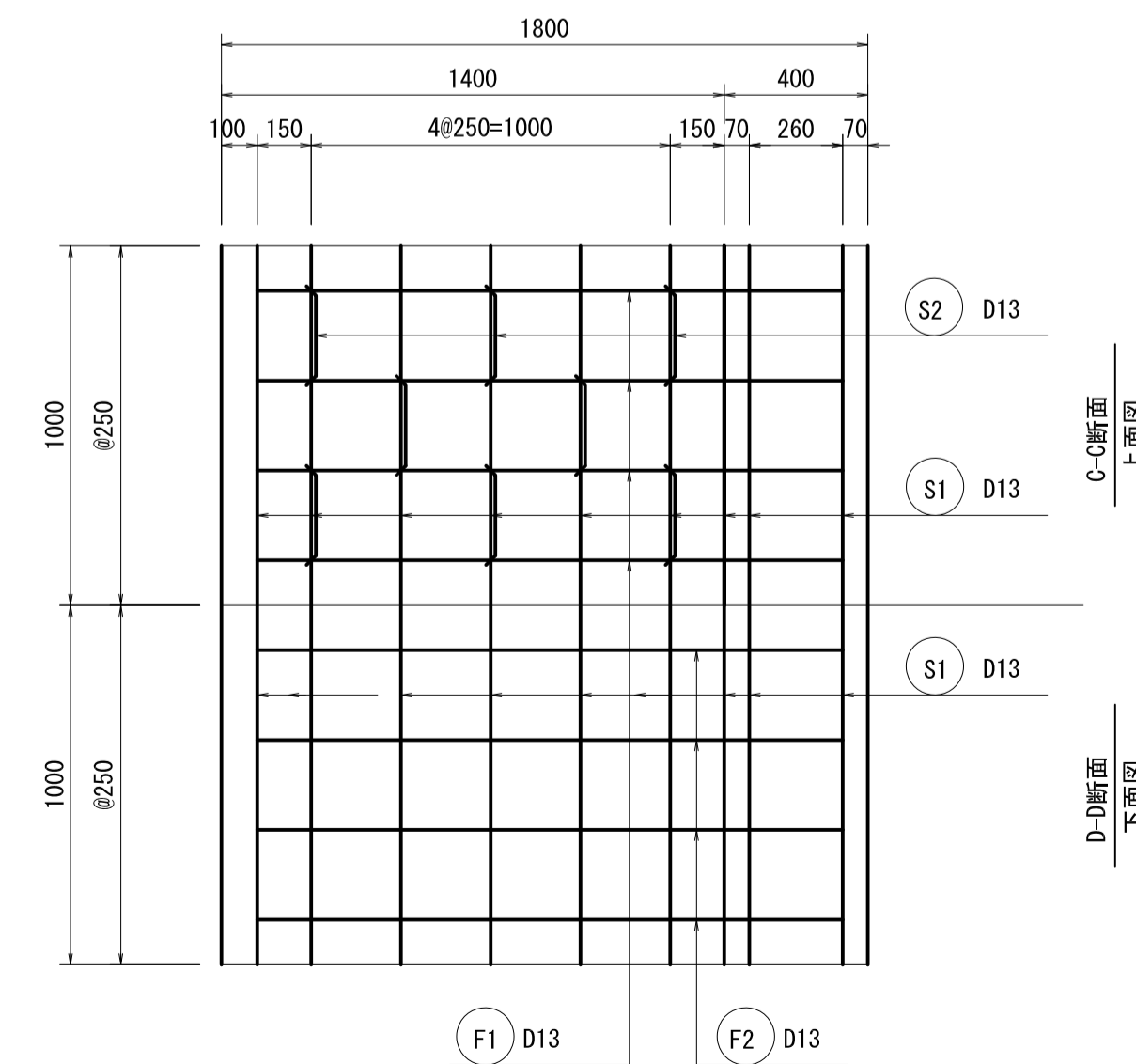
ガードレール用補強筋図



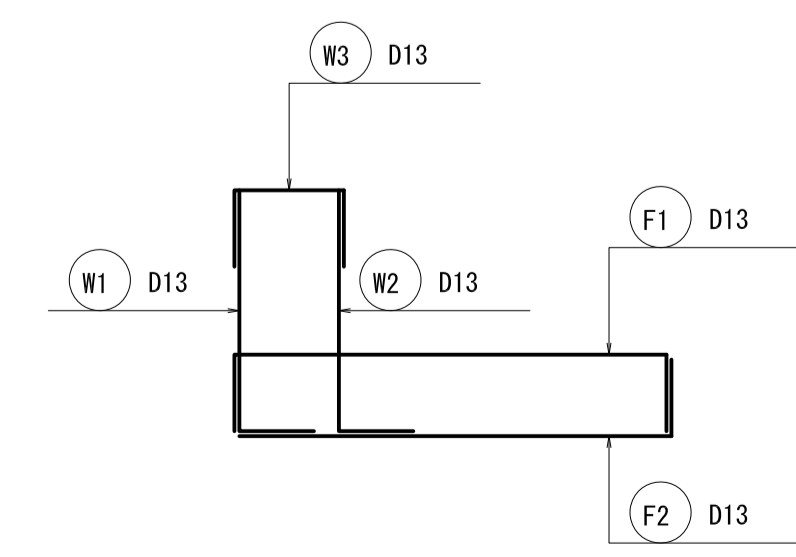
補強筋鉄筋数量表 (1ヶ所当り) (Gr-C-2B)

名称	径	本数	長さ	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
前部	D13	1	1490	0.995	1.480	1.5	
後部	D13	1	1490	0.995	1.480	1.5	
合計 D13 (SD295A)						3.0	kg

底版



鉄筋組立図



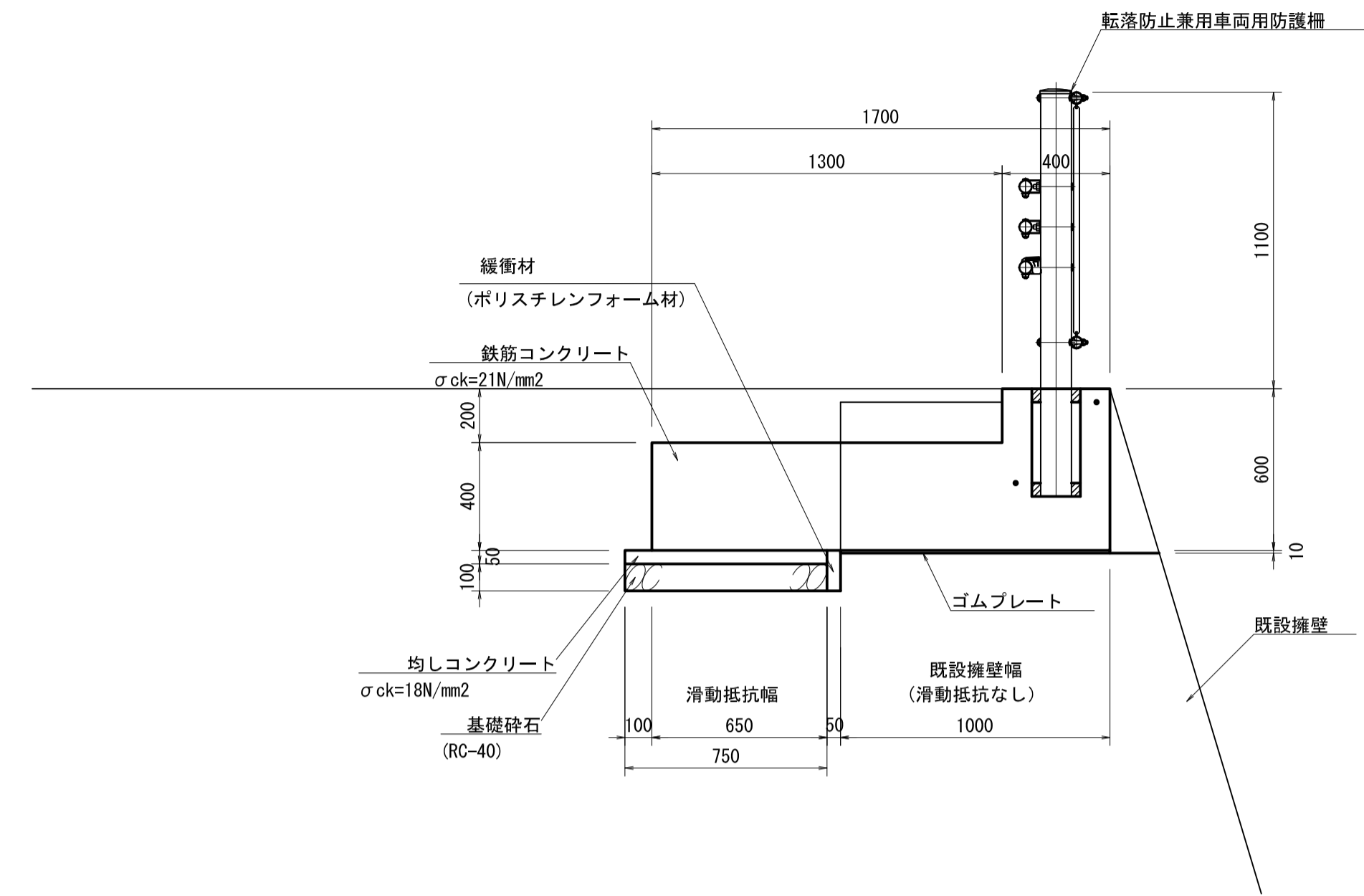
工事名	令和7年度 三方原水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	L型独立防護柵基礎標準構造図(2/3)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	21-2/3
会社名			
事業所名	関東農政局三方原水二期農業水利事業所		

L型独立防護柵基礎標準構造図(3/3)

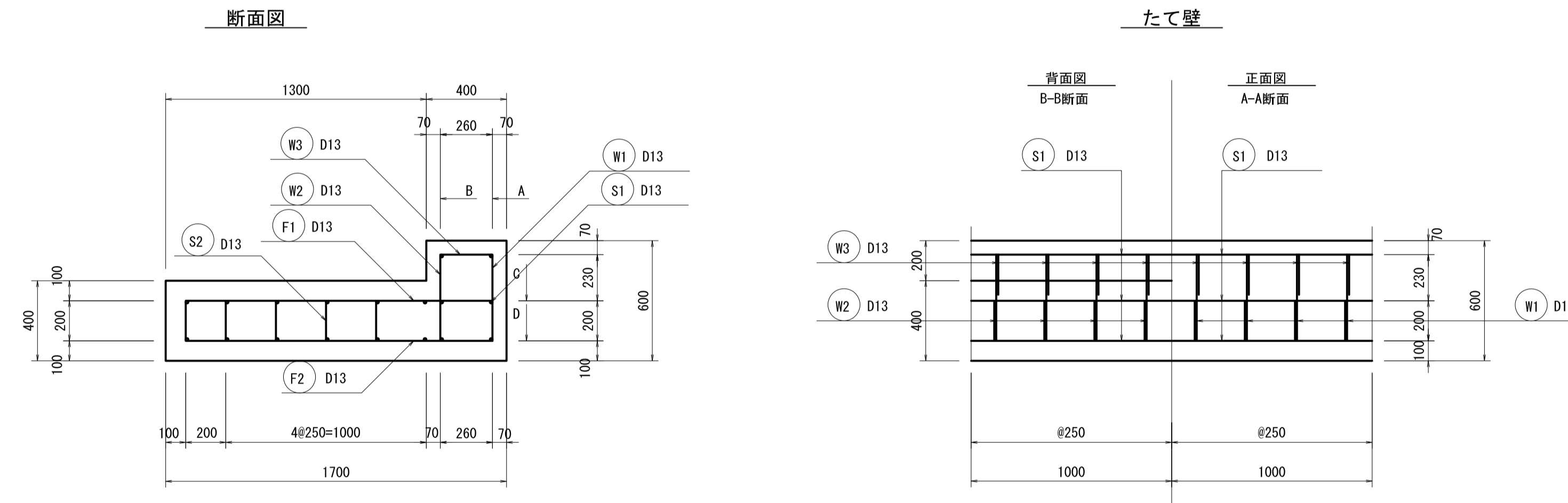
S=1:20(A1)

【基礎タイプ-C】

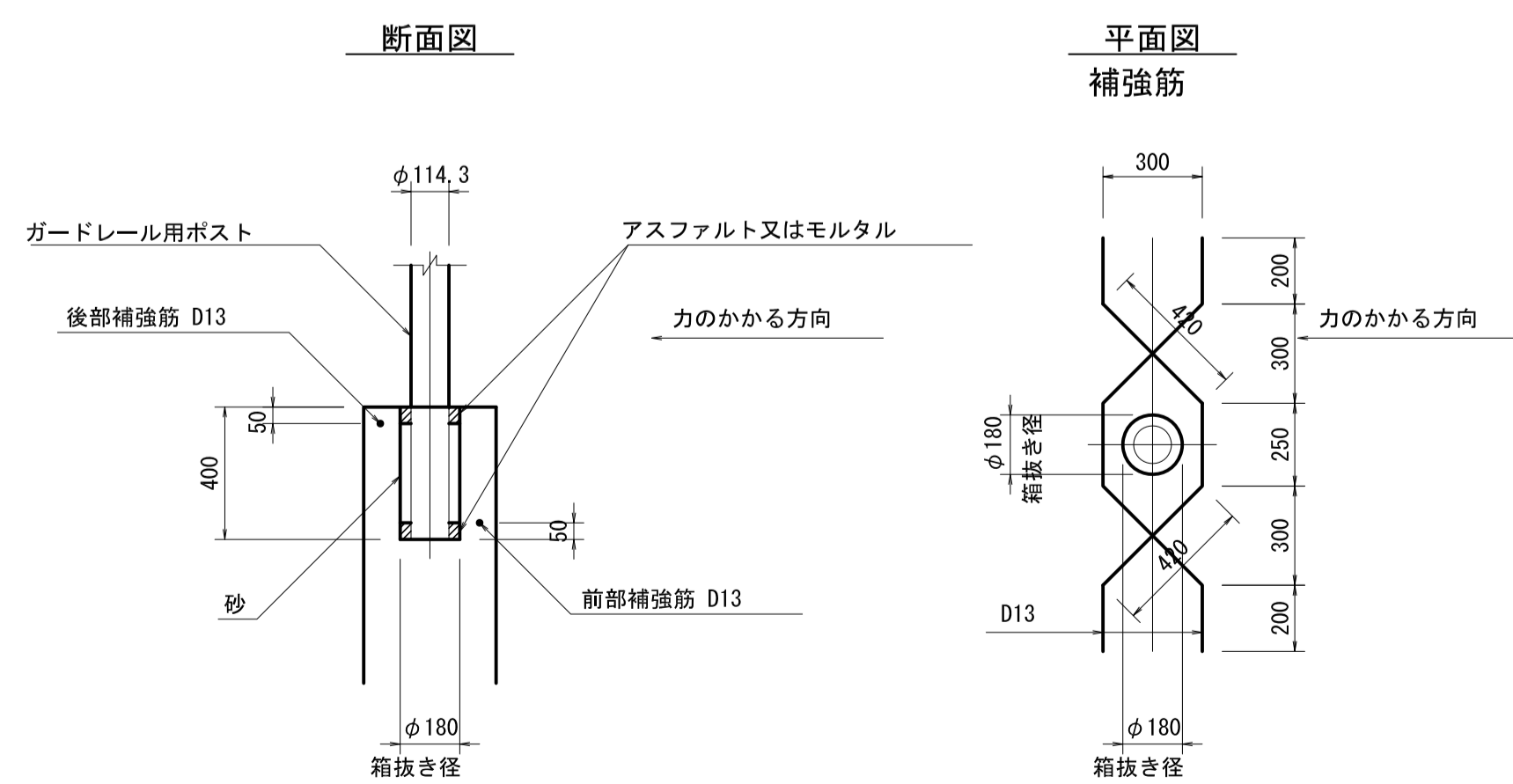
L型独立防護柵基礎(タイプ-C)一般図



配筋図



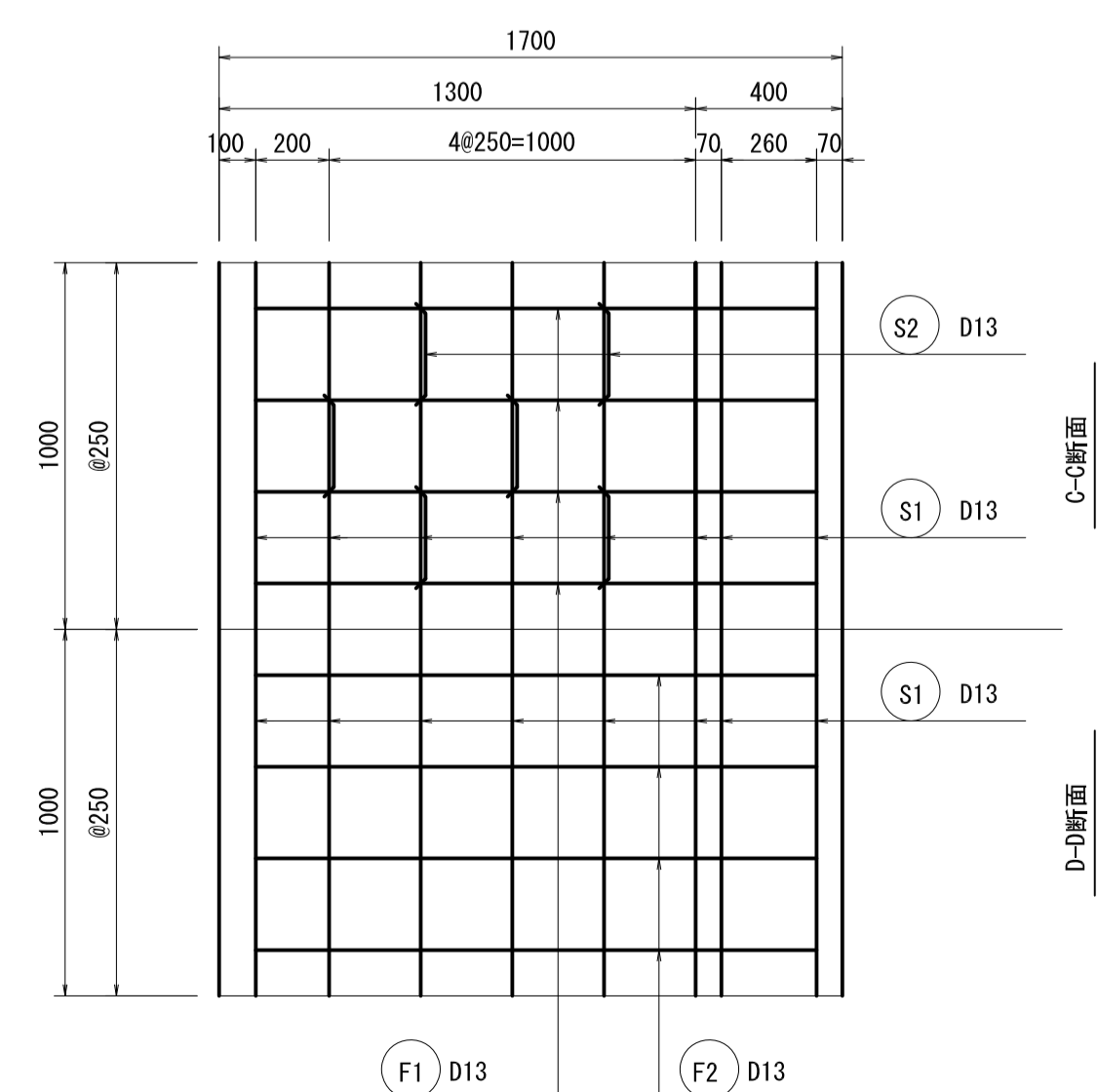
ガードレール用補強筋図



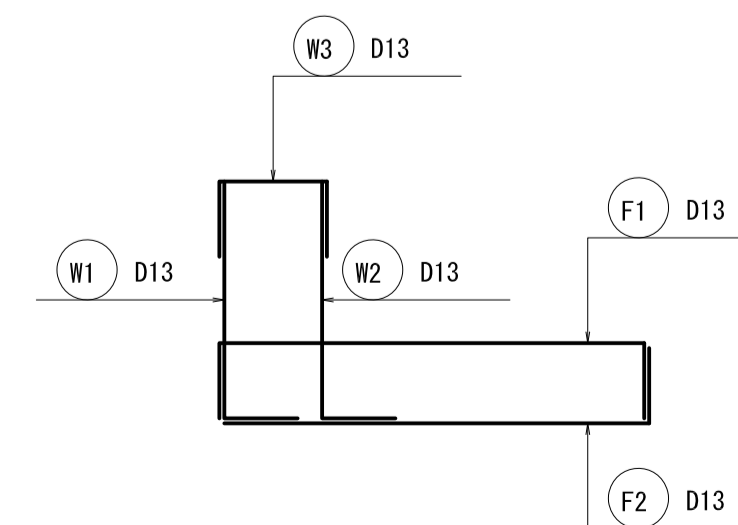
補強筋鉄筋数量表 (1ヶ所当り) (Gr-C-2B)

名称	径	本数	長さ	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
前部	D13	1	1490	0.995	1.480	1.5	
後部	D13	1	1490	0.995	1.480	1.5	
合計				D13 (SD295A)	3.0	kg	

底板



鉄筋組立図



工事名	令和7年度 三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口操作室他整備工事		
図面名	L型独立防護柵基礎標準構造図(3/3)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	21-3/3
会社名			
事業所名	関東農政局三方原用水二期農業水利事業所		